

ライフデザイン総合学科 教育課程

[平成29年4月入学生]

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		備 考
			必	選	前期	後期	
			前期	後期	前期	後期	
基礎科目	コミュニケーション論	講義	2	○			★
	日本語表現Ⅰ	講義	2			○	★
	日本語表現Ⅱ	講義	2			○	★
	情報科学概論	講義	2	○			★
	人間関係論	講義	2		○		★
	社会福祉概論	講義	2	○			★
	大分の人と学問	講義	2			○	★
	キャリア教育	講義	1	●	●	●	★
	インターンシップ	実習	1	●	●	●	★
	社会貢献演習Ⅰ	演習	1	●	●	●	★
外国語	社会貢献演習Ⅱ	演習	1	●	●	●	★
	リーダーシップ論	講義	2		○		★
	経営学	講義	2	○			★
	英語Ⅰ	演習	1	○			★
体育	英語Ⅱ	演習	1		○		★
	中国語Ⅰ	演習	1	○			★
	中国語Ⅱ	演習	1		○		★
	運動スポーツⅠ	演習	1	○			★
	運動スポーツⅡ	演習	1		○		★

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		備 考
			必	選	前期	後期	
			前期	後期	前期	後期	
基礎科目	ネイルアートⅠ	演習	1	○			★
	和装付けⅠ	演習	1		○		★
	着物付けⅡ	演習	1			○	★
	アパレルデザイン	演習	2	○	○		★
	髪型Ⅰ	演習	2		○	○	★
	髪型Ⅱ	演習	2		○	○	★
	色彩Ⅰ	演習	2		○	○	★
	色彩Ⅱ	演習	2		○	○	★
	フォトタッチソフトウェア	演習	1	○			★
	レイアウトソフトウェア	演習	1	○			★
共通専門教育科目	日本の芸術・文化	講義	2	○			★
	色彩学	講義	2	○			★
	色彩演習Ⅰ	演習	1	○			★
	コピーライティング	講義	1	●			★
	色彩演習Ⅱ	演習	1		○		★
	ブランニング	講義	2		○		★
	介護概論	講義	2	○			★
	栄養学	講義	2	○			★
	消費生活アドバイザー概論	講義	1	●			★
	介護の理解	講義	2		○		★
生活と福祉	介護保険概論	講義	2		○		★
	介護実習Ⅰ	演習	1		○		★
	基礎法	講義	2		△		★

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		備 考
			必	選	前期	後期	
			前期	後期	前期	後期	
共通専門教育科目	日本語表現Ⅰ	講義	2	○			★
	事務管理Ⅰ	演習	2	○			★
	簿記Ⅰ	演習	1				★
	日本語表現Ⅱ	講義	2		○		★
	ビジネス実務概論	講義	2		○		★
	ビジネス文書	演習	1		○		★
	簿記Ⅱ	演習	1		○		★
	ビジネス実務演習Ⅰ	演習	1		○		★
	現代社会論	講義	2		○		★
	ビジネス実務演習Ⅱ	演習	1		○		★
情報処理	表計算演習Ⅰ	演習	1		○		★
	プレゼンテーション概論	講義	2		○		★
	表計算演習Ⅱ	演習	1		○		★
	情報ネットワーク論	講義	2		○		★
	情報処理演習	演習	1		○		★
	インターンシップⅠ	実習	1				★
	インターンシップⅡ	実習	1				★
	インターンシップⅢ	実習	1				★
	インターンシップⅣ	実習	1				★
	インターンシップⅤ	実習	1				★

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		備 考
			必	選	前期	後期	
			前期	後期	前期	後期	
共通専門教育科目	被服構成学Ⅰ	講義	2	○			★
	被服構成演習Ⅰ	演習	2	○			★
	被服構成演習Ⅱ	演習	2		○		★
	卒業制作Ⅰ	演習	4		◎	◎	★
	卒業制作Ⅱ	演習	4		◎	◎	★
	カラーコーディネート	講義	2	○			★
	ブライダルコーディネート	講義	2		○		★
	おもてなしの文化	講義	2		○		★
	ファッションビジネス論	講義	2		○		★
	ウィンドウディスプレイ	演習	1		○		★
ファッション・デザインコース	ファッションコーディネート	講義	2		○		★
	スマイルアップコミュニケーション	講義	2		○		★
	ブライダルプレゼンテーション	講義	2		○		★
	ファッション販売	講義	1		○		★
	ファッションアドバイザー概論	講義	1	●			★
	ファッションアドバイザー実習	実習	2		○		★
	ファッション流行論	講義	2		○		★
	ファッションプレゼンテーション	講義	1		○		★
	ファッション史	講義	2		○		★
	パーソナルカラー	講義	2		○		★
アートデザイン	ファッションデザインデモンストラ	講義	2	○			★
	エッセデザインⅠ	演習	2	○			★
	エッセデザインⅡ	演習	2		○		★
	服飾手芸(ニットを含む)	演習	1			○	★
	ファッション造形	演習	2			○	★
	メイクアップ演習Ⅰ	演習	1	○			★
	ダンス	演習	1		○		★
	ウォーキングレッスンⅠ	演習	1		○		★
	メイクアップ演習Ⅱ	演習	1			○	★
	ネイルアートⅡ	演習	1			○	★
ビューティー	ウォーキングレッスンⅡ	演習	1			○	★
	ウォーキングレッスンⅢ	演習	1			○	★

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		備 考	アシスタントグラフィカルデザイナー①②	アシスタントバイザー	Webデザイナー	DTPデザイナー	ビジネス実務士④	情報処理士④	医療秘書実務士	介護保健実務士	診療情報管理士実務士	社会福祉士主任任用資格	介護職員初任者研修		
			必	選	前期	後期													前期	後期
グラフィックデザインコース 専門教育科目	ベーシックデザイン	基礎デザイン	演習	2	○					☆	☆									
		デザイン表現	演習	2		○				☆	☆									
	DTPデザイン	素描Ⅰ	演習	2	○					☆	☆									
		素描Ⅱ	演習	2		○				☆	☆									
		DTP基礎	演習	1		○				☆	☆									
		プリプレス概論	講義	2		○				☆	☆									
	グラフィックデザイン	DTP演習Ⅰ	演習	2			○			☆	☆									
		DTP演習Ⅱ	演習	2				○	○	☆	☆									
		デザイン論	講義	2		○				☆	☆									
		写真Ⅰ	演習	2	○					☆	☆									
	ウェブデザイン	写真Ⅱ	演習	2		○				☆	☆									
		イラストレーションⅠ	演習	1			○			☆	☆									
		イラストレーションⅡ	演習	2				○	○	☆	☆									
		ウェブプログラミング演習Ⅰ	演習	1	○					☆	☆			☆	☆					
	クロスメディア	ウェブプログラミング演習Ⅱ	演習	1		○				☆	☆									
		ウェブデザイン演習Ⅰ	演習	2				○	○	☆	☆									
		ウェブデザイン演習Ⅱ	演習	2					○	☆	☆									
		3DCG概論	講義	2	○						☆									
	ファインアート	クロスメディアデザイン	講義	2		○					☆									
デジタルアートⅠ		演習	2				○	○	☆	☆										
デジタルアートⅡ		演習	2					○	☆	☆										
動画演習		演習	2					○	☆	☆										
制作実習	絵画Ⅰ	演習	2				○	夏期集中	☆											
	絵画Ⅱ	演習	2					○	☆											
	制作実習Ⅰ	演習	2				○	卒業制作	☆	☆										
	制作実習Ⅱ	演習	2					○	☆	☆										
医療事務コース 専門教育科目	医療事務	デザイン研究	演習	1	●	●	●	●	通年											
		医療事務総論	講義	2	○										☆	☆				
		医療事務演習Ⅰ	演習	1	○										☆	☆				
		医療事務演習Ⅱ	演習	1		○									☆	☆				
		医療事務演習Ⅲ	演習	1			○								☆	☆	☆			
		医療事務演習Ⅳ	演習	1			○								☆	☆	☆			
	医療秘書	コミュニケーション演習	演習	1			○					☆			☆	☆				
		医療と診療情報	講義	2				○				☆			☆	☆	☆			
		医療秘書実務	講義	2	○							☆			☆	☆	☆			
		電子カルテ実務総論	講義	2		△			診療情報管理Ⅰ											
		医療コンピュータ	演習	1			○													
		医療秘書実務実習Ⅰ	実習	1			○		学外実習			☆	☆	☆	☆	☆				
	基礎医学	医療秘書実務実習Ⅱ	実習	1			○		学外実習			☆			☆					
		医療秘書実務実習Ⅲ	実習	2				○	学外実習			☆			☆					
		電子カルテ実務演習	演習	1			△		医療コンピュータ											
		医療支援演習	演習	1				○					☆	☆	☆	☆				
		解剖学	講義	2	○										☆	☆	☆			
		生理学	講義	2	○										☆	☆	☆			
	基礎医学	病と検査	講義	2		○									☆	☆	☆			
公衆衛生学		講義	2		○									☆	☆	☆				
基礎医学		講義	1		●									☆	☆	☆	☆			

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		備 考	介護職員初任者研修	社会福祉士主任任用資格	診療情報管理実務士	介護保険実務士	医療秘書実務士	情報処理士④	ビジネス実務士④	Webデザイナー	DTPデザイナー	アシスタントグラフィカル コーディネーター	ファッションアドバイザー					
			必	選	前期	後期													前期	後期			
医療事務コース 専門教育科目	介護事務	介護技術Ⅰ	演習	1	○																★	★	
		介護技術Ⅱ	演習	1		○																	★
		介護実習	実習	1		○			学外実習														★
		高齢者心理学	講義	1			●		夏期集中													★	☆
		介護事務演習	演習	1				○														★	
		手話Ⅱ	演習	1				○						★									
	診療情報	医療と薬剤	講義	2	○																		
		臨床医学概論Ⅰ	講義	2		○							☆									★	
		診療情報管理Ⅰ	講義	2		○																★	
		臨床医学概論Ⅱ	講義	2			○						☆									★	
		病名コーディングⅠ	演習	1			○															★	
		診療情報管理Ⅱ	講義	2				○														★	
		病名コーディングⅡ	演習	1				○														★	
		システム設計	講義	2				○															★
		プレゼンテーション	演習	1				○								☆	☆	☆				★	
		卒業研究	演習	2					○							☆	☆	★				★	
									○														

※○印は90分授業 1コマ15週 ○印は90分授業 2コマ15週

●印は90分授業 1コマ8週 ☆印は各資格の必修科目 ☆印は資格の推奨科目

専門教育科目から60単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。

社会貢献演習Ⅰ・Ⅱは2時間×8回以上の貢献をもって演習1単位とする。

キャリア教育は2年間で8回以上受講すること。

情報処理士は☆印の科目を6単位以上取得すること。

社会福祉士主任任用資格を取得するには、◇印の科目を3つ以上受講すること。

DTPデザイナーを取得するには、図表・染色のどちらかを受講すること。

デザイン研究は2年間を通じて2時間×16回以上の参加をもって演習1単位とする。

医療事務コースは「リーダーシップ論」または「経営学」を必修とする。

ICDコーディング実務課程取得条件

①医療秘書実務士資格の取得②情報処理検定3級以上の取得③臨床医学概論Ⅰ（2単位）診療情報管理Ⅰ（2単位）病名コーディング演習Ⅰ（1単位）の取得

医療コンピュータ実務課程取得条件

①医療秘書実務士資格の取得②情報処理検定3級以上の取得③医療コンピュータ（1単位）の取得

電子カルテ実務課程取得条件

①医療秘書実務士資格の取得②情報処理検定3級以上の取得③電子カルテ実務総論（1単位）④電子カルテ実務演習（1単位）の取得

手話講習会入門課程取得条件

①手話Ⅰ（1単位）の取得②手話Ⅱ（1単位）の取得

都合により、開講時期等が変更になることがあります。

ライフデザイン総合学科 カリキュラムマップ

[平成29年4月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
コミュニケーション論	① コミュニケーションの役割や使いどころを理解する。 ② 専門分野で得た知識や技能を実社会で活かすための言動ができる。	○	○	○
日本語表現	① 自分の強みを見つけて、自分のやりたいことを分析できる。 ② 企業の特徴と自己のPRポイントとの重なる部分を探求する。 ③ 自己PRと関連させて、企業研究し、仕事への意欲を示す。		○	○
日本国憲法	① 憲法条文と日常生活との関連に注意を払い、進取の気風が身につく。 ② 条文の理解とともに判例についても関心を抱き、理解力が高まる。 ③ 主権者としての自覚と法令遵守の精神及び実践力が身につく。 ④ 不易流行を肝に銘じて自己改革を図り、社会貢献に資する人材になる。	○		
情報科学	① 情報実務に関する基本的な用語を説明できる。 ② 情報実務で必要な情報機器の基本的な操作ができる。	○		○
人間関係論	① 人間関係において生じる心理と行動のプロセスとメカニズムを知る。 ② 自己と他者個人と集団の心理・行動について理解を深める。 ③ より良い人間関係を築く力を身につける。	○	○	
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、理解できる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みを理解できる。 ③ 児童、高齢者、障害者、地域福祉等の福祉体系を理解できる。 ④ 今日の福祉課題に対する問題点を理解することができる。	○		○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容から派生的な課題を自ら見つけ、文章として論述することができる。	○	○	
キャリア教育	① 社会人として生きるための基礎力を磨き社会について知る ② 地域社会に必要なキャリア形成について理解できる			○
インターンシップ	① 社会現場を経験することにより職業意識や勤労意欲を高めることができる			○
社会貢献演習Ⅰ	① 地域、社会に貢献する人材になることができる ② 人間的成長ができる			○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域、社会に貢献できる人材になることができる ② 人間的成長ができる			○
リーダーシップ論	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
経営学	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
英語Ⅰ	① 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ② 自身の進路分野で活用できる英語力を身につけることができる。 ③ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
英語Ⅱ	① 英語で意見を述べ、コミュニケーションをとることができる。 ② 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ③ 自身の進路分野で活用できる英語力を身に付けることができる。 ④ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○	○	○
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる ② 自己紹介や生活によく使われる会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる ② スポーツをととしてコミュニケーション能力を高めることができる ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる ② スポーツをととしてコミュニケーション能力を高めることができる ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる	○	○	
ネイルアートⅠ	① ネイルを基礎から学び、ネイルアートの様々な技法を習得する。 ② デザインのオリジナル性やファッションにおけるトータルバランスを理解する。	○		
和裁	① 和裁の基礎的な知識と技術を修得することができる。 ② 洋裁縫製技術に生かすための和裁縫製技術を修得することができる。 ③ 浴衣を製作する。	○		
着付けⅠ	① ゆかた、振袖の実技を習得する。 ② 男女のきものの着方の違う所を理解することができる	○		
着付けⅡ	① 帯結びを習得する。 ② 男女のきものの着方の違う所を理解することができる。	○		
アパレルデザイン演習	① 服飾素材について知り、衣服制作をすることができる。	○		○
陶芸Ⅰ	① 工芸、クラフトを学び、立体として陶芸を学ぶことができる ② 環境、暮らしの中での陶磁器を知ることができる ③ みずから手で「モノ」を作ることを学ぶことができる	○	○	○
陶芸Ⅱ	① 工芸、クラフトを学び、立体として陶芸を学ぶことができる ② 環境、暮らしの中での陶磁器を知ることができる ③ みずから手で「モノ」を作ることを学ぶことができる	○	○	○
染色Ⅰ	① 工芸、クラフトとしての染色を学ぶことができる ② 染色の技法を修得しテキスタイルデザインを知ることができる ③ 自らの手で「モノ」を作ることを学ぶことができる	○	○	○
染色Ⅱ	① 工芸、クラフトとしての染色を学ぶことができる ② 染色の技法を修得しテキスタイルデザインを知ることができる ③ 自らの手で「モノ」を作ることを学ぶことができる	○	○	○
フォトレタッチソフトウェア演習	① Adobe Photoshopの操作を基礎から学ぶ。 ② 画像を自由に加工、編集できる知識と技術を習得する。 ③ 作品制作を行なう。	○		
レイアウトソフトウェア演習	① Adobe Illustratorの操作を基礎から学ぶ。 ② イメージを自由に表現する技術を習得する。 ③ 具体的な作品制作を行なう。	○	○	
日本の芸術・文化	① 日本の芸術・文化の歴史的背景について知ることができる	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
色彩学	① 色彩についての基本と配色のセオリーを理解する。 ② 配色を決める力を獲得する。	○	○	○
色彩演習Ⅰ	① 色彩の基礎知識、色の見え方、三属性、対比を理解する。 ② 配色等の基本を習得して色彩検定3級の資格能力取得を目指す。 ③ 配色演習で色彩感覚を磨き実践で使える基礎力を身につける。	○	○	○
コピーライティング	① 主に広告表現におけるコピーライティングの役割を知る。 ② デザイン全体像の把握する力を身につける。 ③ クリエイティブ作業の重要性を認識する。 ④ オリジナリティーの高い表現に挑む。	○	○	○
色彩演習Ⅱ	① 配色等の知識と技能を習得し、色彩検定2級資格取得を目指す。 ② マンセル表色系の表示方法を知り、色を見分ける能力を養う。 ③ デザインの様々な分野の知識を深める。	○	○	○
プランニング	① 自分自身やグループでの発想を創出する基本技術を習得する。 ② Adobe InDesign の基礎を学ぶ。 ③ 作品制作に欠かせない文字組みの基本や歴史を学ぶ。 ④ 地域イベントに出展する作品を制作し、イベントに参加する。	○	○	○
介護概論	① 介護職の仕事内容や働く現場が理解できる。 ② 人権と尊厳を支える支障や自立に向けた介護が理解できる。 ③ 介護職の役割や専門性と他職種との連携が理解できる。 ④ 食事に関連した自立に向けた介護が理解できる。	○	○	○
栄養学	① 各栄養素の種類及び体内でのはたらきを説明できる。 ② 消化と吸収について理解できる。 ③ エネルギー代謝について理解できる。	○	○	○
消費生活アドバイザー概論	① 消費者被害などに関する情報、消費者被害未然防止に必要な知識を身につけることができる。	○	○	○
介護の理解	① 介護におけるコミュニケーションが理解できる。 ② 老化に伴うこころとからだの変化と高齢者の健康が理解できる。 ③ 認知症を取り巻く状況や家族への支障が理解できる。 ④ 介護過程の基礎的内容が理解できる。	○	○	○
介護保険	① 介護保険制度創設の制度の目的と動向について理解できる。 ② 介護保険制度の基本な仕組みを知り、制度の概要を理解できる。 ③ 介護保険制度の組織と役割を知り、制度の財政を理解できる。	○	○	○
手話Ⅰ	① 聴障者とのコミュニケーション手段の学習。 ② 聴障者の福祉及び障がい社会に対する理解を深めることができる。	○	○	○
基礎法学	① 日本国憲法他各種法令についての基礎的・基本的知識が深まる。 ② 日常生活が日本国憲法によって強く守られていることがわかる。 ③ 主権者としての自覚と法令遵守の精神及び実践力が身につく。 ④ 社会貢献に資する専門的知識の吸収への意欲が向上する。	○	○	○
日本語表現Ⅰ	① 文章を書く際には、用字や用語を、適切に統一して使用できる。 ② 日本語における言葉の成り立ちについて理解を深める。 ③ 日本語表現の特色及び言語の役割について理解を深める。	○	○	○
事務管理	① 組織の中で報告・連絡・相談・命令が正確に行われる能力を醸成する。 ② 組織の共通目標が達成できる基盤が「事務」であることを理解できる。	○	○	○
簿記Ⅰ	① 簿記が活動を金額によってとらえる為の知識であることを学習する。 ② 社会的に役割を果たしている簿記の知識や技術を身につける。 ③ 物事を合理的に考え処理していく能力や生活態度を養う。	○	○	○
日本語表現Ⅱ	① 正確に必要な情報の選択と、基本的な言葉の使い方が向上する。 ② 読む・聞く・話すという言語の適切な表現力を身につける。 ③ 日本語表現と文章読解を総合した基礎学力を育成する。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
ビジネス実務総論	① 社会人となるための意識改革をし、ビジネスマナーの基本を身につける。 ② 基本的なビジネスマナーを修得し、面接試験に活かせるよう学習する。	○	○	○
ビジネス文書	① 一定の型や特有の言葉遣いがあり、これを習得することができる。 ② ビジネスの場において、正確、迅速な文書が書ける能力を醸成できる。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅰ	① ビジネスの実務を知り、演習等を通じて役割と重要性を理解する。 ② ビジネスの実務に必要な基本マナーを身につける。	○	○	○
現代社会論	① 現代社会の変化とその課題について捉えることができる。 ② 様々な変化の中での問題点と対策について知り、考える。 ③ 社会に関わっていく知識と対応力を身につける。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅱ	① ビジネス能力を身につけることができる。 ② ビジネスシーンの全体イメージや流れを掴むことができる。 ③ ビジネスの実務により、社会人としての態度を再現することができる。	○	○	○
表計算演習Ⅰ	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○	○	○
プレゼンテーション概論	① コミュニケーションは双方向であることを知る。 ② 考え、まとめ、発言を繰り返し相手に届くプレゼンテーションを体得する。	○	○	○
表計算演習Ⅱ	① 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ② 関数（IF・AND・OR・VLOOKUPなど）応用し使うことができる。 ③ セル証明ができる。 ④ 多様なグラフの作成ができる。	○	○	○
情報ネットワーク論	① 見出しの作成・画像の挿入ができる。 ② リンク元・リンク先の設定ができる。 ③ スタイルシートの設定ができる。 ④ HTMLやJavaScriptの編集ができる。	○	○	○
情報処理演習	① 自ら目標を設定し、より高度な技術を身に付けることができる。 ② 情報処理について理解を深めることができる。	○	○	○
被服構成学	① パターンの基礎について理解することができる。 ② パターンを使って裁断や印付けをすることができる。 ③ ダーツ展開について理解することができる。 ④ 原型製図を引くことができる。	○	○	○
被服構成演習Ⅰ	① 洋裁の基礎的な知識と技術を修得することができる。 ② 洋服の構造について理解することができる。 ③ パターンを使って裁断や印付けをすることができる。 ④ ミシンを使用して縫製することができる。	○	○	○
被服構成演習Ⅱ	① 洋裁の基礎的な知識と技術を修得することができる。 ② 被服の構造について理解することができる。 ③ 裏地付ベストと裏地無テラードジャケットを製作する。	○	○	○
卒業制作Ⅰ	① 衣装制作に関する知識や技術を修得することができる。 ② 制作から演出まで主体性をもってショーの企画に協同することができる。 ③ 作品に見合ったトータルコーディネートで自己表現することができる。 ④ ファッションショーで作品を発表することができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
卒業制作Ⅱ	① 衣装制作に関する知識や技術を修得することができる。 ② 制作から演出まで主体性をもってショーの企画に協同することができる。 ③ 作品に見合ったトータルコーディネートで自己表現することができる。 ④ ファッションショーで作品を発表することができる。	○	○	○
カラーコーディネート論	① 色彩についての基本的な知識を理解できる。 ② 色彩の心理的、生理的な側面を体験することができる。 ③ 色彩を美しく調和させ、効果的に配色とカラーコーディネートする方法を習得することができる。 ④ ファッション、ブライダル業界に必要な知識を身につけて色彩センスを磨くことができる。	○	○	○
おもてなしの文化	① 日本の伝統文化である茶道と華道の歴史や知識を学ぶことができる。 ② 体験的な学習を通して、基本的な作法や所作を身に付けることができる。 ③ 体験的な学習を通し、回りの人達への思いやりの心や感謝する気持ちを養うことができる。	○	○	
ファッションビジネス論	① ファッションに関する仕事全般について正確かつ具体的に認識することができる。 ② ファッションビジネス製品の計画や生産など全体の流れを把握することができる。 ③ ファッションビジネス製品の販売や宣伝方法などを認識することができる。 ④ 製品や商品に関する基礎知識を修得することができる。	○	○	○
ウィンドウディスプレイ	① ディスプレイの基本的役割や効果を学ぶことができる。 ② 学園のショーウィンドウに企画構成した作品をディスプレイすることができる。 ③ ウィンドウディスプレイの演出のための仕掛けや材料を多く学ぶことができる。	○	○	
ファッションコーディネート論	① 「考える」事の体现、実行ができる。 ② アパレルの観点からオリジナルを追究し、発想の幅を広げ、実社会においてのスキルを育む。	○	○	
スマイルアップコミュニケーション	① 接客者として必要な知識を学び、実技を習得することができる。 ② お客様にどのようにふるまえばよいか考え、実行できるようになる。	○	○	○
ブライダルプレゼンテーション	① ブライダルの知識や業務を具体的に知り、ブライダルの職種の役割を理解することができる。 ② 模擬ウェディングの演習により、習得したスキルを実践することで身につけることができる。	○	○	○
ファッション販売	① ファッションアドバイザーとしての販売業務について学ぶことができる。 ② ファッションアドバイザー実習先のショップのリサーチと企業研究ができる。 ③ ファッションアドバイザーとしての基本マナーや接客技術について学ぶことができる。	○	○	○
ファッションアドバイザー概論	① ファッションマーケティングの基本的な理論考察を行い、流通全体を理解する事ができる。 ② ファッションアドバイザー実習で、習得したスキルを実践することができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
ファッションアドバイザー実習	① ファッションアドバイザーとしての販売業務について学ぶことができる。 ② ファッションアドバイザー実習先のショップの企業研究ができる。 ③ ファッションアドバイザーとしての基本マナーや接客技術について学ぶことができる。	○	○	○
ファッション流行論	① 服装におけるデザインの基礎知識を学ぶことができる。 ② 世界のファッション事情や流行をリアルタイムで学ぶことができる。	○		○
ファッションプレゼンテーション	① ファッションショーのための企画構成・演出についてを立案し、構成をすることができる。 ② テーマ・スタイル画の製作ポスターの原案作成・プログラムの作成・BGMの選択・舞台演出等	○	○	
ファッション史	① 20世紀から現代に至るまでの、ファッションの変遷を学ぶことができる。 ② 人気ブランドを知り、それぞれのファッションヒストリーについて学ぶことができる。	○		○
パーソナルカラー	① パーソナルカラー理論、骨格理論などイメージアップに必要な基礎を習得することができる。 ② 自分の魅力を活かし、表現できるコーディネート方法を学習、実践することができる。 ③ ファッション、ブライダル業界に必要な分析方法を経験、活用できる。	○	○	○
ファッションデザインテクニック	① 洋服のデザイン画を描ける為の技術と基礎知識を習得することができる。 ② デザイン発想のイメージもとにその完成された状態を予想し、描けるようになることができる。	○	○	
工芸デザインⅠ	① 染色の技法（型染め、友禅染、絞り染め、ステンシル等）の基礎知識を学ぶことができる。 ② 多くの技法を用い、自分で考案した作品を制作することができる。	○	○	
工芸デザインⅡ	① 多くの技法を用い、自分で考案した作品を制作することができる。 ② 作品内容はドレス制作やファッションアイテム（アクセサリー）等の制作を考えている。 ③ ファッションショーで作品を発表することができる。	○	○	
服飾手芸（ニットを含む）	① 服飾の基礎知識を学び、応用の仕方を理解することができる。	○		○
ファッション造形	① 1年次で習得した型染めや友禅染の技法をベースに作品を制作することができる。 ② ファッションショーで作品を発表することができる。	○	○	
メイクアップ演習Ⅰ	① 自分や他人の個性や特徴をとらえ、個々に合わせたメイクの知識と技術を身につけることができる。 ② 化粧品基礎知識を習得することができる。	○	○	○
ダンス	① ダンスで必要なリズム感や運動神経を毎回実践を交え学ぶことができる。 ② ファッションショーに向け正しい歩き方や表現力を養うことができる。	○	○	
ウォーキングレッスンⅠ	① ウォーキングレッスンを通し、ポージングや表現力を身に付ける。 ② 制作した作品の特徴や魅力をより効果的に見せることができる。	○	○	
メイクアップ演習Ⅱ	① 1年次に習得した技術をベースに、イメージに合わせたメイクを表現することができる。 ② オープンキャンパス、卒業制作にむけ、ブライダルメイク・ショーメイクの習得することができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
ネイルアートⅡ	① ネイルを基礎から学び、ネイルアートの様々な技法を習得することができる。 ② デザインのオリジナル性や、ファッションにおけるトータルバランスを理解することができる。	○	○	○
ウォーキングレッスンⅡ	① ファッションショーのための、正しい歩き方や表現力を身につけることができる。	○	○	
基礎デザイン	① デザインにおける構成の仕組みについて知ることができる。 ② 演習で色や形、材質や空間などの構成感覚を養うことができる。 ③ グラフィックデザインの各種の技法、描写力をつけることができる。	○	○	
デザイン表現	① 造形表現の形、色彩、変化、統一の関係を学ぶことができる。 ② 具体的、自律的な作品として研究することができる。 ③ パッケージ等の基礎訓練のための展開図、制作を行う。	○	○	
素描Ⅰ	① 実技演習を通して形態把握力を身につける。 ② ビジュアルデザインの基本的な表現力を習得する。	○	○	
素描Ⅱ	① 素描Ⅰよりも難度の高い複数のモチーフを組み合わせて描く。 ② ①により、さらに高い表現力と技術力を習得する。	○	○	
DTP基礎	① 具体的な、DTPやプリブレスの工程を知る。 ② 即戦力としての知識と技術の基礎を習得する。	○	○	○
プリブレス概論	① DTP、プリブレスの基礎知識、技術を作品づくりを通して取得する	○	○	
DTP演習Ⅰ	① DTP基礎よりも、より実践に近い作品を制作する。 ② ①により、高い表現力と技術力を習得する。	○	○	○
DTP演習Ⅱ	① DTP演習Ⅰよりも、さらに実践に近い作品を制作する。 ② ①により、実践に近い表現力と技術力を習得する。	○	○	○
デザイン論	① DTP、プリブレスの企画、技術を作品づくりを通して習得する	○	○	
写真Ⅰ	① デジタルカメラを使った撮影の基礎的な知識と技術を習得する。	○	○	○
写真Ⅱ	① デザイン企画の中で必要な写真撮影の知識と技術を習得する。 ② 制作展に展示する作品を制作する。	○	○	○
イラストレーションⅠ	① 手描きのイラストレーションの基礎的な知識と技術を習得する。 ② イラストレーションの考え方や捉え方、見せ方を学ぶ。 ③ イラストレーションのデジタル表現への応用を理解する。	○	○	○
イラストレーションⅡ	① CDジャケット・ブックレットを制作する。 ② ①を通じて、ページレイアウトや印刷入稿データを理解する。	○	○	○
ウェブプログラミング演習Ⅰ	① Webページの成り立ちを学ぶ。 ② HTMLとCSSによるWebページ作成の基礎を学ぶ。 ③ Webページ作成に必要な知識と技術を身につける。	○	○	
ウェブプログラミング演習Ⅱ	① DreamweaverによるWebページを作成する。 ② ①に必要な知識と技術を身につける。	○	○	
ウェブデザイン演習Ⅰ	① 現在のWebデザインのトレンドを学ぶ。 ② 基礎的なWebサイトを作成する。 ③ ②に必要な知識と技術を身につける。	○	○	○
ウェブデザイン演習Ⅱ	① 現在のWebサイト作成のトレンドを学ぶ。 ② 実践的なWebサイトを構築する。 ③ ②に必要な知識と技術を身につける。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
3DCG概論	① 3DCGの基礎と概念を理解する。 ② 3DCGソフトウェアの基本的な知識と技術を習得する。 ③ 作品制作を行なう。	○	○	
クロスメディアデザイン	① クロスメディアの表現力を獲得する。 ② iBooks Authorをマスターする。	○	○	○
デジタルアートⅠ	① コンピュータを使用したアートの体験と制作をする。 ② 「Photoshop」での表現機能をスキルアップする。 ③ 「Illustrator」での表現機能をスキルアップする。 ④ ビジュアルな表現力を習得する。	○	○	○
デジタルアートⅡ	① コンピュータを使用したアートの探究をする。 ② 使用ツールのクリエイティブな機能をスキルアップする。 ③ アーティスティックな表現力を習得する。	○	○	○
動画演習	① 動画制作に関する基礎を理解する。 ② 動画制作に必要とされる基礎的な知識と技術を身につける。 ③ 制作展に展示する動画作品を制作する。	○	○	
絵画Ⅰ	① 絵画の表現と素材を理解する。 ② 油絵具の特性と技法を理解する。 ③ 写実による油絵を制作する。	○	○	
絵画Ⅱ	① 西洋や現代の絵画鑑賞を通して、絵画の多様性を理解する。 ② 油絵具の効果的な表現技法を学ぶ。 ③ 油絵作品を制作する。	○	○	
制作実習Ⅰ	① DTP、プリブレスの基礎知識、技術を作品づくりを通して習得する。 ② テーマを設定し考えやアイデアを創出する技術を学ぶことができる。	○	○	○
制作実習Ⅱ	① DTP、プリブレスの工程を通して知識、技術を習得する。	○	○	○
デザイン研究	① 修得した知識、技術をイベントなどに参加し生かすことができる。 ② 参加、表現することによる学生本人の成長を測ることができる。	○	○	○
医療事務総論	① 医療保険制度の理解を深める。 ② 医療事務員として必要な基礎知識を習得を図ることで、専門性を高める。	○	○	
医療事務演習Ⅰ	① 医療機関における医療保険制度の仕組みを説明できる。 ② 基本診療料（初診・医学管理・在宅・投薬・注射）を処理できる。 ③ ②の内容を診療報酬明細書（レセプト）に転記することができる。	○	○	○
医療事務演習Ⅱ	① 基本的な診療科（処置・手術・麻酔・輸血・検査）を処理できる。 ② ①の内容を診療報酬明細書（レセプト）に転記することができる。	○	○	○
医療事務演習Ⅲ	① 基本的な診療科（画像診断・リハビリ・精神科・放射線）を処理できる。 ② ①の内容を診療報酬明細書（レセプト）に転記することができる。 ③ 外来カルテの診療内容を会計カードで作成できる。	○	○	○
医療事務演習Ⅳ	① 外来カルテの会計カードを作成・外来用レセプトに転記できる。 ② 入院カルテの会計カードを作成・入院用レセプトに転記できる。	○	○	○
コミュニケーション演習	① 実習の訪問アポイントメントをいただくための電話応対ができる。 ② 実習先で感じの良い挨拶ができる。	○	○	○
医療と診療報酬	① 例題カルテより会計カードを作成できる。 ② ①の会計カードより診療報酬明細書（レセプト）に転記できる。	○	○	○
医療秘書実務	① 医療秘書の役割が理解できる。 ② 秘書実務が遂行できる。 ③ チーム医療の意義が理解でき中心的役割を果たす実務ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
電子カルテ実務総論	① 診療情報管理の概要とその意義を理解する。 ② 診療情報管理の意義、背景と沿革、関係法規を理解できる。	○		○
医事コンピュータ	① 医療用パソコンの入力ができる。 ② 医療用パソコンを使用し、診療報酬請求についての理解を深める。	○	○	○
医療秘書実務実習Ⅰ	① 病院の業務全般の流れが理解できる。 ② 医事課業務について説明できる。	○	○	○
医療秘書実務実習Ⅱ	① 病院組織について理解できる。 ② 受付、窓口業務についての業務が作業・実践できる。	○	○	○
医療秘書実務実習Ⅲ	① 診療報酬請求業務についての理解を深める。 ② 医事課の事務的業務について理解できる。	○	○	○
電子カルテ実務演習	① 医療用パソコンの入力ができる。 ② 医療用パソコンを使用し、診療報酬請求についての理解を深める。	○	○	○
医事支援演習	① 自発的に他者を支援することができる。 ② 実体験を通して他者から学びを得ることができる。 ③ 実体験を通して得た学びを整理し報告することができる。	○	○	○
解剖学	① 解剖学の見地から、生命活動の不思議と人体の絶妙なくみを理解する。 ② この学習を通して栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。	○		
生理学	① 生理学の見地から、生命活動の不思議と人体の絶妙なくみを理解する。 ② この学習を通して栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。	○		
薬と検査	① 生体に何らかの変化を起こす化学物質は、全て薬物であることが理解できる。 ② 薬は使い方を誤れば病状を悪化させ、時には命を奪うこともあることを理解する。 ③ 正しい薬との付き合い方・飲み方について基本的な知識が理解できる。	○	○	
公衆衛生学	① 予防医学の概念について説明できる。 ② 疾病と死因の年次推移について説明できる。 ③ 健康と環境との関係を説明できる。	○	○	○
基礎医学	① 「医療秘書実務士」「栄養士」取得に必要な医学的知識が理解できる。 ② おもに糖尿病、高血圧症等内科的疾患についての理解を深める。	○		○
介護技術Ⅰ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護技術Ⅱ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護実習	① 積極的に周囲に働きかけ、自ら気づきを得ることができる。 ② 気づきを自分なりに整理・考察し、報告することができる。 ③ 社会人としてふさわしい行動を取ることができる。	○	○	○
高齢者心理学	① 高齢者に対する知識（症状論）や援助理論と方法を身につける。 ② 高齢者に応対する際のコミュニケーション技術を習得する。	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
介護事務演習	① 介護被保険者証より利用者基本情報を介護給付費明細書に記入できる。 ② ケアプランよりサービスの内容を読み取れる。 ③ 介護報酬サービスコード表を使い②の内容を介護給付費明細書に転記できる。	○		○
手話Ⅱ	① 聴覚者とのコミュニケーション手段の学習 ② 聞こえない事により生じる様々な問題の学習 ③ ②の対応についての理解を深める。	○	○	○
医療と薬剤	① 薬の特性本質や基本的な知識を広く理解することができる。 ② 薬の適正使用を理解することができる。 ③ 人々の健康を維持増進することに適切に指導ができる。 ④ 都道府県が実施する登録販売者試験の合格をめざす。	○	○	○
臨床医学概論Ⅰ	① 内科系分野の主要な疾患の概略（症状・検査・診断・治療）を知る。 ② 内科系分野の病気の種類や、専門用語について理解する。	○		○
診療情報管理論Ⅰ	① 診療情報管理の概要とその意義を理解する。 ② 診療情報管理の意義、背景と沿革、関係法規を理解できる。	○		○
臨床医学概論Ⅱ	① 外科系分野の主要な疾患の概略（症状・検査・診断・治療）を知る。 ② 外科系分野の病気の種類や、専門用語について理解する。	○		○
病名コーディング演習Ⅰ	① ICD（国際疾病分類）の基礎的な知識の習得。 ② 病名をICDに変換することができる。 ③ 疾病分類のルールに沿ってコーディングできる。	○		
診療情報管理論Ⅱ	① 病院運営における診療情報管理の現状を学び、実務の概要を理解する。 ② 診療情報管理の最新の情報を把握し、実務に通じる知識を身につける。	○		○
病名コーディング演習Ⅱ	① ICD（国際疾病分類）の応用での知識の習得。 ② 病名を選択しICDに変換することができる。 ③ 病名からDPC/PPPS（診断群分類別包括支払い制度）の計算ができる。	○		
システム設計	① リレーショナルデータベースを作成することができる。 ② クエリを作成することができる。 ③ レポートを作成することができる。 ④ フォームを作成することができる。	○		○
プレゼンテーション演習	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○
卒業研究	① 研究テーマについて深く現状把握することができる。 ② 考えをまとめ、内容を深め、論理的に整理することができる。 ③ 自分の考えを聴衆に伝えるためのプレゼンテーションができる。	○	○	○

ライフデザイン総合学科〔日本語教育コース〕 教育課程

〔平成29年4月入学生〕

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士 ^④	情報処理工士 ^⑤	備 考		
				必	選	前期	後期				前期	後期
基礎教育科目	日 本 の 文 学	講義	2				○					
	コミュニケーション論	講義	2	○				☆				
	日 本 語 表 現	講義	2		○			☆	☆			
	情 報 科 学	講義	2	○				☆	☆			
	人 間 関 係 論	講義	2				○	☆	☆			
	社 会 福 祉	講義	2				○					
	リ ー ダ ー シ ッ プ	講義	2				○	☆	☆	基礎科目については 8単位以上取得すること		
	経 営 学	講義	2	○				☆	☆			
	大 分 再 発 見	講義	1		●							
	大 分 の 人 と 学 校	講義	2				○					
キ ャ リ ア 教 育	講義	1		●	●	●	●					
イ ン タ ー シ ッ プ	実習	1		●	●	●	●	☆	☆			
社 会 貢 献 演 習Ⅰ	演習	1		●	●	●	●	☆	☆			
社 会 貢 献 演 習Ⅱ	演習	1		●	●	●	●					
英 語Ⅰ	演習	1	○									
外国語	英 語Ⅱ	演習	1		○						外国語から2単位以上 取得すること	
	中 国 語Ⅰ	演習	1	○								
	中 国 語Ⅱ	演習	1		○							
体育	運 動 ス ポ ー ツⅠ	演習	1		○							
	運 動 ス ポ ー ツⅡ	演習	1		○							

基礎科目については
8単位以上取得すること

外国語から2単位以上
取得すること

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士 ^④	情報処理工士 ^⑤	備 考		
				必	選	前期	後期				前期	後期
専門教育科目	ビジネス実務	ビジネス実務総論	講義	2					○	★		
		ビジネス実務演習Ⅰ	演習	1	○					☆		
		ビジネス実務演習Ⅱ	演習	1		○				☆		
		ビジネス文書	演習	1					○	☆		
		ビジネスマナー	講義	2		○						
		表計算演習Ⅰ	演習	1				○		☆	★	
		情報処理演習	演習	1		○				☆	★	
		現代社会論	講義	2				○		☆	☆	
		プレゼンテーション概論	講義	2		○				☆	★	
		情報ネットワーク論	講義	2				○		☆	★	
		事務管理	講義	2				○		★		
		日中通訳入門	講義	1		●						兼中
国際ビジネス	国際社会	講義	2				○		☆	☆		
	経済学入門	講義	2					○	☆	☆		
	国際経済	講義	2				○		☆	☆		
	国際関係学	講義	2				○		☆	☆		
	国際関係学総論	講義	2					○				
	現代経済事情	講義	2					○	☆	☆		
	経営学概論	講義	2				△				通商コンシェルジュ基礎講習見	
	貿易実務	講義	2				○					

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士 ^④	情報処理工士 ^⑤	備 考		
				必	選	前期	後期				前期	後期
日本語教育	日 本 語 中 級 A	演習	2	○								
	日 本 語 中 級 B	演習	2	○								
	日 本 語 中 級 C	演習	2	○								
	日 本 語 中 級 D	演習	2	○								
	日 本 語 中 級 E	演習	2	○								
	日 本 語 中 級 F	演習	2	○								
	日 本 語 上 級 A	講義	2				○					
	日 本 語 上 級 B	講義	2				○					
	日 本 語 上 級 C	講義	2					○				
	日 本 語 上 級 D	講義	2					○				
	日 本 語 上 級 E	講義	4					○				
	日 本 語 上 級 F	講義	4					○				
日本の文化・社会	日 本 語 能 力 試 験 対 策	演習	1	●	●	●	●			通年		
	日 本 留 学 試 験 対 策	演習	1	●	●	●	●			通年		
	異文化コミュニケーションⅠ	演習	2		○	○						
	異文化コミュニケーションⅡ	演習	2		○	○						
	比 較 文 化 論 Ⅰ	演習	2		○	○						
	比 較 文 化 論 Ⅱ	演習	2		○	○						
	日本語プレゼンテーション	演習	2		○	○						
	現 代 日 本 語	演習	2		○	○						
	日 本 事 情	演習	2				○	○				
	社 会 時 事 Ⅰ	講義	4					○	○			
	社 会 時 事 Ⅱ	講義	4					○	○			
	日 本 の 基 術 ・ 文 化	講義	2					○				
	日 本 の 文 化	演習	1		○							
	観 光 学 入 門	講義	1				●					
	別 府 の 歴 史 と 発 展	講義	2				○					
	温泉コンシェルジュの基礎	講義	2				○			観光学概論読み替え		
	温泉文化と活用	講義	2					○				
	温泉医療産業指標	講義	2					○				
ジョブラーニング	温泉健康トレーニング	講義	2					○				
	インターンシップⅠ	実習	1	●	●	●	●					
	インターンシップⅡ	実習	1	●	●	●	●					
	インターンシップⅢ	実習	1	●	●	●	●					
	インターンシップⅣ	実習	1	●	●	●	●					
	インターンシップⅤ	実習	2	●	●	●	●					
	インターンシップⅥ	実習	2	●	●	●	●					
	インターンシップⅦ	実習	2	●	●	●	●					
	インターンシップⅧ	実習	2	●	●	●	●					
	インターンシップⅨ	実習	2	●	●	●	●					

※○印は90分授業 1コマ15週 ○○印は90分授業 2コマ15週

●印は90分授業 1コマ8週 ☆印は各資格の必修科目 ☆印は資格の推奨科目

専門教育科目から50単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。
社会貢献演習Ⅰ・Ⅱは2時間×6回以上の貢献をもって演習1単位とする。

「キャリア教育」は2年間を通じて8回以上受講すること。

都合により、開講時期等が変更になることがある。

ライフデザイン総合学科【日本語教育コース】カリキュラムマップ

[平成29年4月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
日本の文学	① 作者の意図や、人物、情景、心情の描写を的確に捉えることができる。 ② 人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うことができる。	○	○	
コミュニケーション論	① 日本での言語・非言語コミュニケーションを知り、社会に参加できる。	○	○	
日本語表現	① 聞く、話す、読む、書く、日本語表現能力の向上ができる。 ② 初級文法・初級文型の整理をし、中級へ移行することができる。 ③ 既習の日本語表現を応用し、初級会話のやり取りができる。	○	○	
情報科学	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
人間関係論	① 人間関係成立のメカニズムを理解できる。 ② 日常の自己の人間関係について社会心理学の知見を還元できる。		○	○
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、理解できる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みを理解できる。 ③ 児童、高齢者、障害者、地域福祉等の福祉体系を理解できる。 ④ 今日的な福祉課題に対する問題点を理解することができる。	○		○
リーダーシップ論	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
経営学	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見の記述を通して、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容を受け、派生的な課題を自ら見つけ、1200字程度の文章として論述することができる。	○	○	
キャリア教育	① 日本の文化に社会人として生きるための基礎力を磨き、日本の社会について知る。 ② 国際人として必要な知識を学び、現在の地域社会に必要なキャリア形成について理解できる。			○
インターンシップ	① 社会現場を経験することにより職業意識や勤労意欲を高め有為なる社会人を育成する。			
社会貢献演習Ⅰ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① To improve confidence in English. ② To improve English communication skills.	○		
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる。 ② 自己紹介や生活によく使われる会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをととしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをととしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
ビジネス実務総論	① ビジネスの実務現場、現状を知り、求められる実務能力を理解する。 ② 変化するビジネス社会において、考える力を持つビジネスパーソンに不可欠な考える力の必要性を理解する。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅰ	① ビジネスの実務を知り、演習、ワーク等を通じて「役割」と「重要性」を理解する。 ② ビジネスの実務に必要な基本マナーを身につける。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅱ	① ビジネス能力を身につけ、ビジネスシーンの全体イメージや流れをつかむ。 ② ビジネスの実務により、社会人としての態度を再現することができる。	○	○	○
ビジネス文書	① ビジネス文書には、一定の型や特有の言葉遣いがあり、これを習得することができる。 ② ビジネスの場において、正確、迅速な文書が書ける能力を醸成できる。	○		○
ビジネスマナー	① ビジネスシーンに必要な基礎知識、マナーを身につける。 ② 面接、電話応対で用いられる日本語表現の習得。 ③ 日本人のビジネススタイルや価値観を理解することができる。	○		○
表計算演習Ⅰ	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
表計算演習Ⅱ	① 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ② 関数（IF・AND・OR・VLOOKUPなど）応用し使うことができる。 ③ セル証明ができる。 ④ 多様なグラフの作成ができる。	○		○
情報処理演習	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
プレゼンテーション概論	① コミュニケーションは双方向であることを知る。 ② 考え、まとめ、発言を繰り返し行い、相手に届くプレゼンテーションを体得する。	○	○	
プレゼンテーション演習	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○
情報ネットワーク論	① 見出しの作成・画像の挿入ができる。 ② リンク元・リンク先の設定ができる。 ③ スタイルシートの設定ができる。 ④ HTMLやJavaScriptの編集ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
事務管理	① 組織の中で行き交う報告・連絡・相談・命令が正確、的確に行われる能力を醸成する。 ② 組織の共通目標が達成できる基盤が「事務」であることを理解できる。	○		○
国際社会	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける ② 新聞の経済記事を理解したり、経済問題について論理的に考えることができる	○	○	
経済学入門	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける ② 新聞の経済記事を理解したり、経済問題について論理的に考えることができる	○	○	
国際経済	① 国際経済に関する知識を理解することができる。 ② 国際経済の現状とそのメカニズムを理解することができる。	○		
国際関係学	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		
国際関係学総論	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		
現代経済事情	① 経済、経営、金融の基本的な知識を理解できる。 ② 地元の生きた経済活動等に触れることができる。 ③ 卒業後、社会生活に生かすことができる。	○		○
観光学概論	① (別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、プログラムを作成する努力ができる。 ③ 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をする心がけができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	
貿易実務	① 世界貿易を俯瞰する感覚を養う。 ② 日本企業の貿易担当者として機能するための素地をつくる。	○		○
日本語中級A	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級B	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級C	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級D	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級E	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級F	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語上級A	① 日本語能力試験 (JLPT) N1読解部分において合格点をめざす。 ② 必要となる情報を調べたり、文章を理解することができる。	○		
日本語上級B	① 日本語能力試験 (JLPT) N1文法において合格点をめざす。 ② 上級文法について正しく運用できる。	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
日本語上級C	① 日本語能力試験 N1読解・聴解部分において合格点をめざす。 ② 実用日本語能力検定の記述問題を通して正確な文章表現ができる。	○		
日本語上級D	① 日本語能力試験 (JLPT) N1文法部分において合格点をめざす。 ② 上級文法について正しく運用できる。	○		
日本語上級E	① ビジネス日本語能力テスト (BJT) において530点以上をめざす。 ② 文字媒体を読み、意図を理解し適切な対応を取ることができる。	○		○
日本語上級F	① ビジネス日本語能力テスト (BJT) において530点以上をめざす。 ② 会話や音声に触れ意図を理解し、判断・運用することができる。	○		○
日本語能力試験対策	① 日本語能力試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
日本留学試験対策	① 日本留学試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
異文化コミュニケーションⅠ	① 日本語でのコミュニケーション能力を身につけ、異文化への理解を深めることができる。	○		○
異文化コミュニケーションⅡ	① 日本語の読解力や表現力を上達させ、コミュニケーション上の課題を解決できる。	○		○
比較文化論Ⅰ	① 通時的また共時的に文化を比較できる。 ② 多岐に渡る地域と類を包括的にリサーチすることができる。 ③ 主観的ステレオタイプの視界から離れ厳密に文化の違いを把握できる。	○	○	
比較文化論Ⅱ	① 日本文化に対して具体的な題材を取り上げそれを理解できる。 ② 異文化との比較を通し、個別文化の価値を認識することができる。 ③ 多様な文化が接触する現代社会の中に課題を捉えることができる。	○		
日本語プレゼンテーション	① 日本語の明瞭な発音・わかりやすい表現を用いて、口頭発表をすることができる。	○	○	
現代日本語	① 現代日本語上級レベルの日本語を運用することができる。 ② 待遇表現・音韻・アクセント・表記・語彙を学び、N1の合格をめざす。 ③ ことばを通して自己と社会との関係を理解することができる。 ④ 社会の中でどのような言語運用がふさわしいか考えることができる。	○	○	
日本事情	① 日本社会・日本人の特性を踏まえ、諸問題を理解することができる ② 講義やディスカッションを通して、日本に対する理解ができる ③ 自分個人の存在と日本の現状の関係性を考えることができる	○		
社会時事Ⅰ	① 日本語で適切に表現する力を身につけ、政治や経済、国際関係等の概略を理解できる。	○	○	
社会時事Ⅱ	① 社会的な出来事を多面的に分析・検討し、社会人としての資質を高めることができる。	○	○	
日本の芸術・文化	① 日本の芸術・文化の歴史的背景について知ることができる	○		
日本の文化	① 日本の文化を講義・実技で体験し、日本の伝統・文化を理解できる。		○	○
観光学入門	① 別府地域について、別府八湯の視点から各地域の特色を説明できる。 ② 顧客が別府を訪れる際に必要な基礎的情報を説明できる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
別府の歴史と発展	① 別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ② 別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③ 取得した情報をもとに、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④ 情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現（説明）できる。	○		
温泉コンシェルジュの基礎	① (別府) 温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、プログラムを作成する努力ができる。 ③ 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をする心がけができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	
温泉文化と活用	① 温泉の活用方法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ② 他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③ 職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。	○	○	
温泉医療療養指導	① 健康増進にむけた温泉の利用方法を説明できる。 ② 安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。	○	○	○
温泉健康トレーニング	① 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ② 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③ 温泉を活用した健康トレーニングや癒し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④ 習得した知識をもとにして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。	○	○	○

ライフデザイン総合学科【国際経営ビジネスコース】 教育課程

[平成29年4月入学生]

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士①	情報処理士②	備 考	
				必 選	前期	後期	前期				後期
基礎科目	日 本 の 文 学	講義	2				○				
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	講義	2	○					☆		
	日 本 語 表 現	講義	2		○				☆	☆	
	情 報 科 学	講義	2	○					☆	☆	
	人 間 関 係	講義	2					○	☆	☆	
	社 会 福 祉	講義	2				○				
	リ ー ダ ー シ ッ プ	講義	2				○		☆	☆	
	経 営 学	講義	2	○					☆	☆	
	大 分 大 学	講義	1		●						
	大 分 の 人 と 世 界	講義	2					○			
外国語	キ ャ リ ア ア 教 育	講義	1		●	●	●	●			
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン	実習	1		●	●	●	●	☆	☆	
	社 会 貢 献 演 習 I	演習	1		●	●	●	●	☆	☆	
	社 会 貢 献 演 習 II	演習	1		●	●	●	●			
	英 会 話	I 演習	1	○							
	英 中 国 語	I 演習	1		○						
	中 国 語	I 演習	1		○						
	中 国 語	II 演習	1			○					
	通 勤 ス ポ ー ツ I	演習	1		○						
	通 勤 ス ポ ー ツ II	演習	1			○					

基礎科目については
8単位以上取得すること

外国語から2単位以上
取得すること

基礎科目については
8単位以上取得すること

外国語から2単位以上
取得すること

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士①	情報処理士②	備 考	
			必 選	前 期	後 期	前 期				後 期
ビジネス実務	ビジネス実務配施Ⅰ	講義	2		○			★		
	ビジネス実務配施Ⅱ	演習	1	○				☆		
	ビジネス実務配施Ⅲ	演習	1		○			☆		
	ビジネス実務配施Ⅳ	演習	1		○			☆		
	ビジネス実務配施Ⅴ	講義	2		○					
	ビジネス実務配施Ⅵ	演習	1		○			☆	★	
	ビジネス実務配施Ⅶ	演習	1			○		☆	☆	
	ビジネス実務配施Ⅷ	演習	1		○			☆	☆	
	ビジネス実務配施Ⅸ	講義	2	○				☆	☆	
	ビジネス実務配施Ⅹ	講義	2		○			☆	☆	
国際ビジネス	国際ビジネス配施Ⅰ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅱ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅲ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅳ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅴ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅵ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅶ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅷ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅸ	講義	2			○		☆	☆	
	国際ビジネス配施Ⅹ	講義	2			○		☆	☆	

よみかえ 簿記Ⅰ
よみかえ 簿記Ⅱ

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士①	情報処理士②	備 考	
				必 選	前期	後期	前期				後期
日本語教育	日 本 語 検 定 対 策 A	演習	1	○							
	日 本 語 検 定 対 策 B	演習	1	○							
	日 本 語 検 定 対 策 C	演習	1		○						
	日 本 語 検 定 対 策 D	演習	1		○						
	日 本 語 検 定 対 策 E	演習	1			○					
	日 本 語 検 定 対 策 F	演習	1			○					
	日 本 語 上 級 A	講義	2	○							
	日 本 語 上 級 B	講義	2	○							
	日 本 語 上 級 C	講義	2		○						
	日 本 語 上 級 D	講義	2		○						
日本の芸術文化・伝統	日 本 語 上 級 E	講義	4			○	○				
	日 本 語 上 級 F	講義	4				○	○			
	日 本 語 能 力 試 験 対 策	演習	1	●	●	●	●			通年	
	日 本 留 学 試 験 対 策	演習	1	●	●	●	●			通年	
	建 物 の 着 付 け ・ マ ナ ー	演習	1				○				
	和 本 の 文 化	演習	1		○						
	日 本 の 栄 華 学 総 論	講義	2				○				
	日 本 の 食 品 衛 生 学	講義	2				○				
	温 泉 泉 源 学	講義	2	○						集中	
	別 府 の 歴 史 と 発 展	講義	2	○							
デジタルメディア	日 本 の 芸 術 ・ 文 化	講義	2				○				
	デ ザ イ ン 表 現	演習	2		○	○					
	ブ リ ブ レ ス 概 論	講義	2		○						
	デ ザ イ ン 論	講義	2		○						
	写 真 (写 真 I)	演習	2	○	○						
	ク ロ ス メ デ ィ ア デ ザ イ ン	講義	2				○				
	日 中 通 訳 入 門	講義	1		●					集中	
	観 光 学 入 門	講義	1	●							
	観 光 学 概 論	講義	2	△						温泉コンシェルジュの基礎読み替え	
	ま ち づ くり と 景 観	講義	2	○						集中	
観光・ガイド	ホ テ ル 経 営 管 理	講義	2	△						おもてなしの心を学ぶ 読み替え	
	おもてなしの心を学ぶ	講義	2	○							
	温 泉 コ ン シ ェ ル ジ ュ の 基 礎	講義	2	○							
	大 分 大 学	講義	2				○				
	温 泉 文 化 と 活 用	講義	2				○				
	温 泉 コ ン シ ェ ル ジ ュ 演 習	演習	2				○	○		集中	
	温 泉 コ ン シ ェ ル ジ ュ 応 用	講義	2					○		集中	
	温 泉 医 療 療 養 指 導	講義	2					○			
	温 泉 健 康 ト レ ー ニ ング	講義	2					○			
	地 域 体 験 学	演習	1	●	●	●	●				
ジョブラーニング	温 泉 学 演 習	演習	1	●	●	●	●				
	お も て な し 演 習	演習	2	○	○	○	○			学外集中 通年	
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ I	実習	1	●	●	●	●				
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ II	実習	1	●	●	●	●				
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ III	実習	1	●	●	●	●				
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ IV	実習	1	●	●	●	●				
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ V	実習	2	●	●	●	●				
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ VI	実習	2	●	●	●	●				
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ VII	実習	2	●	●	●	●				
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ッ プ VIII	実習	2	●	●	●	●				

※○印は90分授業 1コマ15週

●印は90分授業 1コマ8週

★印は各資格の必修科目

☆印は資格の推奨科目

専門教育科目から60単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて82単位以上取得しなければ、卒業できない。

社会貢献演習Ⅰ・Ⅱは2時間×6回以上の貢献をもって演習1単位とする。

「キャリア教育」は2年間を通じて8回以上受講すること。

都合により、開講時期等が変更になることがある。

ライフデザイン総合学科「国際経営ビジネスコース」カリキュラムマップ

〔平成29年4月入学生〕

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
日本の文学	① 作者の意図や、人物、情景、心情の描写を的確に捉えることができる。 ② 人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うことができる。	○	○	
コミュニケーション論	① 日本での言語・非言語コミュニケーションを知り、社会に参加できる。	○	○	
日本語表現	① 聞く、話す、読む、書く、日本語表現能力の向上ができる。 ② 初級文法・初級文型の整理をし、中級へ移行することができる。 ③ 既習の日本語表現を応用し、初級会話のやり取りができる。	○	○	
情報科学	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
人間関係論	① 人間関係成立のメカニズムを理解できる。 ② 日常の自己の人間関係について社会心理学の知見を還元できる。		○	○
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、理解できる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みを理解できる。 ③ 児童、高齢者、障害者、地域福祉等の福祉体系を理解できる。 ④ 今日的な福祉課題に対する問題点を理解することができる。	○		○
リーダーシップ論	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
経営学	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見の記述を通して、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容を受け、派生的な課題を自ら見つけ、1200字程度の文章として論述することができる。	○	○	
キャリア教育	① 日本の文化に社会人として生きるための基礎力を磨き、日本の社会について知る。 ② 国際人として必要な知識を学び、現在の地域社会に必要なキャリア形成について理解できる。			○
インターンシップ	① 社会現場を経験することにより職業意識や勤労意欲を高め有為なる社会人を育成する。			
社会貢献演習Ⅰ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① To improve confidence in English. ② To improve English communication skills.	○		
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる ② 自己紹介や生活によく使われる会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
ビジネス実務総論	① ビジネスの実務現場、現状を知り、求められる実務能力を理解する。 ② 変化するビジネス社会において、考える力を持つビジネスパーソンの不可欠な考える力の必要性を理解する。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅰ	① ビジネスの実務を知り、演習、ワーク等を通じて「役割」と「重要性」を理解する。 ② ビジネスの実務に必要な基本マナーを身につける。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅱ	① ビジネス能力を身につけ、ビジネスシーンの全体イメージや流れをつかむ。 ② ビジネスの実務により、社会人としての態度を再現することができる。	○	○	○
ビジネス文書	① ビジネス文書には、一定の型や特有の言葉遣いがあり、これらを習得することができる。 ② ビジネスの場において、正確、迅速な文書が書ける能力を醸成できる。	○		○
ビジネスマナー	① ビジネスシーンに必要な基礎知識、マナーを身につける。 ② 面接、電話応対で用いられる日本語表現の習得。 ③ 日本人のビジネススタイルや価値観を理解することができる。	○		○
表計算演習Ⅰ	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
表計算演習Ⅱ	① 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ② 関数（IF・AND・OR・VLOOKUPなど）応用し使うことができる。 ③ セル証明ができる。 ④ 多様なグラフの作成ができる。	○		○
情報処理演習	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
現代社会論	① 現代社会の変化とその課題について捉えることができる。 ② 様々な変化の中での問題点と対策について知り、考える。 ③ 社会に関わっていく知識と対応力を身につける。	○		○
プレゼンテーション概論	① コミュニケーションは双方向であることを知る。 ② 考え、まとめ、発言を繰り返し行い、相手に届くプレゼンテーションを体得する。	○	○	
プレゼンテーション演習	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○
情報ネットワーク論	① 見出しの作成・画像の挿入ができる ② リンク元・リンク先の設定ができる。 ③ スタイルシートの設定ができる。 ④ HTMLやJavaScriptの編集ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読解力
事務管理	① 組織の中で行き交う報告・連絡・相談・命令が正確、的確に行われる能力を醸成する。 ② 組織の共通目標が達成できる基盤が「事務」であることを理解できる。	○		○
企業理解	① 産業や職業への理解を深め、キャリアデザインの立て方の基礎を学ぶ。 ② 将来の職業世界への関心を深め、働くことの意義や職業世界の構造について知る。		○	○
国際社会	① 情報公開の進んだ日本の教育文化を通して正しい視野の拡大が進む。 ② 日本の生活で必要とされる基礎的・基本的な知識が身につく。 ③ 現代の国際社会に見られる様々な政治・経済の実情及び課題がわかる。 ④ 国際貢献・社会貢献できる資質能力が向上する。	○	○	
経済学入門	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける。 ② 新聞の経済記事を理解したり、経済問題について論理的に考えることができる。	○	○	
経済学概論	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける。 ② 新聞の経済記事を理解し、経済問題について論理的に考える力を身につける。	○	○	
簿記Ⅰ	① 簿記が金額によってとらえる為の知識であることを学習する。 ② 社会的に大きな役割を果たしている簿記の知識や技術を学習して身につける。 ③ 物事を合理的に考え処理していく能力や生活態度を養う。	○		○
簿記Ⅱ	① 前期の「簿記Ⅰ」をもとに決算手続きまでを学習する。 ② 実務に役立つ技術を身につける。 ③ 経験者は「日商簿記検定3級」の資格取得を目標とする。	○		○
会計学	① 簿記が金額によってとらえる為の知識であることを学習する。 ② 社会的に大きな役割を果たしている簿記の知識や技術を学習して身につける。 ③ 物事を合理的に考え処理していく能力や生活態度を養う。	○		○
会計学演習	① 前期の「簿記Ⅰ」をもとに決算手続きまでを学習する。 ② 実務に役立つ技術を身につける。 ③ 経験者は「日商簿記検定3級」の資格取得を目標とする。	○		○
国際経済	① 国際経済に関する知識を理解することができる。 ② 国際経済の現状とそのメカニズムを理解することができる。	○		
国際経済概論	① 国際経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける。 ② 新聞の経済記事を理解し、経済問題について論理的に考える力を身につける。	○	○	
国際関係学	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		
国際関係学総論	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	読解力
マクロ経済学	① 大きな視点から経済現象を知ることができる。 ② 金融論、国際経済学、財政学などの基礎を理解することができる。	○	○	
現代経済事情	① 経済、経営、金融の基本的な知識を理解できる。 ② 地元の生きた経済活動等に触れることができる。 ③ 卒業後、社会生活に生かすことができる。	○		○
貿易実務	① 世界貿易を俯瞰する感覚を養う。 ② 日本企業の貿易担当者として機能するための素地をつくる。	○		○
日本語検定対策A	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策B	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策C	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策D	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策E	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。 ④ N1の合格をめざす。	○	○	
日本語検定対策F	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。 ④ N1の合格をめざす。	○	○	
日本語上級A	① 日本語能力試験（JLPT）N1読解部分において合格点をめざす。 ② 必要となる情報を調べたり、文章を理解することができる。	○		
日本語上級B	① 日本語能力試験（JLPT）N1文法において合格点をめざす。 ② 上級文法について正しく運用できる。	○		
日本語上級C	① 日本語能力試験 N1読解・聴解部分において合格点をめざす。 ② 実用日本語能力検定の記述問題を通して正確な文章表現ができる。	○		
日本語上級D	① 日本語能力試験（JLPT）N1文法部分において合格点をめざす。 ② 上級文法について正しく運用できる。	○		
日本語上級E	① ビジネス日本語能力テスト（BJT）において530点以上をめざす。 ② 文字媒体を読み、意図を理解し適切な対応を取ることができる。	○		○
日本語上級F	① ビジネス日本語能力テスト（BJT）において530点以上をめざす。 ② 会話や音声に触れ意図を理解し、判断・運用することができる。	○		○
日本語能力試験対策	日本語能力試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
日本語学試験対策	日本語学試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
着物の着付け・マナー	① 帯結びを習得する。 ② 男女のきものの着方の違う所を理解することができる。	○		
和裁	① 和裁の基礎的な知識と技術を修得することができる。 ② 洋裁縫製技術に生かすための和裁縫製技術を修得することができる。 ③ 浴衣を製作する。	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
日本の文化	日本の文化を講義・実技で体験し、日本の伝統・文化を理解できる。		○	○
日本の栄養学総論	① 各栄養素の種類及び体内でのはたらきを説明できる。 ② 消化と吸収について理解できる。 ③ エネルギー代謝について理解できる。	○	○	
日本の食品衛生学	① 食中毒の種類とその原因及び対策を説明できる。 ② 食品添加物の安全性とその考え方を説明できる。 ③ 食品表示について説明できる。	○	○	○
温泉学	① 温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ② 別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③ 温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。	○	○	
別府の歴史と発展	① 別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ② 別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③ 取得した情報をもとに、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④ 情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現（説明）できる。	○		
日本の芸術・文化	① 日本の芸術・文化の歴史的背景について知ることができる。	○		
デザイン表現	① 造形表現の形、色彩、変化、統一の関係を学ぶことができる。 ② 具体的、自律的な作品として研究することができる。 ③ パッケージ等の基礎訓練のための展開図、制作を行う。	○	○	
プリプレス概論	① DTP、プリプレスの基礎知識、技術を作品づくりを通して取得する。	○	○	
デザイン論	① DTP、プリプレスの企画、技術を作品づくりを通して習得する。	○	○	
写真Ⅰ	① デジタルカメラを使った撮影の基礎的な知識と技術を習得する。	○	○	○
クロスメディアデザイン	① クロスメディアの表現力を獲得する。 ② プラットフォームとしてiBooks Authorをマスターする。	○	○	○
日中通訳入門	① 日中通訳に必要とする基礎的な通訳技術を習得し、日本語能力の向上を図る。 ② ビジネス通訳や観光案内の基本をマスターする。	○	○	○
観光学入門	① 別府地域について、別府八湯の視点から各地域の特色を説明できる。 ② 顧客が別府を訪れる際に必要な基礎的情報を説明できる。	○	○	○
観光学概論	① (別府) 温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、プログラムを作成する努力ができる。 ③ 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をする心がけができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	
まちづくりと景観	① 紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ② 地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③ 顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④ 別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。	○		
ホテル経営管理論	① 日本の接客業における、総合的なおもてなしの心や業務が分かる。 ② 温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。 ③ 他者を理解し多様な価値観を受容することができる。 ④ 日本や世界のおもてなしの心と作法をもとに、接客サービスができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
おもてなしの心を学ぶ	① 日本の接客業における、総合的なおもてなしの心や業務が分かる。 ② 温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。 ③ 他者を理解し多様な価値観を受容することができる。 ④ 日本や世界のおもてなしの心と作法をもとに、接客サービスができる。	○	○	○
温泉コンシェルジュの基礎	① (別府) 温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、プログラムを作成する努力ができる。 ③ 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をする心がけができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	
大分学	① 大分県内の特色（歴史・人物・文化・産業 等）について学ぶ。 ② 大分県の魅力を全国に発信することができる。	○	○	
温泉文化と活用	① 温泉の活用法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ② 他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③ 職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。	○	○	
温泉コンシェルジュ演習	① (別府) 温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 「おすすめの別府案内」プログラムが提案できる。 ③ 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようと心がけことができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	○
温泉コンシェルジュ応用	① 別府の地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案ができる。 ② 多様な情報を収集し、顧客の潜在価値を高めるツールを作成できる。 ③ 人的ネットワークを活用し、課題解決力を身につけることができる。 ④ 顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為に提案を行うことができる。	○		
温泉医療療養指導	① 健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ② 安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。	○	○	○
温泉健康トレーニング	① 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ② 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③ 温泉を活用した健康トレーニングや鑑し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④ 習得した知識をもとにして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。	○	○	○
地域体験学	① 地域の歴史文化や観光サービスについて、実体験を通して自身の言葉で説明できる。 ② 他者と協力しあい、物事を遂行することができる。	○	○	○
温泉学演習	① 地域の温泉や温泉文化について、実体験を通して自身の言葉で説明できる。 ② 温泉の活用方法および保全活動について現状を把握し、説明できる。	○	○	○
おもてなし演習	① ニーズに沿ったサービスの提供など、コンシェルジュの基本を学ぶ。 ② 温泉の知識を活用し、商品化する方法を考え企画することができる。 ③ おもてなしの心を持って接客サービスしようとするすることができる。 ④ 多様な価値観を受容し、信頼関係を築き、親和的に接しようとする努力をする。	○	○	○

ライフデザイン総合学科〔日本語教育コース〕 教育課程

[平成29年10月入学生]

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士☆	情報処理士☆	備 考
				必 選	前期	後期	前期			
基礎教育科目	日 本 の 文 学	講義	2				○			基礎科目については 8単位以上取得すること
	コミュニケーション論	講義	2		○			☆		
	日 本 語 表 現	講義	2	○				☆	☆	
	情 報 科 学	講義	2		○			☆	☆	
	人 間 関 係 論	講義	2			○		☆	☆	
	社 会 福 祉	講義	2				○			
	リーダースhip	講義	2				○	☆	☆	
	経 営 学	講義	2		○			☆	☆	
	大 分 再 発 見	講義	1			●				
	大 分 の 人 と 学 問	講義	2	○						
	キャリア教育	講義	1		●	●	●	●		
	インターンシップ	実習	1	●	●	●	●	☆	☆	
外国語	社会貢献演習Ⅰ	演習	1	●	●	●	●	☆	☆	
	社会貢献演習Ⅱ	演習	1	●	●	●	●			
	英 語 Ⅰ	演習	1		○					
	英 語 Ⅱ	演習	1			○				
	中 国 語 Ⅰ	演習	1		○				外国語から2単位以上 取得すること	
	中 国 語 Ⅱ	演習	1			○				
体育	運動スポーツⅠ	演習	1		○					
	運動スポーツⅡ	演習	1			○				

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士 [☆]	情報処理士 [☆]	備 考		
				必	選	前期	後期				前期	後期
専門教育科目	ビジネス実務	ビジネス実務総論	講義	2				○		☆		
		ビジネス実務演習Ⅰ	演習	1			○			☆		
		ビジネス実務演習Ⅱ	演習	1				○		☆		
		ビジネス文書	演習	1				○		☆		
		ビジネスマナー	講義	2	○							
		表計算演習Ⅰ	演習	1				○		☆	★	
		情報処理演習	演習	1	○					☆	☆	
		現代社会論	講義	2			○			☆	☆	
		プレゼンテーション概論	講義	2				○		☆	★	
		情報ネットワーク論	講義	2					○	☆	★	
		経済学入門	講義	2					○	☆	☆	
		国際経済	講義	2					○	☆	☆	
		国際関係学	講義	2				○		☆	☆	
		国際関係学総論	講義	2					○			
		事務管理	講義	2					○	★		
		日中通訳入門	講義	1				●				
		貿易実務	講義	2					○			

科 目		履 修 法	単 位		1 年		2 年		ビジネス実務士☆	情報処理士☆	備 考
			必	選	前期	後期	前期	後期			
日本語教育	日 本 語 初 級 A	演習	2	○							
	日 本 語 初 級 B	演習	2	○							
	日 本 語 初 級 C	演習	2	○							
	日 本 語 初 級 D	演習	2	○							
	日 本 語 初 級 E	演習	2	○							
	日 本 語 初 級 F	演習	2	○							
	日 本 語 中 級 A	演習	2		○	○					
	日 本 語 中 級 B	演習	2		○	○					
	日 本 語 中 級 C	演習	2		○	○					
	日 本 語 中 級 D	演習	2		○	○					
	日 本 語 中 級 E	演習	2		○	○					
	日 本 語 中 級 F	演習	2		○	○					
日本の文化・社会	日 本 語 能 力 試 験 対 策	演習	1	●	●	●	●				通年
	日 本 留 学 試 験 対 策	演習	1	●	●	●	●				通年
	異文化コミュニケーションⅠ	演習	2				○	○			
	異文化コミュニケーションⅡ	演習	2				○	○			
	比 較 文 化 論 Ⅰ	演習	2				○	○			
	比 較 文 化 論 Ⅱ	演習	2				○	○			
	日 本 語 プレゼンテーション	演習	2				○	○			
	現 代 日 本 語	演習	2				○	○			
	日 本 本 事 情	演習	2					○	○		
	社 会 時 事 Ⅰ	講義	4					○	○		
	社 会 時 事 Ⅱ	講義	4					○	○		
	日 本 の 文 化	演習	1	○							
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅰ	実習	1	●	●	●	●	●			
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅱ	実習	1	●	●	●	●	●			
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅲ	実習	1	●	●	●	●	●			
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅳ	実習	1	●	●	●	●	●			
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅴ	実習	2	●	●	●	●	●			
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅵ	実習	2	●	●	●	●	●			
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅶ	実習	2	●	●	●	●	●			
	イ ン タ ー シ ッ プ Ⅷ	実習	2	●	●	●	●	●			

※○印は90分授業 1コマ15週 ○印は90分授業 2コマ15週

●印は90分授業 1コマ8週 ☆印は各資格の必修科目 ☆印は資格の推奨科目

専門教育科目から50単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。
社会貢献演習Ⅰ・Ⅱは2時間×8回以上の貢献をもって演習1単位とする。

「キャリア教育」は2年間を通じて8回以上受講すること。

都合により、開講時期等が変更になることがある。

ライフデザイン総合学科【日本語教育コース】カリキュラムマップ

【平成29年10月入学生】

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
日本の文学	① 作者の意図や、人物、情景、心情の描写を的確に捉えることができる。 ② 人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うことができる。	○	○	
コミュニケーション論	① 日本での言語・非言語コミュニケーションを知り、社会に参加できる。	○	○	
日本語表現	① 聞く、話す、読む、書く、日本語表現能力の向上ができる。 ② 初級文法・初級文型の整理をし、中級へ移行することができる。 ③ 既習の日本語表現を応用し、初級会話のやり取りができる。	○	○	
情報科学	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
人間関係論	① 人間関係成立のメカニズムを理解できる。 ② 日常の自己の人間関係について社会心理学の知見を還元できる。		○	○
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、理解できる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みを理解できる。 ③ 児童、高齢者、障害者、地域福祉等の福祉体系を理解できる。 ④ 今日的な福祉課題に対する問題点を理解することができる。	○		○
リーダーシップ論	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
経営学	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見の記述を通して、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容を受け、派生的な課題を自ら見つけ、1200字程度の文章として論述することができる。	○	○	
キャリア教育	① 日本の文化に社会人として生きるための基礎力を磨き、日本の社会について知る。 ② 国際人として必要な知識を学び、現在の地域社会に必要なキャリア形成について理解できる。			○
インターンシップ	① 社会現場を経験することにより職業意識や勤労意欲を高め有為なる社会人を育成する。			
社会貢献演習Ⅰ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① To improve confidence in English. ② To improve English communication skills.	○		
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる ② 自己紹介や生活によく使われる会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
ビジネス実務総論	① ビジネスの実務現場、現状を知り、求められる実務能力を理解する ② 変化するビジネス社会において、考える力を持つビジネスパーソンに不可欠な考える力の必要性を理解する	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅰ	① ビジネスの実務を知り、演習、ワーク等を通じて「役割」と「重要性」を理解する ② ビジネスの実務に必要な基本マナーを身につける	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅱ	① ビジネス能力を身につけ、ビジネスシーンの全体イメージや流れをつかむ ② ビジネスの実務により、社会人としての態度を再現することができる	○	○	○
ビジネス文書	① ビジネス文書には、一定の型や特有の言葉遣いがあり、これを習得することができる。 ② ビジネスの場において、正確、迅速な文書が書ける能力を醸成できる。	○		○
ビジネスマナー	① ビジネスシーンに必要な基礎知識、マナーを身につける。 ② 面接、電話応対で用いられる日本語表現の習得。 ③ 日本人のビジネススタイルや価値観を理解することができる。	○		○
表計算演習Ⅰ	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
情報処理演習	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
現代社会論	① 現代社会の変化とその課題について捉えることができる。 ② 様々な変化の中での問題点と対策について知り、考える。 ③ 社会に関わっていく知識と対応力を身につける。	○		○
プレゼンテーション概論	① コミュニケーションは双方向であることを知る。 ② 考え、まとめ、発言を繰り返し行い、相手に届くプレゼンテーションを体得する。	○		○
情報ネットワーク論	① 見出しの作成・画像の挿入ができる ② リンク元・リンク先の設定ができる。 ③ スタイルシートの設定ができる。 ④ HTMLやJavaScriptの編集ができる。	○	○	
経済学入門	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける ② 新聞の経済記事を理解したり、経済問題について論理的に考えることができる	○	○	○
国際経済	① 国際経済に関する知識を理解することができる。 ② 国際経済の現状とそのメカニズムを理解することができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
国際関係学	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		○
国際関係学総論	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		
事務管理	① 組織の中で行き交う報告・連絡・相談・命令が正確、的確に行われる能力を醸成する。 ② 組織の共通目標が達成できる基盤が「事務」であることを理解できる。	○		○
日中通訳入門	① 日中通訳に必要とする基礎的な通訳技術を習得し、日本語能力の向上を図る ② ビジネス通訳や観光案内の基本をマスターする	○	○	○
貿易実務	① 世界貿易を俯瞰する感覚を養う。 ② 日本企業の貿易担当者として機能するための素地を作る。	○		○
日本語初級A	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級B	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級C	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級D	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級E	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級F	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語中級A	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級B	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級C	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級D	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級E	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級F	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
日本語能力試験対策	① 日本語能力試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
日本留学試験対策	① 日本留学試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
異文化コミュニケーションⅠ	① 日本語でのコミュニケーション能力を身につけることができる。 ② 異文化への理解を深めることができる。	○		○
異文化コミュニケーションⅡ	① 日本語の読解・表現力を磨き、円滑にコミュニケーションできる。	○		○
比較文化論Ⅰ	① 通時的また共時的に文化を比較できる。 ② 多岐に渡る地域と類を包括的にリサーチすることができる。 ③ 主観的ステレオタイプの視野から離れ、厳密に文化の違いを把握できる。	○	○	
比較文化論Ⅱ	① 日本文化に対して具体的な題材を取り上げそれを理解できる。 ② 異文化との比較を通し、個別文化の価値を認識することができる。 ③ 多様な文化が接触する現代社会の中に課題を捉えることができる。	○		
日本語プレゼンテーション	① 日本語の明瞭な発音・わかりやすい表現を用いることができる。 ② ①を活用し、口頭発表をすることができる。	○	○	
現代日本語	① 現代日本語上級レベルの日本語を運用することができる。 ② 待遇表現・音韻・アクセント・表記・語彙を学び、N1の合格をめざす。 ③ ことばを通して自己と社会との関係を理解することができる。 ④ 社会の中でどのような言語運用がふさわしいか考えることができる。	○	○	
日本事情	① 日本社会・特性を踏まえ、諸問題を理解することができる。 ② 講義やディスカッションを通して、日本に対する理解ができる。 ③ 自分個人の存在と日本の現状の関係性を考えることができる。	○		
社会時事Ⅰ	① 日本語で適切に表現する力を身につけることができる。 ② 政治や経済、国際関係等の概略を理解できる。	○	○	
社会時事Ⅱ	① 社会的な出来事を多面的に分析・検討することができる。 ② ①を活用し、社会人としての資質を高めることができる。	○	○	
日本の文化	① 日本の文化を講義・実技で体験し、日本の伝統・文化を理解できる。		○	○

ライフデザイン総合学科〔国際経営ビジネスコース〕 教育課程

[平成29年10月入学生]

科 目		履修法	単位	1 年		2 年		ビジネス実務士必	情報処理士必	備 考		
				必	選	前期	後期				前期	後期
基礎教育	基礎科目	日 本 の 文 学	講義	2				○				
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	講義	2			○		☆			
		日 本 語 科 表 現	講義	2	○				☆	☆		
		情 報 科 学	講義	2			○		☆	☆		
		人 間 関 係 論	講義	2				○	☆	☆		
		社 会 福 祉	講義	2				○				
		リー ダ ー シ ッ プ	講義	2				○	☆	☆		
		経 営 学	講義	2			○		☆	☆		
		大 分 再 発 見	講義	1				●				
		大 分 の 人 と 学 び	講義	2		○						
外国語	英語	キ ャ ー リ ア 教 育	講義	1		●	●	●	●			
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	実習	1		●	●	●	●	☆		
		社 会 実 践 演 習 Ⅰ	演習	1		●	●	●	●	☆		
		社 会 実 践 演 習 Ⅱ	演習	1		●	●	●	●	☆		
		英 会 話	演習	1		○						
		英 会 話	演習	1				○				
		中 国 語	演習	1			○					
		中 国 語	演習	1				○				
		通 訳 ス ー ツ Ⅰ	演習	1		○						
		通 訳 ス ー ツ Ⅱ	演習	1			○					
体育	体育	運動	演習	1		○						
		運動	演習	1			○					

基礎科目については
8単位以上取得すること

外国語から2単位以上
取得すること

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士必	情報処理士必	備 考		
			必	選	前期	後期				前期	後期
ビジネス実務	ビジネス実務 簿記Ⅰ	講義	2	○				★			
	ビジネス実務 簿記Ⅱ	演習	1		○			★			
	ビジネス実務 簿記Ⅲ	演習	1			○		★			
	ビジネス実務 簿記Ⅳ	演習	1			○		★			
	ビジネス実務 簿記Ⅴ	講義	2	○				★			
	ビジネス実務 簿記Ⅵ	演習	1			○		★			
	ビジネス実務 簿記Ⅶ	演習	1				○	★			
	ビジネス実務 簿記Ⅷ	演習	1	○				★			
	ビジネス実務 簿記Ⅸ	講義	2		○			★			
	ビジネス実務 簿記Ⅹ	演習	1				○	★			
国際ビジネス	国際ビジネス 簿記Ⅺ	講義	2	○				★			
	国際ビジネス 簿記Ⅻ	演習	1			○		★			
	国際ビジネス 簿記Ⅼ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記Ⅽ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記Ⅾ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記Ⅿ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅰ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅱ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅲ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅴ	演習	2			○		★			
国際ビジネス	国際ビジネス 簿記ⅵ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅶ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅷ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅸ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅹ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅺ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅻ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅼ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅽ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅾ	演習	2			○		★			
国際ビジネス	国際ビジネス 簿記ⅿ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	演習	2			○		★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	講義	2		○			★			
	国際ビジネス 簿記ⅿ	演習	2			○		★			

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士必	情報処理士必	備 考
				必 選	前期	後期	前期			
日本語教育	日本語教育	演習	1	○						
	日本語教育	演習	1	○						
	日本語教育	演習	1	○						
	日本語教育	演習	1	○						
	日本語教育	演習	1		○					
	日本語教育	演習	1		○					
	日本語教育	演習	2		○					
	日本語教育	演習	2		○					
	日本語教育	演習	2			○				
	日本語教育	演習	2			○				
日本の芸術文化・伝統	日本の芸術文化・伝統	演習	1	●	●	●	●			通年
	日本の芸術文化・伝統	演習	1	●	●	●	●			通年
	日本の芸術文化・伝統	演習	1	○						
	日本の芸術文化・伝統	演習	1	○						
	日本の芸術文化・伝統	演習	1	○						
	日本の芸術文化・伝統	演習	2				○			
	日本の芸術文化・伝統	演習	2				○			
	日本の芸術文化・伝統	演習	2			○				期中
	日本の芸術文化・伝統	演習	2			○				
	日本の芸術文化・伝統	演習	2			○				
デジタルメディア	デジタルメディア	演習	2			○	○			
	デジタルメディア	演習	2			○	○			
	デジタルメディア	演習	2			○	○			
	デジタルメディア	演習	2			○	○			
	デジタルメディア	演習	2	○						
	デジタルメディア	演習	1	●						
	デジタルメディア	演習	2			○				
	デジタルメディア	演習	2			○				
	デジタルメディア	演習	2			○				
	デジタルメディア	演習	2			○				
観光・ガイド	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
	観光・ガイド	演習	2			○				
ジョブフーニング	ジョブフーニング	演習	2	○	○	○	○			学外集中 通年
	ジョブフーニング	演習	1	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	1	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	1	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	1	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	2	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	2	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	2	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	2	●	●	●	●			
	ジョブフーニング	演習	2	●	●	●	●			

※○印は90分授業 1コマ15週 ○○印は90分授業 2コマ15週

●印は90分授業 1コマ8週

★印は各資格の必修科目

☆印は資格の推薦科目

専門教育科目から60単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。

社会貢献演習Ⅰ・Ⅱは2時間×8回以上の貢献をもって演習1単位とする。

「キャリア教育」は2年間を通じて8回以上受講すること。

都合により、開講時期等が変更になることがある。

ライフデザイン総合学科【国際経営ビジネスコース】カリキュラムマップ

[平成29年10月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
日本の文学	① 作者の意図や、人物、情景、心情の描写を的確に捉えることができる。 ② 人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うことができる。	○	○	
コミュニケーション論	① 日本での言語・非言語コミュニケーションを知り、社会に参加できる。	○	○	
日本語表現	① 聞く、話す、読む、書く、日本語表現能力の向上ができる。 ② 初級文法・初級文型の整理をし、中級へ移行することができる。 ③ 既習の日本語表現を応用し、初級会話のやり取りができる。	○	○	
情報科学	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
人間関係論	① 人間関係成立のメカニズムを理解できる。 ② 日常の自己の人間関係について社会心理学の知見を還元できる。		○	○
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、理解できる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みを理解できる。 ③ 児童、高齢者、障害者、地域福祉等の福祉体系を理解できる。 ④ 今日的な福祉課題に対する問題点を理解することができる。	○		○
リーダーシップ論	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
経営学	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見の記述を通して、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容を受け、派生的な課題を自ら見つけ、1200字程度の文章として論述することができる。	○	○	
キャリア教育	① 日本の文化に社会人として生きるための基礎力を磨き、日本の社会について知る。 ② 国際人として必要な知識を学び、現在の地域社会に必要なキャリア形成について理解できる。			○
インターンシップ	① 社会現場を経験することにより職業意識や勤労意欲を高め有為なる社会人を育成する。			
社会貢献演習Ⅰ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① To improve confidence in English. ② To improve English communication skills.	○		
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる ② 自己紹介や生活によく使われる会話がわかる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
ビジネス実務総論	① ビジネスの実務現場、現状を知り、求められる実務能力を理解する。 ② 変化するビジネス社会において、考える力を持つビジネスパーソンに不可欠な考える力の必要性を理解する。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅰ	① ビジネスの実務を知り、演習、ワーク等を通じて「役割」と「重要性」を理解する。 ② ビジネスの実務に必要な基本マナーを身につける。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅱ	① ビジネス能力を身につけ、ビジネスシーンの全体イメージや流れをつかむ。 ② ビジネスの実務により、社会人としての態度を再現することができる。	○	○	○
ビジネス文書	① ビジネス文書には、一定の型や特有の言葉遣いがあり、これを習得することができる。 ② ビジネスの場において、正確、迅速な文書が書ける能力を醸成できる。	○		○
ビジネスマナー	① ビジネスシーンに必要な基礎知識、マナーを身につける。 ② 面接、電話応対で用いられる日本語表現の習得。 ③ 日本人のビジネススタイルや価値観を理解することができる。	○		○
表計算演習Ⅰ	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
表計算演習Ⅱ	① 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ② 関数（IF・AND・OR・VLOOKUPなど）応用し使うことができる。 ③ セル証明ができる。 ④ 多様なグラフの作成ができる。	○		○
情報処理演習	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
現代社会論	① 現代社会の変化とその課題について捉えることができる。 ② 様々な変化の中での問題点と対策について知り、考える。 ③ 社会に関わっていく知識と対応力を身につける。	○		○
プレゼンテーション概論	① コミュニケーションは双方向であることを知る。 ② 考え、まとめ、発言を繰り返し行い、相手に届くプレゼンテーションを体得する。	○	○	
プレゼンテーション演習	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
情報ネットワーク論	① 見出しの作成・画像の挿入ができる。 ② リンク元・リンク先の設定ができる。 ③ スタイルシートの設定ができる。 ④ HTMLやJavaScriptの編集ができる。	○		○
事務管理	① 組織の中で行き交う報告・連絡・相談・命令が正確、的確に行われる能力を醸成する。 ② 組織の共通目標が達成できる基盤が「事務」であることを理解できる。	○		○
企業理解	① 産業や職業への理解を深め、キャリアデザインの立て方の基礎を学ぶ。 ② 将来の職業世界への関心を深め、働くことの意義や職業世界の構造について知る。		○	○
国際社会	① 情報公開の進んだ日本の教育文化を通して正しい視野の拡大が進む。 ② 日本の生活で必要とされる基礎的・基本的な知識が身につく。 ③ 現代の国際社会に見られる様々な政治・経済の実情及び課題がわかる。 ④ 国際貢献・社会貢献できる資質能力が向上する。	○	○	
経済学入門	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける。 ② 新聞の経済記事を理解したり、経済問題について論理的に考えることができる。	○	○	
経済学概論	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける。 ② 新聞の経済記事を理解し、経済問題について論理的に考える力を身につける。	○	○	
簿記Ⅰ	① 簿記が金額によってとらえる為の知識であることを学習する。 ② 社会的に大きな役割を果たしている簿記の知識や技術を学習して身につける。 ③ 物事を合理的に考え処理していく能力や生活態度を養う。	○		○
簿記Ⅱ	① 前期の「簿記Ⅰ」をもとに決算手続きまでを学習する。 ② 実務に役立つ技術を身につける。 ③ 経験者は「日商簿記検定3級」の資格取得を目標とする。	○		○
会計学演習	① 前期の「簿記Ⅰ」をもとに決算手続きまでを学習する。 ② 実務に役立つ技術を身につける。 ③ 経験者は「日商簿記検定3級」の資格取得を目標とする。	○		○
国際経済	① 国際経済に関する知識を理解することができる。 ② 国際経済の現状とそのメカニズムを理解することができる。	○		
国際経済概論	① 国際経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける。 ② 新聞の経済記事を理解し、経済問題について論理的に考える力を身につける。	○	○	
国際関係学	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
国際関係学総論	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		
マクロ経済学	① 大きな視点から経済現象を知ることができる。 ② 金融論、国際経済学、財政学などの基礎を理解することができる。	○	○	
現代経済事情	① 経済、経営、金融の基本的な知識を理解できる。 ② 地元の生きた経済活動等に触れることができる。 ③ 卒業後、社会生活に生かすことができる。	○		○
貿易実務	① 世界貿易を俯瞰する感覚を養う。 ② 日本企業の貿易担当者として機能するための素地をつくる。	○		○
日本語検定対策A	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策B	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策C	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策D	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。	○		
日本語検定対策E	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。 ④ N1の合格をめざす。	○	○	
日本語検定対策F	① 日本留学試験において目標点とする日本語の運用ができる。 ② 日本の大学で学ぶために必要な4技能が運用できる。 ③ 文字・読解と聴解、聴読解を通し、日本の社会が理解できる。 ④ N1の合格をめざす。	○	○	
日本語上級A	① 日本語能力試験（JLPT）N1読解部分において合格点をめざす。 ② 必要となる情報を調べたり、文章を理解することができる。	○		
日本語上級B	① 日本語能力試験（JLPT）N1文法において合格点をめざす。 ② 上級文法について正しく運用できる。	○		
日本語上級C	① 日本語能力試験 N1読解・聴解部分において合格点をめざす。 ② 実用日本語能力検定の記述問題を通して正確な文章表現ができる。	○		
日本語上級D	① 日本語能力試験（JLPT）N1文法部分において合格点をめざす。 ② 上級文法について正しく運用できる。	○		
日本語上級E	① ビジネス日本語能力テスト（BJT）において530点以上をめざす。 ② 文字媒体を読み、意図を理解し適切な対応を取ることができる。	○		○
日本語上級F	① ビジネス日本語能力テスト（BJT）において530点以上をめざす。 ② 会話や音声に触れ意図を理解し、判断・運用することができる。	○		○
日本語能力試験対策	① 日本語能力試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
日本留学試験対策	① 日本留学試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
着物の着付け・マナー	① 帯結びを習得する。 ② 男女のきものの着方の違う所を理解することができる。	○		
和裁	① 和裁の基礎的な知識と技術を修得することができる。 ② 洋服縫製技術に活かすための和裁縫製技術を修得することができる。 ③ 浴衣を製作する。	○		
日本の文化	① 日本の文化を講義・実技で体験し、日本の伝統・文化を理解できる。		○	○
日本の栄養学総論	① 各栄養素の種類及び体内でのはたらきを説明できる。 ② 消化と吸収について理解できる。 ③ エネルギー代謝について理解できる。	○	○	
日本の食品衛生学	① 食中毒の種類とその原因及び対策を説明できる。 ② 食品添加物の安全性とその考え方を説明できる。 ③ 食品表示について説明できる。	○	○	○
温泉学	① 温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ② 別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③ 温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。	○	○	
別府の歴史と発展	① 別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ② 別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③ 取得した情報をもとに、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④ 情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現(説明)できる。	○		
日本の芸術・文化	① 日本の芸術・文化の歴史的背景について知ることができる	○		
デザイン表現	① 造形表現の形、色彩、変化、統一の関係を学ぶことができる。 ② 具体的、自律的な作品として研究することができる。 ③ パッケージ等の基礎訓練のための展開図、制作を行う。	○	○	
プリプレス概論	① DTP、プリプレスの基礎知識、技術を作品づくりを通して取得する。	○	○	
デザイン論	① DTP、プリプレスの企画、技術を作品づくりを通して習得する。	○	○	
写真Ⅰ	① デジタルカメラを使った撮影の基礎的な知識と技術を習得する。	○	○	○
クロスメディアデザイン	① クロスメディアの表現力を獲得する。 ② プラットフォームとしてiBooks Authorをマスターする。	○	○	○
日中通訳入門	① 日中通訳に必要とする基礎的な通訳技術を習得し、日本語能力の向上を図る。 ② ビジネス通訳や観光案内の基本をマスターする	○	○	○
おもてなしの心を学ぶ	① 日本の接客業における、総合的なおもてなしの心や業務が分かる。 ② 温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。 ③ 他者を理解し多様な価値観を受容することができる。 ④ 日本や世界のおもてなしの心と作法をもとに、接客サービスができる。	○	○	○
温泉コンシェルジュの基礎	① (別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、プログラムを作成する努力ができる。 ③ 他人の話をよく傾け、適切な対応をする心がけができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
大分県	① 大分県内の特色(歴史・人物・文化・産業等)について学ぶ。 ② 大分県の魅力や全国に発信することができる。	○	○	
温泉文化と活用	① 温泉の活用方法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ② 他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③ 職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。	○	○	
温泉コンシェルジュ演習	① (別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 「おすすめの別府案内」プログラムが提案できる。 ③ 他人の話をよく傾け、適切な対応をしようと心がけることができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	○
温泉コンシェルジュ応用	① 別府の地域資源を組み合わせた潜在プログラムの提案ができる。 ② 多様な情報を収集し、顧客の潜在価値を高めるツールを作成できる。 ③ 人的ネットワークを活用し、課題解決力を身に付けることができる。 ④ 顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為に提案を行うことができる。	○		
温泉医療療養指導	① 健康増進にむけた温泉の利用方法を説明できる。 ② 安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。	○	○	○
温泉健康トレーニング	① 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ② 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③ 温泉を活用した健康トレーニングや鑑し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④ 習得した知識をもとにして、課題解決にむけたプログラムを提案できる。	○	○	○
観光学入門	① 別府地域について、別府八湯の視点から各地域の特色を説明できる。 ② 顧客が別府を訪れる際に必要な基礎的な情報を説明できる。	○	○	○
観光学概論	① (別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を理解し、説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、顧客の求めるプログラムを作成しようとする。 ③ 他人の話をよく傾け、適切な対応をしようと心がけることができる。 ④ 顧客や職場等の考えを理解し、多様な価値観を受容しようとするすることができる。	○	○	
まちづくりと景観	① 紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ② 地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③ 顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④ 別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。	○		
ホテル経営管理論	① 日本の接客業における、総合的なおもてなしの心や業務が分かる。 ② 温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。 ③ 他者を理解し多様な価値観を受容することができる。 ④ 日本や世界のおもてなしの心と作法をもとに、接客サービスができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
地域体験学	① 地域の歴史文化や観光サービスについて、実体験を通して自身の言葉で説明できる。 ② 他者と協力しあい、物事を遂行することができる。	○	○	○
温泉学演習	① 地域の温泉や温泉文化について、実体験を通して自身の言葉で説明できる。 ② 温泉の活用方法および保全活動について現状を把握し、説明できる。	○	○	○
おもてなし演習	① ニーズに沿ったサービスの提供など、コンシェルジュの基本を学ぶ。 ② 温泉の知識を活用し、商品化する方法を考え企画することができる。 ③ おもてなしの心を持って接客サービスしようとすることができる。 ④ 多様な価値観を受容し、信頼関係を築き、親和的に接しようとする努力する。	○	○	○

食物栄養学科【保育健康コース】 教育課程

【平成29年4月入学生】

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		栄養士	栄養教諭	保育栄養アドバイザー	介護職員初任者研修 社会福祉主事任用資格 保育栄養アドバイザー	健康アドバイザー	備 考		
				必	選	前期	後期							前期	後期
基礎科目	人間関係概論	2	1	2	●	○				★	☆		基礎科目については 8単位以上取得すること		
	文化基本概論	2	1	○					★	☆	☆				
	情報処理概論	2	2	○					★	☆	☆				
	大分県史	1	1												
	大分県史	2	2		(○)	(○)									
	キャリア教育	1	1		●	●	●			★	☆				
	インターンシップ	1	1	●	●	●	●								
	社会貢献実習Ⅰ	1	1	●	●	●	●								
	社会貢献実習Ⅱ	1	1	●	●	●	●								
	社会貢献実習Ⅲ	1	1	●	●	●	●								
外国語	英語Ⅰ	1	1	○					★	★	★		英語・中国語いずれかを 2単位以上取得すること		
	英語Ⅱ	1	1	○					★	★	★				
	英語Ⅲ	1	1	○					★	★	★				
	英語Ⅳ	1	1	○					★	★	★				
体育	運動生理学	1	1	●	○				★	★	★		体育科目から 2単位以上取得すること		
	運動生理学	1	1	●	○				★	★	★				
	運動生理学	1	1	○					★	★	★				
	運動生理学	1	1	○					★	★	★				
選択科目	府の歴史と発展	2	2	○									高 中 中		
	府の歴史と発展	2	2	○											
	府の歴史と発展	2	2	○											
	府の歴史と発展	2	2	○											

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		栄養士	栄養教諭	保育栄養アドバイザー	社会福祉主事任用資格	介護職員初任者研修	健康アドバイザー	備 考		
			必	選	前期	後期								前期	後期
専門教育科目	社会生活と健康	公 社 会	2					★		◇	☆	★			
	人体の構造と機能 食品と衛生 栄養と健康	生 活 科 学	2	2	○			★	★	◇	☆	★			
		生 活 科 学	2	2	○			★	★			★			
		生 活 科 学	2	2			○	★	★			★			
		生 活 科 学	2	1			○	★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		●	○	★	★		◇	★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
生 活 科 学	2	1		○		★	★		◇	★					
専門教育科目	食品と衛生	公 社 会	2					★		◇	☆	★			
	人体の構造と機能 食品と衛生 栄養と健康	生 活 科 学	2	2	○			★	★	◇	☆	★			
		生 活 科 学	2	2	○			★	★			★			
		生 活 科 学	2	2			○	★	★			★			
		生 活 科 学	2	1			○	★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		●	○	★	★		◇	★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
		生 活 科 学	2	1		○		★	★			★			
生 活 科 学	2	1		○		★	★		◇	★					

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		栄 養 士	栄 養 教 諭	保 育 栄 養 ア ド バ イ サ ー	社 会 福 祉 主 事 任 用 資 格	介 護 職 員 初 任 者 研 修	健 康 ア ド バ イ サ ー	備 考	
			必 須	前 期	後 期	前 期								後 期
栄 養 の 指 導	栄 養 栄 養 公 結 給 給 調													

○印は90分授業 1コマ15週 ○印は90分授業 2コマ15週
●印は90分授業 1コマ8週 ★印は資格の必修科目 ☆印は資格の推薦科目
※専門教育科目から60単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。
社会貢献実習Ⅰ・Ⅱは2時間×8回以上の貢献をもって演習1単位とする。
キャリア教育は2年間を通じて8回以上受講すること。
栄養教諭を取得するには、栄養士免許の取得が必須である。
保育栄養アドバイザーを取得するには、栄養士免許の取得が必須である。
社会福祉主事任用資格を取得するには、◇印の科目を3つ以上受講すること。
温泉医療指導→必須条件：前期開講「温泉学」を履修
都合により、開講時期等が変更になることがある。

食物栄養学科〔保育健康コース〕カリキュラムマップ

[平成29年 4月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
人間関係論	① 生を慈しみ、相互の人格と尊厳を尊ぶ社会性の基礎にある人間関係について学び理解する。 ② 社会と個人或いは自己（わたし）と他者（あなた）との間で織りなす関係づくりの多様な法則を理解する。 ③ 複雑な人間関係において生じる問題への対応の仕方について理解し、その改善のための技術を身につける。	○		○
人権教育概論	① 基本的人権について理解し、尊重する資質能力が磨かれる。 ② いじめや差別のない社会の創造への意欲が喚起される。 ③ 思いやりの心が磨かれ、教職への希望が膨らむ。 ④ 豊かな人間性と人権問題解決の実践力が身につく。	○	○	
日本語表現	① 日本語の表現に目を向け、ビジネスの現場で活躍するために必要な実践的国語表現力を身につける。 ② 就職活動や各種検定試験にも対応できる有用な国語表現力を身につける。	○	○	○
化学	① 化学の基礎的知識の習得と物質の理解、そして簡単な化学計算について学び、専門科目への橋渡しを目的とする。	○		
情報処理論	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容から派生的な課題を自ら見つけ、文章として論述することができる。	○	○	
日本国憲法	① 憲法条文と日常生活との関連に注意を払い、進取の気風が身につく。 ② 条文の理解とともに判例についても関心を抱き、理解力が高まる。 ③ 主権者としての自覚と法令遵守の精神及び実践力が身につく。 ④ 不易流行を肝に銘じて自己改革を図り、社会貢献に資する人材になる。		○	
キャリア教育	① 企業の経営者や地域事業を行う代表者たちと対話することができる。 ② 就職や社会生活を通じた自己実現（キャリア形成）について語るすることができる。 ③ 自らの進路を説明できる。	○	○	○
インターンシップ	① 職業観、就労意識の醸成をめざし、将来のキャリアを考える機会を作る事ができる。 ② 社会や企業に対する理解度の向上をはかり、人間的成長を目標とする。 ③ 自分自身の適正、持ち味の確認を行なうことができる。		○	○
社会貢献演習Ⅰ	① 地域社会の課題を説明できる。 ② 地域の課題の解決方法について考えることができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域社会の課題を説明できる。 ② 地域の課題の解決方法について考えることができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ② 自身の進路分野で活用できる英語力を身につけることができる。 ③ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
英語Ⅱ	① 英語で意見を述べ、コミュニケーションをとることができる。 ② 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ③ 自身の進路分野で活用できる英語力を身につけることができる。 ④ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる。 ② 自己紹介や生活によく使われる会話がわかる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
生涯スポーツ	① 健康・運動・スポーツの実践の基盤となる理論的な事柄について理解できる。 ② 健康・体力・運動について正しい知識を身につけることができる。 ③ 様々な生活習慣病について学び、運動・栄養・休養との関係を理解できる。	○	○	
体育実技	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
観光学入門	① 別府地域について、別府八湯の視点から各地域の特色を説明できる。 ② 顧客が別府を訪れる際に必要な基礎的情報を説明できる。	○	○	○
別府の歴史と発展	① 別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ② 別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③ 取得した情報を基に、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④ 情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現（説明）できる。	○		
まちづくりと景観	① 紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ② 地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③ 顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④ 別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。	○		
温泉学	① 温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ② 別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③ 温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
温泉コンシェルジュの基礎	①（別府）温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、顧客の求めるプログラムを作成しようとする。 ③ 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心ができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	
公衆衛生学	① 予防医学の概念について説明できる。 ② 疾病と死因の年次推移について説明できる。 ③ 健康と環境との関係を説明できる。	○	○	○
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、理解できる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みを理解できる。 ③ 児童、高齢者、障害者、地域福祉等の福祉体系を理解できる。 ④ 今日的な福祉課題に対する問題点を理解することができる。	○		○
解剖学	① 解剖学の見地から、生命活動の不思議と人体の絶妙なしくみを理解する。 ② この学習を通して栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。	○		
生理学	① 生理学の見地から、生命活動の不思議と人体の絶妙なしくみを理解する。 ② この学習を通して栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。	○		
生化学	① 食物が体の中でどのように変化し役割を果たすかを、化学的に説明できる。 ② 私たちの体の仕組みについて知ることができる。 ③ 栄養素などの働きについて理解できる。	○	○	
生化学実験	① 生化学等の講義で学んだ知識を実験によって理解できる。 ② みずから手を動かして体験し、体の働きをより深く理解する。 ③ 実験で修得した専門知識を活かし栄養士としての栄養教育ができる。	○	○	○
運動生理学	① 筋収縮の発現など運動の特性について理解できる。 ② 運動時の呼吸・循環系及び体温調節の働きについて理解する。 ③ 食事と運動の両面から生活指導のできる栄養士をめざす。	○	○	
基礎医学	① 「医療秘書実務士」「栄養士」取得に必要な医学的知識が理解できる。 ② おもに糖尿病、高血圧症等内科の疾患についての理解を深める。	○		○
食品学総論	① 健康を支える食品の成分、特徴、物性等について科学的な知識を理解する。 ② 食品学で学んだ知識を、日々の食生活に活用することができる。	○	○	
食品学各論	① 食品材料の一般成分・食品分類・食品形態・食品の原産地など食品の特徴について理解する。 ② 食文化や食品の健康に及ぼす影響について理解を深めることができる。 ③ さらに、健康を維持し、安全な食品を得るための正しい食品選択ができる。	○	○	
食品学実験Ⅰ	① 実験、実習に関する用語や数値及び薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
食品学実験Ⅱ	① 実験、実習を通して薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○
食品衛生学	① 食中毒の種類とその原因及び対策を説明できる。 ② 食品添加物の安全性とその考え方を説明できる。 ③ 食品表示について説明できる。	○	○	○
食品衛生学実験	① 身近な食品・食材中の細菌の検査方法を実施できる。 ② 実験で得られたデータを説明できる。 ③ HACCPについて説明できる。	○	○	
栄養学総論	① 各栄養素の種類及び体内でのはたらきを説明できる。 ② 消化と吸収について理解できる。 ③ エネルギー代謝について理解できる。	○	○	
栄養学各論	① 「健康日本21」でめざしていることを説明できる。 ② “健康寿命”の延伸について説明できる。 ③ ライフステージごとに人の生体変化とそれに対応する栄養について説明できる。	○	○	○
栄養学実習	① 人生のライフステージごとの健康を維持・増進できる食のあり方を理解する。 ② 実習をとおして、具体的に食事の質と量を実感することにより理解を深める。	○	○	○
臨床栄養学	① 解剖学、生理学、栄養学を基礎とし、正常な体の機能を理解できる。 ② 各疾患の病態生理や食との関連について概要を理解できる。 ③ 各疾病、症状に応じた食事療法を理解できる。 ④ 疾患予防と健康増進のための食事、生活習慣を説明できる。	○		
臨床栄養学実習	① 個人の検査値、食事摂取状況等から栄養状態の把握方法を理解できる。 ② 臨床栄養学の知識を基に病態別の栄養管理について理解を深める。 ③ 糖尿病交換表を使用し、献立の作成ができる。 ④ 適切な調理方法や食品の選択、常食から治療食の献立展開ができる。	○	○	○
運動栄養学	① 健康のための運動と効率的な栄養摂取を理解することができる。 ② 健康増進のための知識を修得することができる。	○	○	
栄養指導論Ⅰ	① 栄養教育の意義や目的について理解できる。 ② 栄養教育の歴史や法規を理解し、栄養士の役割を説明できる。 ③ 栄養マネジメント計画を作成することができる。	○	○	
栄養指導論Ⅱ	① ライフステージごとの対象者の特徴を理解できる。 ② ライフステージごとの栄養教育について理解できる。 ③ 対象に応じた栄養教育プログラムをマネジメントできる。	○	○	
栄養指導実習Ⅰ	① 生涯にわたって健康を維持増進するための栄養教育を計画することができる。 ② 子どもの発育・発達に応じた目標を設定し、指導案を作成することができる。 ③ 効果的な媒体を作成し、栄養教育に活用することができる。 ④ 栄養教育を実践し、教育効果を評価し、フィードバックを行うことができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
栄養指導実習Ⅱ	① 対象者の状態に応じた目標を設定し、指導案を作成することができる。 ② 科学的根拠に基づいた情報を収集し、対象者に正しく伝えることができる。 ③ 効果的な媒体を作成し、栄養教育に活用することができる。 ④ 栄養教育を実施し、教育効果を評価し、フィードバックを行うことができる。	○	○	○
公衆栄養学	① 個人または集団の健康を維持・増進するために必要な健康・栄養活動を知る。 ② 健康・栄養活動を企画・実施・評価する方法を理解する。 ③ 健康・栄養問題の歴史的経緯、現在の問題点について理解を深めることができる。	○	○	
給食計画論	① 特定給食施設について関係法規を含め理解できる。 ② 栄養管理、食事管理、食材料管理、給食作業管理を理解できる。 ③ 食品衛生や労働管理を含めた安全管理を理解できる。 ④ 設置基準等、関係法規を含めた施設・設備管理を理解できる。	○		○
給食実務論	① 給食を運営する団体の組織体系について理解できる。 ② 給食経営に関わる費用について理解する。 ③ 各特定給食施設給食について各特色と関係法規を理解する。	○		○
給食管理実習ⅠA	① 給食栄養目標量を設定することができる。 ② 食品構成の役割とその作成方法を理解できる。 ③ 栄養量を意識した1日分の献立作成ができる。 ④ 作業工程の考え方、発注法を理解する。	○	○	○
給食管理実習ⅠB	① 給食管理の集大成としてPDCAに則った給食を実践できる。 ② 献立作成、発注、調理及び調理指示を適切に行うことができる。 ③ 喫食者の嗜好や満足度に対して意識を向けることができる。 ④ 互いの個性や力量を見極め、協働することができる。	○	○	○
給食管理実習Ⅱ	① 特定給食施設において、現場の栄養士・管理栄養士から実地訓練を受ける。 ② 栄養士としての具備すべき知識及び技能全般を体得する。		○	○
調理学	① 食品素材を衛生的にかつ安全に、おいしく栄養的に価値のある料理に仕上げるることができる。 ② おいしく安全な料理を作るために必要な「調理科学」を体系的に学び、修得する。 ③ 「調理のこつ」と言われる調理操作も科学的根拠に基づいていることを理解する。	○	○	
調理学実習Ⅰ	① より適切な調理をするために、十分な基礎知識を把握し、調理法の実践を修得する。 ② 望ましい食事の為に役立つ基礎知識や食生活全般にわたっての総合的な判断力・実践力を修得する。 ③ 食中毒や安全性を考慮した食品の扱いができる。	○	○	○
調理学実習Ⅱ	① 調理学実習Ⅰで身につけた調理の基礎をもとに、日常食の調理を身につける。 ② 栄養士資格を取得するものの見地から、食生活をより楽しく、健康的に営む為の基本を学習する。 ③ 日常食の調理を身につけた上で応用料理へ発展させる能力を修得する。	○	○	○
調理学実習Ⅲ	① 調理学実習Ⅰ、Ⅱで身につけた基礎を基に、大量調理を行うにあたっての技術の習得をする。 ② 同時に適切な献立作成ができるようにする。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
学校栄養教育論	① 栄養教育の役割および職務内容を理解できる。 ② 「食に関する指導」と「給食の管理」の基礎知識を身につける。 ③ 学校給食を教材とした「食に関する指導」の実施をめざす。	○	○	
教職概論	① 教職の意義や職務内容、特に栄養教諭の役割について体系的に理解する。 ② 教員として必要とされる基礎的な資質・能力が身につく。 ③ 豊かな人間性が養われ、教職への希望・期待感が強くなる。 ④ 自己実現への意欲と持続的実践力が身につく。	○	○	○
教育原理	① 教育本質論・教育目的論・教師論について理解できる。 ② 教育理念の認識及び教育経営の再構築を図り、教育現場における基礎的・実践的態度を形成する。	○	○	○
教育心理学	① こどもの発達や学習過程、学習の方法を理解する。 ② 教育評価、学級集団、障がい児教育の各側面を理解する。 ③ 教師・保育者を中心に学習や学級に与える影響を理解する。 ④ 保育・教育活動を自己点検し、関わりを考案し続ける態度を学ぶ。	○		○
教育課程論	① 学校教育計画である教育課程の意義や編成のあり方について理解できる。 ② 道徳教育及び特別活動等の役割や関連を理解し、その指導方法を培う基礎的・実践的態度を形成する。	○	○	○
教育方法論	① 授業の効率化の促進、教材作成、校務活動などにICTの活用ができるようになる。 ② 様々な情報を統合し、教育現場で活用するための知識・方法・技術を習得する。	○		○
生徒指導論	① 生徒指導の基礎理論や方法に関する知識を理解する。 ② 知識を利用し、生徒指導の実践力を身につける。	○	○	
教育相談論	① 教育相談の基礎理論及び方法に関する知識を理解できる。 ② 学んだ知識を利用し、カウンセリングマインドを身につける。	○	○	
教職実践演習 (栄養教諭)	履修カルテを基に以下の事項について、自らの課題と目標を明確にする。 ① 教職の意義や使命、責任等々を理解し、恒常的自己改革の覚悟を決める。 ② 教員に求められる基本的資質能力（不易流行）を確実に身に付ける。 ③ こどもの発達の過程及び学習の定着状況を把握する方法を理解する。 ④ 栄養の専門知識を十分にもち、確かな指導技術を身に付ける。	○	○	○
事前事後指導	① 事前指導では、教育実習生としての資質、教養、専門的な知識・技能を身につける。 ② 事後指導では、教育実習の事後報告と情報交換を行い、栄養教諭としての理解を深める。	○	○	○
栄養教育実習	栄養教育実習では、次の3点を到達目標とする。 ① 栄養教諭の職務内容について理解を深めることができる。 ② 児童生徒に対する指導の実践を学び、体験することができる。 ③ 責任のある教育活動を営む実践力を身につけることができる。	○	○	○
保育原理	① 「保育」における基礎的知識について理解する ② 「保護者支援」の基礎的知識について理解する ③ 保育における食育を通じた乳幼児の「健康」についての課題を分析し、考察することができる	○	○	
障害児保育 ／家族援助論	① こどもの心身の発達や学習の過程を理解する。 ② 生涯発達の視座を理解し、発達を促す基礎的関わりを学ぶ。 ③ 障害をもつこどものつまずきを理解する。 ④ 観察と実践に基づいた保育・教育活動を理解する。	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
小児保健／乳児保育	① 子どもの発育と心身の健康、疾患などの基礎知識を理解する ② 子どもを取り巻く環境及び生活習慣について理解する	○		
小児栄養 ／保育栄養指導法	① 幼児期の発達段階に応じた栄養のはたす役割を理解できる。 ② 現代の子どもたちにおける食生活の問題点を学び、食育のあり方について理解を深める。 ③ 特に、保育園や幼稚園で課題となる食物アレルギーに関する理解を深める。	○	○	○
介護概論	① 介護職の仕事内容や働く現場が理解できる。 ② 人権と尊厳を支える支援や自立に向けた介護が理解できる。 ③ 介護職の役割や専門性と他職種との連携が理解できる。 ④ 食事に関連した自立に向けた介護が理解できる。	○	○	○
介護の理解	① 介護におけるコミュニケーションが理解できる。 ② 老化に伴うこころとからだの変化と高齢者の健康が理解できる。 ③ 認知症を取り巻く状況や家族への支援が理解できる。 ④ 介護過程の基礎的内容が理解できる。	○	○	○
介護技術Ⅰ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護技術Ⅱ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護実習	① 積極的に周囲に働きかけ、自ら気づきを得ることができる。 ② 気づきを自分なりに整理・考察し、報告することができる。 ③ 社会人としてふさわしい行動を取ることができる。	○	○	○
介護保険	① 介護保険制度創設の制度の目的と動向について理解できる。 ② 介護保険制度の基本な仕組みを知り、制度の概要を理解できる。 ③ 介護保険制度の組織と役割を知り、制度の財政を理解できる。	○		○
卒業研究	① 食物栄養学科における学習活動の集大成とする。 ② 「食」に関する課題について多面的・多角的に調査し考察する。 ③ 研究結果をまとめ、表現する力を習得する。 ④ 地域における「食」についての課題解決能力を高める。	○	○	○
プレゼンテーション	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○
情報処理演習	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
実践給食管理実習	① 栄養士として基礎から応用まで、具体的に演習及び実習を行い、理解することができる。 ② 献立立案、献立入力、食材の選別、調味料・材料計算、作業計画などの給食管理について理解することができる。	○	○	○
給食管理実習Ⅲ	① 給食管理実習Ⅱに引き続き、さらに現場の栄養士の体験を積む。 ② 特定給食施設において、現場の栄養士・管理栄養士から実地訓練を受ける。 ③ 給食管理の実態と合わせて、栄養士として具備すべき知識及び技術を体得する。		○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
調理実習Ⅳ	① 調理実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの基礎をさらに発展させ、応用できるようにする。 ② 食文化や行事食について調理実習を通して理解を深める。	○	○	○
健康運動指導論	① 運動指導者に必要な有酸素運動の指導法を学ぶことができる。 ② 運動を指導する者として必要な知識を身に付けることができる。 ③ 各種測定法を知り健康運動の為の指導力を身に付けることができる。	○	○	○
アクアエクササイズ	① 水の特性と身体に与える影響について理解できる。 ② 泳ぎの技術と指導法を学び安全に配慮できるような技術を習得できる。 ③ 水中運動の種類、指導の要点を学び、実践できる能力を身に付ける。	○	○	○
健康マネジメント論	① 国が健康づくりをすすめる背景を知ることができる。 ② 健康づくりにおける運動の必要性について説明することができる。	○	○	
温泉医療栄養指導	① 健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ② 安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。	○	○	○
温泉健康トレーニング	① 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ② 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③ 温泉を活用した健康トレーニングや癒し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④ 習得した知識をもとにして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。	○	○	○
医療と薬剤	① 医療従事者及び食物栄養の専門家として、薬の特性本質や基本的な知識を広く理解することができる。 ② 薬の適正使用を理解することにより、人々の健康を維持増進ことに適切に指導できる能力が身につく。 ③ 都道府県が実施する登録販売者試験の合格をめざす。	○	○	○
高齢者心理学	① 高齢者に対する知識（症状論）や援助理論と方法を身につける。 ② 高齢者に対応する際のコミュニケーション技術を習得する。	○		

食物栄養学科〔医事健康コース〕 教育課程

〔平成29年4月入学生〕

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		栄養士	医療秘書実務士	社会福祉主事任用資格	介護職員初任者研修	健康アドバイザー	介護保険実務士	備 考		
				必	選	前期	後期								前期	後期
基礎科目	人間関係論	講義	2	1	2	○					☆			基礎科目については 8単位以上取得すること		
	文化基本	講義	2	1	○						☆					
	情報処理	講義	2	2	○				★	★						
	大分県立大学	講義	2	2	○				☆							
	キャリア教育	講義	1	1												
	社会貢献	講義	1	1	●	●	●	●								
	社会貢献	講義	1	1	●	●	●	●								
	社会貢献	講義	1	1	●	●	●	●								
	社会貢献	講義	1	1	●	●	●	●								
	社会貢献	講義	1	1	●	●	●	●								
外国語	英語	講義	1	○					★	★	★	★		英語・中国語いずれかを 2単位以上取得すること		
	英語	講義	1	○					★	★	★	★				
	英語	講義	1	○					★	★	★	★				
	英語	講義	1	○					★	★	★	★				
体育	運動	講義	1	○					★	★	★	★				
	運動	講義	1	○					★	★	★	★				
健康	健康	講義	2	○										集中 集中		
	健康	講義	2	○												
	健康	講義	2	○												
	健康	講義	2	○												

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		栄養士	医療秘書実務士	社会福祉主事任用資格	介護職員初任者研修	健康アドバイザー	介護保険実務士	備 考	
			必 選	前期	後期	前期								後期
専門教育科目	社会生活と健康	福祉学	2					★	★	◇	★	★		
	人体の構造と機能	社会福祉学	2		○			★	★	★	◇	★	★	
		保健衛生学	2		○			★	★	★			★	
		生活化学	2				○	★	★	★			★	
		栄養学	1				○	★	★	★			★	
		福祉学	2				○	★	★	★			★	
	食品と衛生	福祉学	2		●			★	★	★	◇	★	★	
		保健衛生学	1		○			★	★	★			★	
		実習	2				○	★	★	★			★	
		実習	1		○			★	★	★			★	
実習		1		○		○	★	★	★			★	食品加工実習を含む 食品加工実習を含む 食品加工実習を含む	
栄養と健康	福祉学	2		○			★	★	★			★		
	保健衛生学	2				○	★	★	★	◇		★		
	実習	2				○	★	★	★			★		
	実習	1		○			★	★	★			★		
	実習	1				○	★	★	★			★		

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		栄養士	医療秘書実務士	社会福祉主事任用資格	介護職員初任者研修	健康アドバイザー	介護保険実務士	備 考		
			必 選	選 修	前期	後期								前期	後期
栄養の指導	栄養学	2	○				★	★	★	★	★	★			
	栄養学実習	2	○				★	★	★	★	★	★			
	栄養学実習Ⅱ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	栄養学実習Ⅲ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	栄養学実習Ⅳ	2		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅰ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅱ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅲ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅳ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅴ	1		○			★	★	★	★	★	★			
給食の運営	給食衛生管理実習Ⅰ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅱ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅲ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅳ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅴ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅵ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅶ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅷ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅸ	1		○			★	★	★	★	★	★			
	給食衛生管理実習Ⅹ	1		○			★	★	★	★	★	★			
医療と介護	医療と介護	2					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅰ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅱ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅲ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅳ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅴ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅵ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅶ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅷ	1					★	★	★	★	★	★			
	医療と介護実習Ⅸ	1					★	★	★	★	★	★			
その他	その他	2					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅰ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅱ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅲ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅳ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅴ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅵ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅶ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅷ	1					★	★	★	★	★	★			
	その他実習Ⅸ	1					★	★	★	★	★	★			

○印は90分授業 1コマ15週 ○○印は90分授業 2コマ15週
●印は90分授業 1コマ8週 ★印は資格の必修科目 ☆印は資格の推奨科目
※専門教育科目から60単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。
社会貢献実習Ⅰ・Ⅱは2時間×8回以上の貢献をもって実習1単位とする。
キャリア教育は、2年間を通じて8回以上受講すること。
社会福祉主事任用資格を取得するには、◇印の科目を3つ以上受講すること。
手話入門課程取得条件①手話Ⅰ（1単位）の取得②手話Ⅱ（1単位）の取得。
温泉医療実習指導→必須条件：前期開講「温泉学」を履修
都合により、開講時期等が変更になることがある。

食物栄養学科【医事健康コース】カリキュラムマップ

[平成29年4月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
人間関係論	① 生を慈しみ、相互の人格と尊厳を尊ぶ社会性の基礎にある人間関係について学び理解する。 ② 社会と個人或いは自己（わたし）と他者（あなた）との間で織りなす関係づくりの多様な法則を理解する。 ③ 複雑な人間関係において生じる問題への対応の仕方について理解し、その改善のための技術を身につける。	○		○
人権教育概論	① 基本的人権について理解し、尊重する資質能力が磨かれる。 ② いじめや差別のない社会の創造への意欲が喚起される。 ③ 思いやりの心が磨かれ、教職への希望が膨らむ。 ④ 豊かな人間性と人権問題解決の実践力が身につく。	○	○	
日本語表現	① 日本語の表現に目を向け、ビジネスの現場で活躍するために必要な実践的国語表現力を身につける。 ② 就職活動や各種検定試験にも対応できる有用な国語表現力を身につける。	○	○	○
化学	① 化学の基礎的知識の習得と物質の理解、そして簡単な化学計算について学び、専門科目への橋渡しを目的とする。	○		
情報処理論	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容から派生的な課題を自ら見つけ、文章として論述することができる。	○	○	
日本国憲法	① 憲法条文と日常生活との関連に注意を払い、進取の気風が身につく。 ② 条文の理解とともに判例についても関心を抱き、理解力が高まる。 ③ 主権者としての自覚と法令遵守の精神及び実践力が身につく。 ④ 不易流行を肝に銘じて自己改革を図り、社会貢献に資する人材になる。		○	
キャリア教育	① 企業の経営者や地域事業を行う代表者たち対話することができる。 ② 就職や社会生活を通じた自己実現（キャリア形成）について語ることができる。 ③ 自らの進路を説明できる。	○	○	○
インターンシップ	① 職業観、就労意識の醸成をめざし、将来のキャリアを考える機会を作る事ができる。 ② 社会や企業に対する理解度の向上をはかり、人間的成長を目標とする。 ③ 自分自身の適正、持ち味の確認を行なうことができる。		○	○
社会貢献演習Ⅰ	① 地域社会の課題を説明できる。 ② 地域の課題の解決方法について考えることができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域社会の課題を説明できる。 ② 地域の課題の解決方法について考えることができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ② 自身の進路分野で活用できる英語力を身につけることができる。 ③ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
英語Ⅱ	① 英語で意見を述べ、コミュニケーションをとることができる。 ② 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ③ 自身の進路分野で活用できる英語力を身につけることができる。 ④ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる。 ② 自己紹介や生活によく使われる会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	○
観光学入門	① 別府地域について、別府八湯の視点から各地域の特色を説明できる。 ② 顧客が別府を訪れる際に必要な基礎的情報を説明できる。	○	○	○
別府の歴史と発展	① 別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ② 別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③ 取得した情報を基に、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④ 情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現（説明）できる。	○		
まちづくりと景観	① 紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ② 地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③ 顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④ 別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。	○		
温泉学	① 温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ② 別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③ 温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュを目指す。	○	○	○
温泉コンシェルジュの基礎	① （別府）温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、顧客の求めるプログラムを作成しようとする。 ③ 他人の話をよく傾け、適切な対応をしようとする心がかかることできる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	
生化学	① 食物が体の中でどのように変化し役割を果たすかを、化学的に説明できる。 ② 私たちの体の仕組みについて知ることができる。 ③ 栄養素などの働きについて理解できる。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
生化学実験	① 生化学等の講義で学んだ知識を実験によって理解できる。 ② みずから手を動かして体験し、体の働きをより深く理解する。 ③ 実験で修得した専門知識を活かし栄養士としての栄養教育ができる。	○	○	○
運動生理学	① 筋収縮の発現など運動の特性について理解できる。 ② 運動時の呼吸・循環器系及び体温調節の働きについて理解する。 ③ 食事と運動の両面から生活指導のできる栄養士をめざす。	○	○	
基礎医学	① 「医療秘書実務士」「栄養士」取得に必要な医学的知識が理解できる。 ② おもに糖尿病、高血圧症等内科的疾患についての理解を深める。	○		○
食品学総論	① 健康を支える食品の成分、特徴、物性等について科学的な知識を理解する。 ② 食品学で学んだ知識を、日々の食生活に活用することができる。	○	○	
食品学各論	① 食品材料の一般成分・食品分類・食品形態・食品の原産地など食品の特徴について理解する。 ② 食文化や食品の健康に及ぼす影響について理解を深めることができる。 ③ さらに、健康を維持し、安全な食品を得る為の正しい食品選択ができる。	○	○	
食品学実験Ⅰ	① 実験、実習に関する用語や数値及び薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○
食品学実験Ⅱ	① 実験、実習を通して薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○
食品衛生学	① 食中毒の種類とその原因及び対策を説明できる。 ② 食品添加物の安全性とその考え方を説明できる。 ③ 食品表示について説明できる。	○	○	○
食品衛生学実験	① 身近な食品・食材中の細菌の検査方法を実施できる。 ② 実験で得られたデータを説明できる。 ③ HACCPについて説明できる。	○	○	
栄養学総論	① 各栄養素の種類及び体内でのはたらきを説明できる。 ② 消化と吸収について理解できる。 ③ エネルギー代謝について理解できる。	○	○	
栄養学各論	① 「健康日本21」でめざしていることを説明できる。 ② “健康寿命”の延伸について説明できる。 ③ ライフステージごとに人の身体変化とそれに対応する栄養について説明できる。	○	○	○
栄養学実習	① 人生のライフステージごとの健康を維持・増進できる食のあり方を理解する。 ② 実習をとおして、具体的に食事の質と量を実感することにより理解を深める。	○	○	○
臨床栄養学	① 解剖学、生理学、栄養学を基礎とし、正常な体の機能を理解できる。 ② 各疾患の病態生理や食との関連について概要を理解できる。 ③ 各疾病、症状に応じた食事療法を理解できる。 ④ 疾患予防と健康増進のための食事、生活習慣を説明できる。	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
臨床栄養学実習	① 個人の検査値、食事摂取状況等から栄養状態の把握方法を理解できる。 ② 臨床栄養学の知識をもとに病態別の栄養管理について理解を深める。 ③ 糖尿病交換表を使用し、献立の作成ができる。 ④ 適切な調理方法や食品の選択、常食から治療食の献立展開ができる。	○	○	○
運動栄養学	① 健康のための運動と効率的な栄養摂取を理解することができる。 ② 健康増進の為の知識を修得することができる。	○	○	
栄養指導論Ⅰ	① 栄養教育の意義や目的について理解できる。 ② 栄養教育の歴史や法規を理解し、栄養士の役割を説明できる。 ③ 栄養マネジメント計画を作成することができる。	○	○	
栄養指導論Ⅱ	① ライフステージごとの対象者の特徴を理解できる。 ② ライフステージごとの栄養教育について理解できる。 ③ 対象に応じた栄養教育プログラムをマネジメントできる。	○	○	
栄養指導実習Ⅰ	① 生涯にわたって健康を維持増進するための栄養教育を計画することができる。 ② 子どもの発育・発達に応じた目標を設定し、指導案を作成することができる。 ③ 効果的な媒体を作成し、栄養教育に活用することができる。 ④ 栄養教育を実践し、教育効果を評価し、フィードバックを行うことができる。	○	○	○
栄養指導実習Ⅱ	① 対象者の状態に応じた目標を設定し、指導案を作成することができる。 ② 科学的根拠に基づいた情報を収集し、対象者に正しく伝えることができる。 ③ 効果的な媒体を作成し、栄養教育に活用することができる。 ④ 栄養教育を実践し、教育効果を評価し、フィードバックを行うことができる。	○	○	○
公衆栄養学	① 個人または集団の健康を維持・増進するために必要な健康・栄養活動を知る。 ② 健康・栄養活動を企画・実施・評価する方法を理解する。 ③ 健康・栄養問題の歴史的経緯、現在の問題点について理解を深めることができる。	○	○	
給食計画論	① 特定給食施設について関係法規を含め理解できる。 ② 栄養管理、食事管理、食材料管理、給食作業管理を理解できる。 ③ 食品衛生や労務管理を含めた安全管理を理解できる。 ④ 設置基準等、関係法規を含めた施設、設備管理を理解できる。	○		○
給食実務論	① 給食を運営する団体の組織体系について理解できる。 ② 給食経営に関わる費用について理解する。 ③ 各特定給食施設給食について各特色と関係法規を理解する。	○		○
給食管理実習ⅠA	① 給食栄養目標量を設定することができる。 ② 食品構成の役割とその作成方法を理解できる。 ③ 栄養量を意識した1日分の献立作成ができる。 ④ 作業工程の考え方、発注法を理解する。	○	○	○
給食管理実習ⅠB	① 給食管理の集大成としてPDCAに則った給食を実践できる。 ② 献立作成、発注、調理及び調理指示を適切に行うことができる。 ③ 喫食者の嗜好や満足度に対して意識を向けることができる。 ④ 互いの個性や力量を見極め、協働することができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
給食管理実習Ⅱ	① 特定給食施設において、現場の栄養士・管理栄養士から実地訓練を受ける。 ② 栄養士としての具備すべき知識及び技能全般を体得する。		○	○
調理学	① 食品素材を衛生的にかつ安全に、おいしく栄養的に価値のある料理に仕上げるができる。 ② おいしく安全な料理を作るために必要な「調理科学」を体系的に学び、修得する。 ③ 「調理のこつ」と言われる調理操作も科学的根拠に基づいていることを理解する。	○	○	
調理学実習Ⅰ	① より適切な調理をするために、十分な基礎知識を把握し、調理法の実践を修得する。 ② 望ましい食事の為に役立つ基礎知識や食生活全般にわたっての総合的な判断力・実践力を修得する。 ③ 食中毒や安全性を考慮した食品の扱いができる。	○	○	○
調理学実習Ⅱ	① 調理学実習Ⅰで身につけた調理の基礎をもとに、日常食の調理を身につける。 ② 栄養士資格を取得するものの見地から、食生活をより楽しく、健康的に営む為の基本を学習する。 ③ 日常食の調理を身につけた上で応用料理へ発展させる能力を修得する。	○	○	○
調理学実習Ⅲ	① 調理学実習Ⅰ、Ⅱで身に付けた基礎を基に、大量調理を行うにあたっての技術の習得をする。 ② 同時に適切な献立作成ができるようにする。	○	○	○
医療秘書実務	① 医療秘書の役割が理解できる。 ② 秘書実務が遂行できる。 ③ チーム医療の意義が理解でき、中心的役割を果たす実務ができる。	○	○	○
医療事務総論	① 医療の基本的な事柄が理解できる。 ② 医療事務全般にわたる基礎知識の理解を深める。 ③ 実際の現場における医療事務員としての能力を培う。	○		○
医療事務演習Ⅰ	① 医療機関における医療保険制度の仕組みを説明できる。 ② 基本診療科（初再診・医学管理・在宅・投薬・注射）を処理できる。 ③ ②の内容を診療報酬明細書（レセプト）に転記することができる。	○	○	○
医療事務演習Ⅱ	① 基本的な診療科（処置・手術・麻酔・輸血・検査）を処理できる。 ② ①の内容を診療報酬明細書（レセプト）に転記することができる。	○	○	○
医療事務演習Ⅲ	① 基本的な診療科（画像診断・リハビリ・精神科・放射線）を処理できる。 ② ①の内容を診療報酬明細書（レセプト）に転記することができる。 ③ 外来カルテの診療内容を会計カードで作成できる。	○	○	○
医療事務演習Ⅳ	① 外来カルテの会計カードを作成・外来用レセプトに転記できる。 ② 入院カルテの会計カードを作成・入院用レセプトに転記できる。	○	○	○
薬と検査	① 生体に何らかの変化を起こす化学物質は、全て薬物であることが理解できる。 ② 薬は使い方を誤れば病状を悪化させ、時には命を奪うこともあることを理解する。 ③ 正しい薬との付き合い方・飲み方について基本的な知識が理解できる。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
医療と薬剤	① 医療従事者及び食物栄養の専門家として、薬の特性本質や基本的な知識を広く理解することができる。 ② 薬の適正使用を理解することにより、人々の健康を維持増進ことに適切に指導できる能力が身につく。 ③ 都道府県が実施する登録販売者試験の合格をめざす。	○	○	○
介護概論	① 介護職の仕事内容や働く現場が理解できる。 ② 人権と尊厳を支える支援や自立に向けた介護が理解できる。 ③ 介護職の役割や専門性と他職種との連携が理解できる。 ④ 食事に関連した自立に向けた介護が理解できる。	○	○	○
介護の理解	① 介護におけるコミュニケーションが理解できる。 ② 老化に伴うことからの変化と高齢者の健康が理解できる。 ③ 認知症を取り巻く状況や家族への支援が理解できる。 ④ 介護過程の基礎的内容が理解できる。	○	○	○
介護技術Ⅰ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護技術Ⅱ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護実習	① 積極的に周囲に働きかけ、自ら気づきを得ることができる。 ② 気づきを自分なりに整理・考察し、報告することができる。 ③ 社会人としてふさわしい行動を取ることができる。	○	○	○
介護保険	① 介護保険制度創設の制度の目的と動向について理解できる。 ② 介護保険制度の基本な仕組みを知り、制度の概要を理解できる。 ③ 介護保険制度の組織と役割を知り、制度の財政を理解できる。	○		○
介護事務演習	① 介護被保険者証より利用者基本情報を介護給付明細書に転記できる。 ② ケアプランよりサービスの内容を読み取る。 ③ 介護報酬サービスカード表を使い②の内容を介護給付明細書に転記できる。	○	○	○
高齢者心理学	① 高齢者に対する知識（症状論）や援助理論と方法を身につける。 ② 高齢者に応対する際のコミュニケーション技術を習得する。	○		
医療秘書実務実習Ⅰ	① 病院の業務全般の流れが理解できる。 ② 医事課業務について説明できる。	○	○	○
医療秘書実務実習Ⅱ	① 病院組織について理解できる。 ② 受付、窓口業務についての業務が作業・実践できる。	○	○	○
医療秘書実務実習Ⅲ	① 診療報酬請求業務についての理解を深める。 ② 医事課の事務的業務について理解出来る。	○	○	○
ビジネス実務総論	① 学生から社会人と成る為の意識改革をし、ビジネスマナーの基本を身につける。 ② 基本的なビジネスマナーを修得した上で、面接試験に充分活かせるよう学習する。	○	○	○
コミュニケーション演習	① 現場実習のための訪問アポイントメントがいただけるよう、感じの良い電話応対ができる。 ② 実習先で感じの良い挨拶ができる。	○	○	○
手話Ⅰ	① 聴障者とのコミュニケーション手段の学習。 ② 聴障者の福祉及び障がい者全体に対する理解を深めることができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
手話Ⅱ	① 聴覚者とのコミュニケーション手段の学習 ② 聞こえない事により生じる様々な問題の学習 ③ ②の対応についての理解を深める。	○	○	○
卒業研究	① 食物栄養学科における学習活動の集大成とする。 ② 「食」に関する課題について多面的・多角的に調査し考察する。 ③ 研究結果をまとめ、表現する力を習得する。 ④ 地域における「食」についての課題解決能力を高める。	○	○	○
プレゼンテーション	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○
情報処理演習	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
実践給食管理実習	① 栄養士として基礎から応用まで、具体的に演習及び実習を行い、理解することができる。 ② 献立立案、献立入力、食材の選別、調味料・材料計算、作業計画などの給食管理について理解することができる。	○	○	○
給食管理実習Ⅲ	① 給食管理実習Ⅱに引き続き、さらに現場の栄養士の体験を積む。 ② 特定給食施設において、現場の栄養士・管理栄養士から実地訓練を受ける。 ③ 給食管理の実態と合わせて、栄養士として具備すべき知識及び技術を体得する。		○	○
調理学実習Ⅳ	① 調理学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの基礎をさらに発展させ、応用できるようにする。 ② 食文化や行事食について調理実習を通して理解を深める。	○	○	○
小児栄養 ／保育栄養指導法	① 幼児期の発達段階に応じた栄養のはたす役割を理解できる。 ② 現代の子どもたちにおける食生活の問題点を学び、食育のあり方について理解を深める。 ③ 特に、保育園や幼稚園で課題となる食物アレルギーに関する理解を深める。	○	○	○
健康運動指導論	① 運動指導者に必要な有酸素運動の指導法を学ぶことができる。 ② 運動を指導する者として必要な知識を身につけることができる。 ③ 各種測定法を知り健康運動の為に指導力を身につけることができる。	○	○	○
アクアエクササイズ	① 水の特性と身体に与える影響について理解できる。 ② 泳ぎの技術と指導法を学び安全に配慮できるような技術を習得できる。 ③ 水中運動の種類、指導の要点を学び、実践できる能力を身につける。	○	○	○
健康マネジメント論	① 国が健康づくりをすすめる背景を知ることができる。 ② 健康づくりにおける運動の必要性について説明することができる。	○	○	
温泉医療療養指導	① 健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ② 安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。	○	○	○
温泉健康トレーニング	① 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ② 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③ 温泉を活用した健康トレーニングや癒し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④ 習得した知識をもとにして、課題解決にむけたプログラムを提案できる。	○	○	○

食物栄養学科「温泉コンシェルジュコース」 教育課程

【平成29年4月入学生】

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		温泉 コンシェルジュ	栄養士	社会福祉主事任用資格	ビジネス実務士	介護職員初任者研修	健康アドバイザー	備 考		
				必	選	前期	後期								前期	後期
基礎教育	基礎科目	人文学	2					☆			☆	☆		基礎科目については 8単位以上取得すること		
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
		基礎科目	2	○					☆	☆	☆	☆				
外国語	外国語	外国語	1											英語・中国語いずれかを 2単位以上取得すること		
		外国語	1													
		外国語	1													
		外国語	1													
		外国語	1													
		外国語	1													
		外国語	1													
		外国語	1													
		外国語	1													
		外国語	1													
体育	体育	体育	1											英語・中国語いずれかを 2単位以上取得すること		
		体育	1													
		体育	1													
		体育	1													
		体育	1													
		体育	1													
		体育	1													
		体育	1													
		体育	1													
		体育	1													

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		温泉コンシェルジュ 栄養士	社会福祉主事任用資格 ビジネス実務士	健康アドバイザー 介護職員初任者研修	備 考	
			必 選	前 期	後 期	前 期					後 期
社会生活と健康	生活と健康	2	○				☆	☆	☆	食品加工実習を含む 食品加工実習を含む	
		2	○				☆	☆	☆		
食品と衛生	食品と衛生	2	○				☆	☆	☆	食品加工実習を含む 食品加工実習を含む	
		2	○				☆	☆	☆		
栄養と健康	栄養と健康	2	○				☆	☆	☆	食品加工実習を含む 食品加工実習を含む	
		2	○				☆	☆	☆		
栄養の指導	栄養の指導	2	○				☆	☆	☆	校外集中(2年夏)	
		2	○				☆	☆	☆		
給食の運営	給食の運営	2	○				☆	☆	☆	校外集中(2年夏)	
		2	○				☆	☆	☆		

専 門 教 育 科

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		温泉コンシェルジュ	栄養士	社会福祉主事任用資格	ビジネス実務士	介護職員初任者研修	健康アドバイザー	備 考
			必	選	前期	後期							
温泉コンシェルジュ教育科目	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					集中 集中 校外集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
	温泉コンシェルジュ教育科目	2	○				★	★					
ビジネス実務	ビジネス実務	2	○				★	★					校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
	ビジネス実務	2	○				★	★					
キャリア・教養	キャリア・教養	2	○				★	★					校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
	キャリア・教養	2	○				★	★					
デザイン	デザイン	2	○				★	★					校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
	デザイン	2	○				★	★					
福祉関係科目	福祉関係科目	2	○				★	★					校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
	福祉関係科目	2	○				★	★					
その他	その他	2	○				★	★					校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中 校外集中
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					
	その他	2	○				★	★					

○印は90分授業 1コマ15週 ○○印は90分授業 2コマ15週
 ●印は90分授業 1コマ7.5週 ☆印は資格の必修科目 ☆印は資格の推奨科目
 ※専門教育科目から60単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。
 社会貢献実習Ⅰ・Ⅱは2時間×8回以上の貢献をもって演習1単位とする。
 基礎科目「キャリア教育」は、必須科目。2年間を通じて8回以上受講すること。
 社会福祉主事任用資格を取得するには、◇印の科目を3つ以上受講すること。
 手話入門課程取得条件①手話Ⅰ(1単位)の取得②手話Ⅱ(1単位)の取得。
 ビジネス実務士は、☆の科目を7単位以上取得すること。
 都合により、開講時期等が変更になることがあります。

食物栄養学科「温泉コンシェルジュコース」カリキュラムマップ

[平成29年4月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
人間関係論	① 生を慈しみ、相互の人格と尊厳を尊ぶ社会性の基礎にある人間関係について学び理解する。 ② 社会と個人或いは自己（わたし）と他者（あなた）との間で織りなす関係づくりの多様な法則を理解する。 ③ 複雑な人間関係において生じる問題への対応の仕方について理解し、その改善のための技術を身につける。	○		○
人権教育概論	① 基本的人権について理解し、尊重する資質能力が磨かれる。 ② いじめや差別のない社会の創造への意欲が喚起される。 ③ 思いやりの心が磨かれ、教職への希望が膨らむ。 ④ 豊かな人間性と人権問題解決の実践力が身につく。	○	○	
日本語表現	① 日本語の表現に目を向け、ビジネスの現場で活躍するために必要な実践的国語表現力を身につける。 ② 就職活動や各種検定試験にも対応できる有用な国語表現力を身につける。	○	○	○
化学	① 化学の基礎的知識の習得と物質の理解、そして簡単な化学計算について学び、専門科目への橋渡しを目的とする。	○		
情報処理論	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容から派生的な課題を自ら見つけ、文章として論述することができる。	○	○	
日本国憲法	① 憲法条文と日常生活との関連に注意を払い、進取の気風が身につく。 ② 条文の理解とともに判例についても関心を抱き、理解力が高まる。 ③ 主権者としての自覚と法令遵守の精神及び実践力が身につく。 ④ 不易流行を肝に銘じて自己改革を図り、社会貢献に資する人材になる。		○	
キャリア教育	① 企業の経営者や地域事業を行う代表者たち対話することができる。 ② 就職や社会生活を通じた自己実現（キャリア形成）について語ることができる。 ③ 自らの進路を説明できる。	○	○	○
インターンシップ	① 職業観、就労意識の醸成をめざし、将来のキャリアを考える機会を作る事ができる。 ② 社会や企業に対する理解度の向上をはかり、人間的成長を目標とする。 ③ 自分自身の適正、持ち味の確認を行なうことができる。		○	○
社会貢献演習Ⅰ	① 地域社会の課題を説明できる。 ② 地域の課題の解決方法について考えることができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域社会の課題を説明できる。 ② 地域の課題の解決方法について考えることができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ② 自身の進路分野で活用できる英語力を身につけることができる。 ③ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
英語Ⅱ	① 英語で意見を述べ、コミュニケーションをとることができる。 ② 英会話に対する不安を無くし、積極的に英語で話す努力ができる。 ③ 自身の進路分野で活用できる英語力を身につけることができる。 ④ 観光客に対し、簡単な英語での道案内ができる。	○	○	○
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる。 ② 自己紹介や生活によく使われる会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	○
公衆衛生学	① 予防医学の概念について説明できる。 ② 疾病と死因の年次推移について説明できる。 ③ 健康と環境との関係を説明できる。	○	○	○
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、理解できる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みを理解できる。 ③ 児童、高齢者、障害者、地域福祉等の福祉体系を理解できる。 ④ 今日の福祉課題に対する問題点を理解することができる。	○		○
解剖学	① 解剖学の見地から、生命活動の不思議と人体の絶妙なしくみを理解する。 ② この学習を通して栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。	○		
生理学	① 生理学の見地から、生命活動の不思議と人体の絶妙なしくみを理解する。 ② この学習を通して栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。	○		
生化学	① 食物が体の中でどのように変化し役割を果たすかを、化学的に説明できる。 ② 私たちの体の仕組みについて知ることができる。 ③ 栄養素などの働きについて理解できる。	○	○	
生化学実験	① 生化学等の講義で学んだ知識を実験によって理解できる。 ② みずから手を動かして体験し、体の働きをより深く理解する。 ③ 実験で修得した専門知識を活かし栄養士としての栄養教育ができる。	○	○	○
運動生理学	① 筋収縮の発現など運動の特性について理解できる。 ② 運動時の呼吸・循環系及び体温調節の働きについて理解する。 ③ 食事と運動の両面から生活指導のできる栄養士をめざす。	○	○	
基礎医学	① 「医療秘書実務士」「栄養士」取得に必要な医学的知識が理解できる。 ② おもに糖尿病、高血圧症等内科的疾患についての理解を深める。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読解力
食品学総論	① 健康を支える食品の成分、特徴、物性等について科学的な知識を理解する。 ② 食品学で学んだ知識を、日々の食生活に活用することができる。	○	○	
食品学各論	① 食品材料の一般成分・食品分類・食品形態・食品の原産地など食品の特徴について理解する。 ② 食文化や食品の健康に及ぼす影響について理解を深めることができる。 ③ さらに、健康を維持し、安全な食品を得る為の正しい食品選択ができる。	○	○	
食品学実験Ⅰ	① 実験、実習に関する用語や数値及び薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○
食品学実験Ⅱ	① 実験、実習を通して薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○
食品衛生学	① 食中毒の種類とその原因及び対策を説明できる。 ② 食品添加物の安全性とその考え方を説明できる。 ③ 食品表示について説明できる。	○	○	○
食品衛生学実験	① 身近な食品・食材中の細菌の検査方法を実施できる。 ② 実験で得られたデータを説明できる。 ③ HACCPについて説明できる。	○	○	
栄養学総論	① 各栄養素の種類及び体内でのはたらきを説明できる。 ② 消化と吸収について理解できる。 ③ エネルギー代謝について理解できる。	○	○	
栄養学各論	① 「健康日本21」でめざしていることを説明できる。 ② “健康寿命”の延伸について説明できる。 ③ ライフステージごとに人の身体変化とそれに対応する栄養について説明できる。	○	○	○
栄養学実習	① 人生のライフステージごとの健康を維持・増進できる食のあり方を理解する。 ② 実習をとおして、具体的に食事の質と量を実践することにより理解を深める。	○	○	○
臨床栄養学	① 解剖学、生理学、栄養学を基礎とし、正常な体の機能を理解できる。 ② 各疾患の病態生理や食との関連について概要を理解できる。 ③ 各疾病、症状に応じた食事療法を理解できる。 ④ 疾患予防と健康増進のための食事、生活習慣を説明できる。	○		
臨床栄養学実習	① 個人の検査値、食事摂取状況等から栄養状態の把握方法を理解できる。 ② 臨床栄養学の知識を基に病態別の栄養管理について理解を深める。 ③ 糖尿病交換表を使用し、献立の作成ができる。 ④ 適切な調理方法や食品の選択、常食から治療食の献立展開ができる。	○	○	○
運動栄養学	① 健康のための運動と効率的な栄養摂取を理解することができる。 ② 健康増進の為に知識を修得することができる。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	読解力
栄養指導論Ⅰ	① 栄養教育の意義や目的について理解できる。 ② 栄養教育の歴史や法規を理解し、栄養士の役割を説明できる。 ③ 栄養マネジメント計画を作成することができる。	○	○	
栄養指導論Ⅱ	① ライフステージごとの対象者の特徴を理解できる。 ② ライフステージごとの栄養教育について理解できる。 ③ 対象に応じた栄養教育プログラムをマネジメントできる。	○	○	
栄養指導実習Ⅰ	① 生涯にわたって健康を維持増進するための栄養教育を計画することができる。 ② 子どもの発育・発達に応じた目標を設定し、指導案を作成することができる。 ③ 効果的な媒体を作成し、栄養教育に活用することができる。 ④ 栄養教育を実践し、教育効果を評価し、フィードバックを行うことができる。	○	○	○
栄養指導実習Ⅱ	① 対象者の状態に応じた目標を設定し、指導案を作成することができる。 ② 科学的根拠に基づいた情報を収集し、対象者に正しく伝えることができる。 ③ 効果的な媒体を作成し、栄養教育に活用することができる。 ④ 栄養教育を実践し、教育効果を評価し、フィードバックを行うことができる。	○	○	○
公衆栄養学	① 個人または集団の健康を維持・増進するために必要な健康・栄養活動を知る。 ② 健康・栄養活動を企画・実施・評価する方法を理解する。 ③ 健康・栄養問題の歴史的経緯、現在の問題点について理解を深めることができる。	○	○	
給食計画論	① 特定給食施設について関係法規を含め理解できる。 ② 栄養管理、食事管理、食材料管理、給食作業管理を理解できる。 ③ 食品衛生や労務管理を含めた安全管理を理解できる。 ④ 設置基準等、関係法規を含めた施設・設備管理を理解できる。	○		○
給食実務論	① 給食を運営する団体の組織体系について理解できる。 ② 給食経営に関わる費用について理解する。 ③ 各特定給食施設給食について各特色と関係法規を理解する。	○		○
給食管理実習ⅠA	① 給食栄養目標量を設定することができる。 ② 食品構成の役割とその作成方法を理解できる。 ③ 栄養量を意識した1日分の献立作成ができる。 ④ 作業工程の考え方、発注法を理解する。	○	○	○
給食管理実習ⅠB	① 給食管理の集大成としてPDCAに則った給食を実践できる。 ② 献立作成、発注、調理及び調理指示を適切に行うことができる。 ③ 喫食者の嗜好や満足度に対して意識を向けることができる。 ④ 互いの個性や力量を見極め、協働することができる。	○	○	○
給食管理実習Ⅱ	① 特定給食施設において、現場の栄養士・管理栄養士から実地訓練を受ける。 ② 栄養士としての具備すべき知識及び技能全般を体得する。		○	○
調理学	① 食品素材を衛生的にかつ安全に、おいしく栄養的に価値のある料理に仕上げることができる。 ② おいしく安全な料理を作るために必要な「調理科学」を体系的に学び、修得する。 ③ 「調理のこつ」と言われる調理操作も科学的根拠に基づいていることを理解する。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
調理学実習Ⅰ	① より適切な調理をするために、十分な基礎知識を把握し、調理法の実践を修得する。 ② 望ましい食事の為に役立つ基礎知識や食生活全般にわたっての総合的な判断力・実践力を修得する。 ③ 食中毒や安全性を考慮した食品の扱いができる。	○	○	○
調理学実習Ⅱ	① 調理学実習Ⅰで身につけた調理の基礎をもとに、日常食の調理を身につける。 ② 栄養士資格を取得するものの見地から、食生活をより楽しく、健康的に営むための基本を学習する。 ③ 日常食の調理を身につけた上で応用料理へ発展させる能力を修得する。	○	○	○
調理学実習Ⅲ	① 調理学実習Ⅰ、Ⅱで身につけた基礎をもとに、大量調理を行うにあたっての技術の習得をする。 ② 同時に適切な献立作成ができるようにする。	○	○	○
観光学入門	① 別府地域について、別府八湯の視点から各地域の特色を説明できる。 ② 顧客が別府を訪れる際に必要な基礎的情報を説明できる。	○	○	○
温泉コンシェルジュの基礎	① (別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 別府の魅力・特色を知り、プログラムを作成する努力ができる。 ③ 他人の話をよく傾け、適切な対応をする心がけができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	
別府の歴史と発展	① 別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ② 別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③ 取得した情報を基に、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④ 情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現(説明)できる。	○		
まちづくりと景観	① 紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ② 地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③ 顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④ 別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。	○		
温泉学	① 温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ② 別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③ 温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。	○	○	○
おもてなしの心を学ぶ	① 日本の接客業における、総合的なおもてなしの心や業務が分かる。 ② 温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。 ③ 他者を理解し多様な価値観を受容することができる。 ④ 日本や世界のおもてなしの心と作法を基に、接客サービスができる。	○	○	○
大分県	① 大分県内の特色(歴史・人物・文化・産業等)について学ぶ。 ② 大分県の魅力を全国に発信することができる。	○	○	
地域体験学	① 地域の歴史文化や観光サービスについて、実体験をもとに説明できる。 ② 他者と協力しあい、物事を遂行することができる。	○	○	○
温泉学演習	① 地域の温泉や温泉文化について、実体験をもとに説明できる。 ② 温泉の活用方法および保全活動について現状を把握し、説明できる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
おもてなし演習	① ニーズに沿ったサービスの提供など、コンシェルジュの基本を学ぶ。 ② 温泉の知識を活用し、商品化する方法を考え企画することができる。 ③ おもてなしの心を持って接客サービスしようとする事ができる。 ④ 多様な価値観を受容し、信頼関係を築き、親和的に接しようとする努力をする。	○	○	○
温泉文化と活用	① 温泉の活用法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ② 他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③ 職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。	○	○	
温泉コンシェルジュ演習	① (別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ② 「おすすめ別府案内」プログラムが提案できる。 ③ 他人の話をよく傾け、適切な対応をしようとする心がけができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	○
温泉コンシェルジュ応用	① 別府の地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案ができる。 ② 多様な情報を収集し、顧客の潜在価値を高めるツールを作成できる。 ③ 人的ネットワークを活用し、課題解決力を身につけることができる。 ④ 顧客や職場等の考えを理解し、課題解決のための提案を行うことができる。	○		
温泉医療療養指導	① 健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ② 安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。	○	○	○
温泉健康トレーニング	① 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ② 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③ 温泉を活用した健康トレーニングや癒し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④ 習得した知識をもとにして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。	○	○	○
着付けⅠ	① ゆかた、襦袢の実技を習得する。 ② 男女のきものの着方の違う所を理解することができる。	○		
着付けⅡ	① 帯結びを習得する。 ② 男女のきものの着方の違う所を理解することができる。	○		
おもてなしの文化	① 日本の伝統文化である茶道と華道の歴史や知識を学ぶことができる。 ② 体験的な学習を通して、基本的な作法や所作を身につけることができる。 ③ 体験的な学習を通じ、回りの人達への思いやりの心や感謝する気持ちを養うことができる。	○	○	
ビジネス実務総論	① 学生から社会人となるための意識改革をし、ビジネスマナーの基本を身につける。 ② 基本的なビジネスマナーを修得した上で、面接試験に充分活かせるよう学習する。	○	○	○
事務管理	① 組織の中で行き交う報告・連絡・相談・命令が正確、的確に行われる能力を醸成する。 ② 組織の共通目標が達成できる基盤が「事務」であることを理解できる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
ビジネス実務演習Ⅰ	① ビジネスの実務を知り、演習、ワーク等を通じて「役割」と「重要性」を理解する ② ビジネスの実務に必要な基本マナーを身につける	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅱ	① ビジネス能力を身につけ、ビジネスシーンの全体イメージや流れをつかむ ② ビジネスの実務により、社会人としての態度を再現することができる	○	○	○
ビジネス文書	① ビジネス文書には、一定の型や特有の言葉遣いがあり、これを習得することができる。 ② ビジネスの場において、正確、迅速な文書が書ける能力を醸成できる。	○		○
コミュニケーション演習	① 現場実習のための訪問アポイントメントがいただけるよう、感じの良い電話応対ができる ② 実習先で感じの良い挨拶ができる	○	○	○
情報処理演習	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
情報ネットワーク論	① 見出しの作成・画像の挿入ができる ② リンク元・リンク先の設定ができる。 ③ スタイルシートの設定ができる。 ④ HTMLやJavaScriptの編集ができる。	○		○
簿記Ⅰ	① 簿記を金額によってとらえる為の知識であることを学習する。 ② 社会的に大きな役割を果たしている簿記の知識や技術を学習して身につける。 ③ 物事を合理的に考え処理していく能力や生活態度を養う。	○		○
簿記Ⅱ	① 前期の「簿記Ⅰ」をもとに決算手続きまでを学習する。 ② 実務に役立つ技術を身につける。 ③ 経験者は「日商簿記検定3級」の資格取得を目指す。	○		○
現代社会論	① 現代社会の変化とその課題について捉えることができる。 ② 様々な変化の中での問題点と対策について知り、考える。 ③ 社会に関わっていく知識と対応力を身につける。	○		○
手話Ⅰ	① 聴障者とのコミュニケーション方法のひとつ手話技術の初歩の練習 ② 聴障者の福祉及び障がい者全体に対する理解を深めることができる。	○	○	○
手話Ⅱ	① 聴障者とのコミュニケーション手段の学習 ② 聞こえない事により生じる様々な問題の学習 ③ ②の対応についての理解を深める。	○	○	○
レイアウトソフトウェア演習	① Adobe Illustrator の操作を基礎から学ぶ。 ② イメージを自由に表現する技術を習得する。 ③ 具体的な作品制作を行なう。	○	○	
フォトタッチソフトウェア演習	① Adobe Photoshopの操作を基礎から学ぶ。 ② 画像を自由に加工、編集できる知識と技術を習得する。 ③ 作品制作を行なう。	○		
コピーライティング	① 主に広告表現におけるコピーライティングの役割を知る。 ② デザイン全体像の把握する力を身につける。 ③ クリエイティブ作業の重要性を認識する。 ④ オリジナリティの高い表現に挑む。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
プリプレス概論	① DTP、プリプレスの基礎知識、技術を作品づくりを通して取得する	○	○	
デザイン論	① DTP、プリプレスの企画、技術を作品づくりを通して習得する	○	○	
クロスメディアデザイン	① クロスメディアの表現力を獲得する。 ② プラットフォームとしてiBooks Authorをマスターする。	○	○	○
写真Ⅰ	① デジタルカメラを使った撮影の基礎的な知識と技術を習得する。	○	○	○
写真Ⅱ	① デザイン企画の中で必要な写真撮影の知識と技術を習得する。 ② 制作展に展示する作品を制作する。	○	○	○
介護概論	① 介護職の仕事内容や働く現場が理解できる。 ② 人権と尊厳を支える支援や自立に向けた介護が理解できる。 ③ 介護職の役割や専門性と他職種との連携が理解できる。 ④ 食事に関連した自立に向けた介護が理解できる。	○	○	○
介護の理解	① 介護におけるコミュニケーションが理解できる。 ② 老化に伴うことからの変化と高齢者の健康が理解できる。 ③ 認知症を取り巻く状況や家族への支援が理解できる。 ④ 介護過程の基礎的な内容が理解できる。	○	○	○
介護技術Ⅰ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護技術Ⅱ	① 基本的な介護を実践するために必要な知識・技術が理解できる。 ② 介護を必要とする人の潜在能力を引き出す視点の大切さが理解できる。 ③ 相手の立場に立ち考える姿勢をもつことの大切さが理解できる。	○	○	○
介護実習	① 積極的に周囲に働きかけ、自ら気づきを得ることができる。 ② 気づきを自分なりに整理・考察し、報告することができる。 ③ 社会人としてふさわしい行動を取ることができる。	○	○	○
介護保険	① 介護保険制度創設の制度の目的と動向について理解できる。 ② 介護保険制度の基本な仕組みを知り、制度の概要を理解できる。 ③ 介護保険制度の組織と役割を知り、制度の財政を理解できる。	○		○
卒業研究	① 食物栄養学科における学習活動の集大成とする。 ② 「食」に関する課題について多面的・多角的に調査・考察する。 ③ 研究結果をまとめ、表現する力を習得する。 ④ 地域における「食」についての課題解決能力を高める。	○	○	○
プレゼンテーション	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○
実践給食管理実習	① 栄養士として基礎から応用まで、具体的に演習及び実習を行い、理解することができる。 ② 献立立案、献立入力、食材の選別、調味料・材料計算、作業計画などの給食管理について理解することができる。	○	○	○
給食管理実習Ⅲ	① 給食管理実習Ⅱに引き続き、さらに現場の栄養士の体験を積む。 ② 特定給食施設において、現場の栄養士・管理栄養士から実地訓練を受ける。 ③ 給食管理の実態と合わせて、栄養士として具備すべき知識及び技術を体得する。		○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
調理学実習Ⅳ	① 調理学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの基礎をさらに発展させ、応用できるようにする。 ② 食文化や行事食について調理実習を通して理解を深める。	○	○	○
小児栄養 ／保育栄養指導法	① 幼児期の発達段階に応じた栄養のはたす役割を理解できる。 ② 現代の子どもたちにおける食生活の問題点を学び、食育のあり方について理解を深める。 ③ 特に、保育園や幼稚園で課題となる食物アレルギーに関する理解を深める。	○	○	○
健康運動指導論	① 運動指導者に必要な有酸素運動の指導法を学ぶことができる。 ② 運動を指導する者として必要な知識を身につけることができる。 ③ 各種測定法を知り健康運動の為の指導力を身につけることができる。	○	○	○
健康マネジメント論	① 国が健康づくりをすすめる背景を知ることができる。 ② 健康づくりにおける運動の必要性について説明することができる。	○	○	
アクアエクササイズ	① 水の特性と身体に与える影響について理解できる。 ② 泳ぎの技術と指導法を学び安全に配慮できるような技術を習得できる。 ③ 水中運動の種類、指導の要点を学び、実践できる能力を身につける。	○	○	○
医療と薬剤	① 医療従事者及び食物栄養の専門家として、薬の特性本質や基本的な知識を広く理解することができる。 ② 薬の適正使用を理解することにより、人々の健康を維持増進することに適切に指導できる能力が身につく。 ③ 都道府県が実施する登録販売者試験の合格をめざす。	○	○	○
高齢者心理学	① 高齢者に対する知識（症状論）や援助理論と方法を身につける。 ② 高齢者に対応する際のコミュニケーション技術を習得する。	○		

食物栄養学科〔留学生コース〕 教育課程

〔平成29年10月入学生〕

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士①	温泉コンシェルジュ	備 考		
				必	選	前期	後期				前期	後期
基礎教育	基礎科目	日本の文芸学	講義	2								
		コミュニケーション学	講義	2			○			☆		
		日本語表現	講義	2		○				☆		
		情報科学概論	講義	2			○			☆		
		人間関係論	講義	2				○		☆		
		リーダーシップ	講義	2					○	☆		
		経営学	講義	2			○			☆		
		大分県立大学	見聞	1					●			
		分野の発展と学	講義	2		○						
		キャリアアップ教育	講義	1		●	●	●	●			
外国語	インターンシップ	実習	1		●	●	●	●				
	社会貢献実践Ⅰ	演習	1		●	●	●	●	☆			
	社会貢献実践Ⅱ	演習	1		●	●	●	●				
	英語	演習	1			○						
体育	中国語	演習	1			○						
	運動スポーツ	演習	1		○							

基礎科目については
8単位以上取得すること

外国語から2単位以上
取得すること

科 目	履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士②	温泉コンシェルジュ	備 考		
			必	選	前期	後期				前期	後期
専 門 教 育 科 目	栄養学概論	講義		2							
	食品学実習Ⅰ	実習		1			○				
	食品学実習Ⅱ	実習		1			○				
	食品衛生学	講義		2				○			
	公衆衛生学	講義		2				○			
	調理と食文化Ⅰ	講義		2				○			
	調理と食文化Ⅱ	講義		2	○						
	調理学実習Ⅰ	実習		1		○					
	調理学実習Ⅱ	実習		1		○					
	給食管理実習Ⅰ	実習		1		○					
	インターンシップⅠ	実習		1							
	インターンシップⅡ	実習		1							
	インターンシップⅢ	実習		1							
	インターンシップⅣ	実習		1							
	観光学入門	講義		1		●			★		
	温泉コンシェルジュの基礎	講義		2		○			★		
	別府の歴史と発展	講義		2		○			★		
	まちづくりと景観	講義		2		○			★		
	温泉の泉質と心	講義		2		○			★		
	おもてなしの心を学ぶ	講義		2		○			★		
	大分県立大学	講義		2		○			★		
	地域体育学	演習		1	●	●	●	●	★		
	温泉学	演習		1	●	●	●	●	★		
	おもてなし演習	演習		2	○	○	○	○	☆		
	温泉文化と活用	講義		2			○		★		
	温泉コンシェルジュ演習	演習		2			○	○	★		
	温泉コンシェルジュ応用	講義		2			○		★		
	温泉医療療養指導	講義		2			○		★		
	温泉健康トレーニング	講義		2			○		★		

食 物 栄 養	日単位以上取得すること	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中
---------	-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

8単位以上取得すること

集中

集中

学外集中 通年

集中

集中

科 目		履 修 法	単 位	1 年		2 年		ビジネス実務士③	通泉コンシェルジュ	備 考		
				必	選	前期	後期				前期	後期
ビジネス実務	ビジネスマルケティングⅠ	講義	2						★			
	ビジネスマルケティングⅡ	演習	1			○			☆			
	ビジネスマルケティングⅢ	演習	1				○		☆			
	ビジネスマルケティングⅣ	講義	1				○		☆			
	表計算演習Ⅰ	演習	2	○			○		☆			
	表計算演習Ⅱ	演習	1		○				☆			
	情報処理演習Ⅰ	講義	2				○		☆			
	情報処理演習Ⅱ	講義	2					○	☆			
	情報処理演習Ⅲ	講義	2					○	☆			
	情報処理演習Ⅳ	講義	2					○	☆			
日本語教育	日本語初級Ⅰ	講義	2									
	日本語初級Ⅱ	演習	2	○	○							
	日本語初級Ⅲ	演習	2	○	○							
	日本語初級Ⅳ	演習	2	○	○							
	日本語初級Ⅴ	演習	2	○	○							
	日本語初級Ⅵ	演習	2	○	○							
	日本語中級Ⅰ	演習	2		○	○						
	日本語中級Ⅱ	演習	2		○	○						
	日本語中級Ⅲ	演習	2		○	○						
	日本語中級Ⅳ	演習	2		○	○						
日本の文化・社会	異文化コミュニケーションⅠ	演習	1		●	●	●	●	通年			
	異文化コミュニケーションⅡ	演習	1		●	●	●	●	通年			
	異文化コミュニケーションⅢ	演習	2				○	○				
	異文化コミュニケーションⅣ	演習	2				○	○				
	異文化コミュニケーションⅤ	演習	2				○	○				
	異文化コミュニケーションⅥ	演習	2				○	○				
	異文化コミュニケーションⅦ	演習	2				○	○				
	異文化コミュニケーションⅧ	演習	2				○	○				
	異文化コミュニケーションⅨ	演習	2				○	○				
	異文化コミュニケーションⅩ	演習	2				○	○				

※○印は90分授業 1コマ15週 ○印は90分授業 2コマ15週

●印は90分授業 1コマ8週 ★印は各資格の必修科目 ☆印は資格の推薦科目

専門教育科目から60単位以上、基礎科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ、卒業できない。

社会貢献演習Ⅰ・Ⅱは2時間×8回以上の貢献をもって演習1単位とする。

「キャリア教育」は2年間を通じて8回以上受講すること。

ビジネス実務士は、★の科目を8単位以上取得すること。

都合により、開講時期等が変更になることがある。

食物栄養学科〔留学生コース〕 カリキュラムマップ

[平成29年10月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
日本の文学	① 作者の意図や、人物、情景、心情の描写を的確に捉えることができる。 ② 人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うことができる。	○	○	
コミュニケーション論	① 日本での言語・非言語コミュニケーションを知り、社会に参加できる。	○	○	
日本語表現	① 聞く、話す、読む、書く、日本語表現能力の向上ができる。 ② 初級文法・初級文型の整理をし、中級へ移行することができる。 ③ 既習の日本語表現を応用し、初級会話のやり取りができる。	○	○	
情報科学	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
人間関係論	① 人間関係成立のメカニズムを理解できる。 ② 日常の自己の人間関係について社会心理学の知見を還元できる。		○	○
社会福祉	① 社会福祉の基本となる理念や歴史を知り、それを理解することができる。 ② 介護保険制度及び障害者支援制度の仕組みと動向を知り、その概要を理解することができる。 ③ 子ども家庭福祉、高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉等の各分野を概観し、今日的な福祉課題に対することを理解することができる。	○		○
リーダーシップ論	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
経営学	① 活躍する中小企業の経営者の話を聞き即戦力として活躍できる。 ② 『リーダーシップ』と『経営者の姿勢』を身につける。 ③ 中小企業の経営者との質疑応答を通し日本語能力を向上する。 ④ 自分の意見をまとめ、発表することができる。		○	○
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見の記述を通して、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容を受け、派生的な課題を自ら見つけ、1200字程度の文章として論述することができる。	○	○	
キャリア教育	① 日本の文化に社会人として生きるための基礎力を磨き、日本の社会について知る。 ② 国際人として必要な知識を学び、現在の地域社会に必要なキャリア形成について理解できる。			○
インターンシップ	① 社会現場を経験することにより職業意識や勤労意欲を高め有為なる社会人を育成する。			
社会貢献演習Ⅰ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 地域・社会に貢献する人材（人材）になることができる。 ② 人間的成長ができる。	○	○	○
英語Ⅰ	① To improve confidence in English. ② To improve English communication skills.	○		
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる。 ② 自己紹介や生活によく使われる会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	
栄養学総論	① 各栄養素の種類及び体内ではたらきを説明できる。 ② 消化と吸収について理解できる。 ③ エネルギー代謝について理解できる。	○	○	
食品学総論	① 健康を支える食品の成分、特徴、物性等について科学的な知識を理解する。 ② 食品学で学んだ知識を、日々の食生活に活用することができる。	○	○	
食品学実験Ⅰ	① 実験、実習に関する用語や数値及び薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○
食品学実験Ⅱ	① 実験、実習を通して薬品の調整等、基本的な事柄を知る。 ② 実験、実習に使用する器具や薬品の安全な正しい取り扱い方を知る。 ③ 各食品の構成成分や特徴、働きを知り、人々の健康で心豊かな食生活のあり方を知る。 ④ 食品の安全で衛生的な取り扱いや製造方法を知る。	○	○	○
食品衛生学	① 食中毒の種類とその原因及び対策を説明できる。 ② 食品添加物の安全性とその考え方を説明できる。 ③ 食品表示について説明できる。	○	○	○
公衆衛生学	① 予防医学の概念について説明できる。 ② 疾病と死因の年次推移について説明できる。 ③ 健康と環境との関係を説明できる。	○	○	○
運動栄養学	① 健康のための運動と効率的な栄養摂取を理解することができる。 ② 健康増進の為の知識を修得することができる。	○	○	
調理学	① 食品素材を衛生的にかつ安全に、おいしく栄養的に価値のある料理に仕上げることができる。 ② おいしく安全な料理を作るために必要な「調理科学」を体系的に学び、修得する。 ③ 「調理のこつ」と言われる調理操作も科学的根拠に基づいていることを理解する。	○	○	
調理と食文化Ⅰ	① 日本の食文化にふれ、日本の理解を深めることができる。 ② 多国籍の食文化にふれ、お互いの文化を理解し合う。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
調理と食文化Ⅱ	① 調理と食文化Ⅰの応用料理を行う。 ② 日本の家庭料理の食材にふれ、料理を作り、その配膳方法、食事方法等知る。 ③ 多国籍の食文化と日本の食文化を比較することにより、さらに日本の食文化の理解を深めることができる。	○	○	○
調理学実習Ⅰ	① よりよい調理をするために、十分な基礎知識を把握し、調理法の実験を修得する。 ② 望ましい食事の為に役立つ基礎知識や食生活全般にわたっての総合的な判断力・実践力を修得する。 ③ さらに、食中毒や安全性を考慮した食品の扱いができる。	○	○	○
調理学実習Ⅱ	① 調理学実習Ⅰで身につけた調理の基礎をもとに、日常食の調理を身につける。 ② 食生活をより楽しく、健康的に営むための基本を学習する。 ③ 応用料理へ発展させる能力を修得する。	○	○	○
給食管理実習	① 大量調理実習に参加し、調理することができる。 ② 食材の衛生的な取り扱いや大量調理の仕方を体得する。		○	○
別府の歴史と発展	① 別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ② 別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③ 取得した情報をもとに、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④ 情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現（説明）できる。	○		
まちづくりと景観	① 紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ② 地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③ 顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④ 別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。	○		
温泉学	① 温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ② 別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③ 温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。	○	○	
おもてなしの心を学ぶ	① 日本の接客業における、総合的なおもてなしの心や業務が分かる。 ② 温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。 ③ 他者を理解し多様な価値観を受容することができる。 ④ 日本や世界のおもてなしの心と作法をもとに、接客サービスができる。	○	○	○
大分学	① 大分県内の特色（歴史・人物・文化・産業等）について学ぶ。 ② 大分県の魅力を全国に発信することができる。	○	○	
地域体験学	① 地域の歴史文化や観光サービスについて、実体験を通して自身の言葉で説明できる。 ② 他者と協力しあい、物事を遂行することができる。	○	○	○
温泉学演習	① 地域の温泉や温泉文化について、実体験を通して自身の言葉で説明できる。 ② 温泉の活用方法および保全活動について現状を把握し、説明できる。	○	○	○
おもてなし演習	① ニーズに沿ったサービスの提供など、コンシェルジュの基本を学ぶ。 ② 温泉の知識を活用し、商品化する方法を考え企画することができる。 ③ おもてなしの心を持って接客サービスしようとする事ができる。 ④ 多様な価値観を受容し、信頼関係を築き、親和的に接しようとする努力をする。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
温泉文化と活用	① 温泉の活用方法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ② 他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③ 職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。	○	○	
温泉コンシェルジュ演習	①（別府）温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ②「おすすめの別府案内」プログラムが提案できる。 ③ 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようと心がけることができる。 ④ 顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	○	○	○
温泉コンシェルジュ応用	① 別府の地域資源を組み合わせた潜在プログラムの提案ができる。 ② 多様な情報を収集し、顧客の潜在価値を高めるツールを作成できる。 ③ 人的ネットワークを活用し、課題解決力を身につけることができる。 ④ 顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為に提案を行うことができる。	○		
温泉医療療養指導	① 健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ② 安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。	○	○	○
温泉健康トレーニング	① 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ② 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③ 温泉を活用した健康トレーニングや癒し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④ 習得した知識をもとにして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。	○	○	○
ビジネス実務総論	① ビジネスの実務現場、現状を知り、求められる実務能力を理解する。 ② 変化するビジネス社会において、考える力を持つビジネスパーソンに不可欠な考える力の必要性を理解する。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅰ	① ビジネスの実務を知り、演習、ワーク等を通じて「役割」と「重要性」を理解する。 ② ビジネスの実務に必要な基本マナーを身につける。	○	○	○
ビジネス実務演習Ⅱ	① ビジネス能力を身につけ、ビジネスシーンの全体イメージや流れをつかむ。 ② ビジネスの実務により、社会人としての態度を再現することができる。	○	○	○
ビジネス文書	① ビジネス文書には、一定の型や特有の言葉遣いがあり、これを書けることができる。 ② ビジネスの場において、正確、迅速な文書が書ける能力を醸成できる。	○		○
ビジネスマナー	① ビジネスシーンに必要な基礎知識、マナーを身につける。 ② 面接、電話応対で用いられる日本語表現の習得。 ③ 日本人のビジネススタイルや価値観を理解することができる。	○		○
表計算演習Ⅰ	① 数式の入力（四則演算）ができる。 ② 関数（SUM・ROUND・RANK.EQなど）を使うことができる。 ③ 関数（IF・VLOOKUPなど）を使うことができる。 ④ グラフの作成ができる。	○		○
情報処理演習	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読解力
現代社会論	① 現代社会の変化とその課題について捉えることができる。 ② 様々な変化の中での問題点と対策について知り、考える。 ③ 社会に関わっていく知識と対応力を身につける。	○		○
プレゼンテーション概論	① コミュニケーションは双方向であることを知る。 ② 考え、まとめ、発言を繰り返し行い、相手に届くプレゼンテーションを体得する。	○	○	
情報ネットワーク論	① 見出しの作成・画像の挿入ができる ② リンク元・リンク先の設定ができる。 ③ スタイルシートの設定ができる。 ④ HTMLやJavaScriptの編集ができる。	○		○
経済学入門	① 経済学の基本的知識・考え方・基礎理論を身につける。 ② 新聞の経済記事を理解したり、経済問題について論理的に考えることができる。	○	○	
国際経済	① 国際経済に関する知識を理解することができる。 ② 国際経済の現状とそのメカニズムを理解することができる。	○		
国際関係学	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		
国際関係学総論	① To prepare students with skills to take English based courses at university. ② To learn and apply basic International Relations theories to current events taken from the newspaper. ③ To be able to discuss opinions on world politics.	○		
事務管理	① 組織の中で行き交う報告・連絡・相談・命令が正確、的確に行われる能力を醸成する。 ② 組織の共通目標が達成できる基盤が「事務」であることを理解できる。	○		○
日中通訳入門	① 日中通訳に必要とする基礎的な通訳技術を習得し、日本語能力の向上を図る ② ビジネス通訳や観光案内の基本をマスターする	○	○	○
貿易実務	① 世界貿易を俯瞰する感覚を養う。 ② 日本企業の貿易担当者として機能するための素地をつくる。	○		○
簿記Ⅰ	① 簿記が金額によってとらえる為の知識であることを学習する。 ② 社会的に大きな役割を果たしている簿記の知識や技術を学習して身につける。 ③ 物事を合理的に考え処理していく能力や生活態度を養う。	○		○
簿記Ⅱ	① 前期の「簿記Ⅰ」をもとに決算手続きまでを学習する。 ② 実務に役立つ技術を身につける。 ③ 経験者は「日商簿記検定3級」の資格取得を目標とする。	○		○
日本語初級A	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級B	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級C	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		

科目名	授業目標	知識	主体性	読解力
日本語初級D	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級E	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語初級F	① 日本での生活に必要な日本語を理解できる。 ② 学校で学ぶための4技能のバランスをとることができる。 ③ 授業で学んだ基礎項目を使うことができる。	○		
日本語中級A	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級B	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級C	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級D	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級E	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語中級F	① 日本での生活に必要な日本語および、大学の授業が理解できる。	○		
日本語能力試験対策	① 日本語能力試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
日本語留学試験対策	① 日本語留学試験において目標とする日本語の運用ができる。	○	○	
異文化コミュニケーションⅠ	① 日本語でのコミュニケーション能力を身につけ、異文化への理解を深めることができる。	○		○
異文化コミュニケーションⅡ	① 日本語の読解力や表現力を上達させ、コミュニケーション上の課題を解決できる。	○		○
比較文化論Ⅰ	① 通時的また共時的に文化を比較できる。 ② 多岐にわたり地域を包括的にリサーチすることができる。 ③ 主観的ステレオタイプの視野から離れ客観的に文化の違いを把握できる。	○	○	
比較文化論Ⅱ	① 日本文化に対して具体的な題材を取り上げそれを理解できる。 ② 異文化との比較を通し、個別文化の価値を認識することができる。 ③ 多様な文化が接触する現代社会の中に課題を捉えることができる。	○		
日本語プレゼンテーション	① 日本語の明確な発音・わかりやすい表現を用いて、口頭発表をすることができる。	○	○	
現代日本語	① 現代日本語上級レベルの日本語を運用することができる。 ② 待遇表現・音韻・アクセント・表記・語彙を学び、N1の合格をめざす。 ③ ことばを通して自己と社会との関係を理解することができる。 ④ 社会の中でどのような言語運用がふさわしいか考えることができる。	○	○	
日本事情	① 日本社会・日本人の特性を踏まえ、諸問題を理解することができる ② 講義やディスカッションを通して、日本に対する理解ができる ③ 自分個人の存在と日本の現状の関係性を考えることができる	○		
社会時事Ⅰ	① 日本語で適切に表現する力を身につけ、政治や経済、国際関係等の概略を理解できる。	○	○	
社会時事Ⅱ	① 社会的な出来事を多面的に分析・検討し、社会人としての資質を高めることができる。	○	○	
日本の文化	① 日本の文化を講義・実技で体験し、日本の伝統・文化を理解できる。		○	○

幼児教育学科 教育課程

[平成29年4月入学生]

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		保育士 幼稚園 ピアヘルパー	推薦科目 インストラクター	備 考
			卒必	前期	後期	前期	後期		
基礎教育	情報処理論	講義 2	○					★	
	日本国産法	講義 2	○					★	
	コミュニケーション論	講義 2			○				◇
	生物	講義 2	○						
	大分県立	講義 1				●			
	大分の人と半面	講義 2				○			
	インターンシップ	実習 1	●	●	●	●			◇
	キャリア教育	講義 1	1	●	●	●			
	英語 I	演習 1	1	○			★	★	
	英語 II	演習 1	1	○			★	★	
外国語	中国語 I	演習 1	1	○			★	★	
	中国語 II	演習 1	1	○			★	★	
体育	スポーツ	講義 1	1	●			★	★	
	体育実技	実技 1	1	●	○		★	★	

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		保育士 幼稚園 ピアヘルパー	推薦科目 インストラクター	備 考
			卒必	前期	後期	前期	後期		
総合	総合表現 I	演習 2	4	○	○				観中を含む
	総合表現 II	演習 2				○	○		集中を含む
	教職概論	講義 2		○				★	
	保育概論	講義 2		○				★	
	保育者論	講義 2			○			★	
	社会的養護	講義 2			○			★	
	教育原理	講義 2		○				★	
	教育方法論	講義 2			○			★	
	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習 2				○		★	
	発達心理学	講義 2		○				★	
心理	育ちと学びの心理学	演習 1		○				★	
	社会福祉	講義 2		○				★	
	子どもの理解と保育・教育相談	講義 2			○			★	
	相談援助	演習 1		○				★	
	児童家庭福祉	講義 2		○				★	
	家庭支援論	講義 2			○			★	
	子どもの保健 I A	講義 2		○				★	
	子どもの保健 I B	講義 2				○		★	
	子どもの保健 II	演習 1			○			★	
	子どもの食と栄養	演習 2			○	○		★	
保健・栄養	園	講義 2		○				★	
	保育・教育文書	講義 2		○				★	
	基礎音楽	演習 1		○				★	
	幼児音楽	演習 1			○			★	
	音楽	演習 1			○			★	
	図工 I	演習 1		○				★	
	図工 II	演習 1			○			★	
	幼児体育 I	演習 1		○				★	
	幼児体育 II	演習 1		○				★	
	幼児体育 III	演習 1		○				★	

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		保育士 幼稚園 ピアヘルパー	推薦科目 インストラクター	備 考
			卒必	前期	後期	前期	後期		
保育内容	保育・教育課程論	講義 2				○		★	
	保育内容総論	演習 1		○				★	
	保育指導法概論	講義 2			○			★	
	保育内容健康の理論と方法	演習 1		○				★	
	健康指導法	演習 1			○			★	
	保育内容人間関係の理論と方法	演習 1				○		★	
	人間関係指導法	演習 1				○		★	
	保育内容環境の理論と方法	演習 1				○		★	
	環境指導法	演習 1				○		★	
	保育内容言葉の理論と方法	演習 1		○				★	
保育内容	言葉指導法	演習 1		○				★	
	保育内容身体表現の理論と方法	演習 1		○				★	
	保育表現技術	演習 1			○			★	
	保育内容造形表現の理論と方法	演習 1		○				★	
	乳児保育 I	演習 1		○				★	
	乳児保育 II	演習 1		○				★	
	障害児保育 I	演習 1			○			★	
	障害児保育 II	演習 1				○		★	
	社会的養護内容	演習 1				○		★	
	音楽表現技術	演習 1		○				★	
保育内容	保育指導法の実践	演習 2			○	○		★	
	児童文化	講義 2		○				★	
	保育実習 I A	実習 2		◎				★	
	保育実習 I B	実習 2			◎			★	
	保育実習指導 I	演習 2		○	○			★	
	保育実習指導 II	演習 1			●	●		★	
	保育実習 II	実習 2			◎			★	
	保育実習 III	実習 2						★	
	幼稚園教育実習指導	講義 2		●	●			★	
	幼稚園教育実習 I	実習 2		○				★	
その他	幼稚園教育実習 II	実習 2			◎			★	
	レクリエーション I	演習 2			○	○		★	
	レクリエーション II	演習 1					○	★	
	卒業制作・論文	演習 2	2			○	○		
	社会貢献演習 I	演習 1	1	●	●	●	●		
	社会貢献演習 II	演習 1		●	●	●	●		
	インターンシップ I	実習 1							◇
	インターンシップ II	実習 1							
	インターンシップ III	実習 2							
	インターンシップ IV	実習 2							

※○印は90分授業 1コマ15週 ○○印は90分授業 2コマ15週 ◎印は規程時間実施

●印は90分授業 1コマ7.5週 △印は聴習科目

★印は各資格・免許の必修科目 ☆印は各資格・免許の選択科目

推薦科目とは、保育者として履修しておくべき科目であり、★以外に取得しておくことを奨励する科目である。

保育士は☆印から5科目8単位以上・教養科目から8単位以上取得すること。

保育士は保育実習指導Ⅱを含み、保育実習Ⅱ・保育実習Ⅲより3単位以上取得すること。

レクリエーション・インストラクター資格は☆よりいずれか1科目の履修、および外部レク事業の参加を必要とする。

専門教育科目から46単位以上、教養科目・外国語・体育を含めて62単位以上取得しなければ卒業できない。

教養科目「インターンシップ」は2年間で5日間で受講すること。

教養科目「キャリア教育」は2年間で8回以上受講すること。

都合により、開講時期等が変更になることがあります。

幼児教育学科 カリキュラムマップ

[平成29年4月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
情報処理論	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
日本国憲法	① 憲法の役割を理解することができる。 ② 憲法が保護する内容を正しく理解する。	○		
コミュニケーション論	① 自身の基本的な生活習慣を客観的に捉えることができる。 ② 現代社会における人間関係の構築方法を正しく理解することができる。 ③ 職場でのコミュニケーションの取り方を身につけることができる。	○	○	○
生物学	① 身体に関する正しい知識を身につけることができる。 ② いろいろな生きものの姿や行動を理解できる。 ③ 保育現場で活用できる生きものに対する知識を得ることができる。	○		
大分再発見	① 大分県に残る朝鮮半島からの影響について学習する。 ② 県内各地の行事について理解を深める。	○	○	
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容から派生的な課題を自ら見つけ、文章として論述することができる。	○	○	
インターンシップ	① 社会体験を学生生活にフィードバックさせ学修に活かすことができる。 ② 職業に関する興味や関心、適正を自ら考えることができる。	○	○	○
キャリア教育	① 企業への就職や社会生活を通した自己実現について熟慮できる。 ② 大学卒業後に社会人として生きるための基礎力をつける。 ③ 現在の地域社会に必要なキャリア形成について説明できる。	○	○	○
英語Ⅰ	① 保育現場の英語の発音、語彙表現、文法項目を学ぶことができる。 ② 英語の歌、指遊びを通して、異文化を理解することができる。 ③ 多様性・多文化共生社会を理解することができる。 ④ 小学校英語教育を見据えた英語の実践力を身につける。	○	○	
英語Ⅰ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
英語Ⅱ	① 保育現場の英語の発音、語彙表現、文法項目を学ぶことができる。 ② 英語の歌、指遊びを通して、異文化を理解することができる。 ③ 多様性・多文化共生社会を理解することができる。 ④ 小学校英語教育を見据えた英語の実践力を身につける。	○	○	
英語Ⅱ	① To improve English skill. ② To improve confidence in communicating in English.	○		
中国語Ⅰ	① 発音及び中国語の文法の基礎表現ができる。 ② 中国語の音を正確に聞き取り、正しく発音ができる。 ③ 基礎会話の表現ができる。	○		○
中国語Ⅱ	① 中国語の発音とその表記法（ピンイン）が理解できる ② 自己紹介や生活によく使う会話ができる。 ③ 異文化体験の場を通して中国の理解を深めることができる。	○	○	○
生涯スポーツ	① 健康・運動・スポーツの実践の基礎となる理論的な事柄について理解できる。 ② 健康・体力・運動について正しい知識を身につけることができる。 ③ 様々な生活習慣病について学び、運動・栄養・休養との関係を理解できる。	○	○	○
体育実技	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる。 ② スポーツをとおしてコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
総合表現Ⅰ	① こどもの援助者として、音楽・美術・体育表現を自らが実践することができる。 ② 実践過程から表現方法を学び、こどもたちの前で表現することができる。	○	○	○
総合表現Ⅱ	① こどもの援助者として、音楽・美術・体育表現を自らが実践することができる。 ② 実践過程から表現方法を学び、こどもたちの前で表現することができる。	○	○	○
教職概論	① 教職の意義や教員の役割について学習を深め、教員の独自性（身分・職務・研修）について理解する。 ② 基本法としての「教育基本法」「学校教育法」について、理解する。 ③ 幼稚園教育の目標や、教育活動について「幼稚園教育要領」をもとに学習を深める。 ④ 幼保連携を背景に「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」について理解する。	○	○	○
保育原理	① 『保育』について基本的な知識を理解して深めていく。 ② 様々な保育の現状や、求められているものなどを理解する。	○	○	○
保育者論	① 保育者の役割と倫理について理解する。 ② 保育士の制度的な位置づけや専門性について理解する。 ③ 保育者の協働と専門職の成長について理解する。	○	○	○
社会的養護	① 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷を理解する。 ② 児童福祉と社会的養護の関連性や児童の権利擁護について理解する。 ③ 制度体系や実施体系について理解する。 ④ 児童の人権擁護及び自立支援を理解する。	○	○	
教育原理	① 教育本質論・教育目的論・教師論について理解できる。 ② 教育理念の認識及び教育経営の再構築を図ることができる。 ③ 教育現場における基礎的・実践的の態度を形成することができる。	○	○	
教育方法論	① 授業の効率化の促進、教材作成などにICTの活用ができるようになる。 ② 様々な情報を統合し、教育現場で活用する知識・方法・技術の習得をする。	○		○
保育・教職実践演習（幼稚園）	① 保育者として使命感や責任感、教育的愛情等について理解する。 ② 社会性や対人関係能力を身につける。 ③ 教育に関する環境設定について理解する。 ④ 5領域を通して保育者としての総合的な指導力を身につける。	○	○	○
発達心理学	① 乳幼児期における心身の発達や学習の過程を理解する ② 乳幼児の発達や学習過程について事例を通して理解する。 ③ 乳幼児期から老年期までのライフステージにおける発達と学習の過程を理解する	○		○
育ちと学びの心理学	① こどもの心身の発達と保育・教育実践過程を理解する。 ② 生活と遊びを通して学ぶこどもの経験や学習の過程を理解する。 ③ 一人ひとりの発達を促す基礎的な保育・教育技法を理解する。 ④ 保育・教育活動を自己点検、関わりを考案し続ける態度を学ぶ。	○	○	○
社会福祉	① 社会福祉の意義と歴史的変遷を理解する。 ② 児童の権利擁護等社会福祉に必要な法律を理解する。 ③ 現代の社会福祉の動向と課題等を通して学んでいく。	○	○	
子どもの理解と保育・教育相談	① 保育・教育相談の意義と役割を理解する。 ② こどもの理解を深める理論と方法を理解する。 ③ カウンセリングの基礎的考え方や手法を理解する。 ④ 保育・教育相談の理論や方法、具体的な展開を理解する。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
相談援助	① 保育・教育における相談援助関係の意義と機能を理解する。 ② こどもや保護者の主体性を育む関わりを理解する。 ③ こどもや保護者の理解を深める基礎的な方法と技術を理解する。 ④ ソーシャルワークの基礎知識や相談の展開を導く技法を理解する。	○	○	○
児童家庭福祉	① 児童家庭福祉の意義と歴史の変遷を理解することができる。 ② 児童家庭福祉の制度や実施体系を理解することができる。 ③ 児童家庭福祉の実践者としての技術を身につけることができる。	○	○	
家庭支援論	① 家庭の意義とその機能を理解することができる。 ② 子育て家庭を取り巻く社会的状況を理解することができる。 ③ 子育て家庭の支援体制について理解することができる。 ④ 子育て支援の多様性と関係機関との連携を理解することができる。	○	○	
子どもの保健ⅠA	① 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解することができる。 ② 子どもの身体の発育・発達、保健について理解することができる。 ③ 子どもの生理機能や運動機能、精神機能の発達について理解することができる。 ④ 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について理解することができる。	○	○	○
子どもの保健ⅠB	① 子どもの精神保健とその課題等について理解することができる。 ② 保育における環境及び衛生・安全管理について理解することができる。 ③ 子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解することができる。	○	○	○
子どもの保健Ⅱ	① 保育保健活動の意義を理解する。 ② 現在の子どもを取り巻く環境や児童福祉のあり方を理解する。 ③ 基礎知識（発育・発達）を通して今後の保育活動を理解する。	○	○	○
子どもの食と栄養	① 子どもの発育・発達に応じた栄養のはたす役割を理解できる。 ② 現代の子どもたちにおける食生活の問題点を学び、食育のあり方について理解を深める。 ③ 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解できる。	○	○	○
国語	① 保育の現場で求められるコミュニケーション力を修得する。 ② 正しい日本語を指導することができるスキルを修得する。 ③ 社会人としても有用な国語表現力を身につける。	○	○	○
保育・教育文書	① 社会事象・事象に対して関心を深め、文章作成の意義・必要性を理解する。 ② 教育諸内容について「序論・展開・結末」の文書作成展開の構想力が身につく。 ③ 具体的な文章を通して、不可・修正演習を繰り返し文章表現力を身につける。	○	○	○
基礎音楽	① 楽譜を読むための基本的な理論を学ぶ。 ② ピアノの基礎的テクニックを学ぶ。 ③ 園で使う幼児の歌や季節の歌をとらえて「豊かな感性」を磨く。	○	○	○
幼児音楽	① ピアノの“音楽的表現方法”を修得する。 ② 子どもと一緒に楽しめる伴奏法を修得する。 ③ 音楽遊びのレパートリーを増やす。 ④ 幼児の歌をコードで即興的に伴奏できるようにする。	○	○	○
音楽	① ピアノのテクニックを習得する。 ② 弾き歌いのレパートリーを増やす。 ③ 本実習に向けて、音楽遊びを習得する。 ④ コード譜で伴奏できるようにする。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
図画工作Ⅰ	① 材料や道具の特性を理解し、安全で正しい使用ができる。 ② 身近な自然の美しさに気づき、表現活動の中で楽しむことができる。 ③ 子どもが表現を楽しめる活動を構想する創造性と造形表現力を培う。 ④ 仲間と共に表現する喜びや楽しさを味わう。	○	○	
図画工作Ⅱ	① 諸感覚を働かせ統合し、表現や遊びの展開を豊かにする。 ② 造形と他の表現を総合したり双方向に展開することができる。 ③ 自然物や生活素材を用いた表現を通してイメージを豊かにする。 ④ 自己表現や鑑賞を通して表現の意義について理解を深める。	○	○	
幼児体育Ⅰ	① 遊びを展開するために必要な基本的知識や技術を習得することができる。 ② 幼児期の神経系の発達におけるバランス能力の重要性を理解することができる。	○	○	○
幼児体育Ⅱ	① 遊びを展開するために必要な基本的知識や技術を習得することができる。 ② 身体表現活動に係る教材等の活用及び作成の技術を習得することができる。 ③ 保育を具体的に展開するための知識や技術を習得することができる。	○	○	○
保育・教育課程論	① 保育・教育課程及び指導計画の意義と目的を理解する。 ② 乳幼児の実態把握に基づく指導計画を立案できる。	○	○	
保育内容総論	① 教育課程・保育課程の意義を理解し、その構成の方法を学び、「養護」と「教育」を総合的に把握する。 ② 幼児生活の形態や生活の流れのとらえ方など保育学の全体像を把握し、保育現場で実践する態度を身につける。 ③ 教育内容を正しく理解し、現場で活用することができるスキルを身に付ける。	○	○	○
保育指導法概論	① 保育現場で要求される実践的態度を身につける。 ② 観察や記録の観点を習得する。 ③ 保育内容と子どもの理解とのかかわりについて理解する。 ④ 養護と教育とが一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。	○	○	○
保育内容健康の理論と方法	① 乳幼児の健康の意義やねらい・内容を理解できる。 ② こども自身が自ら健康で安全な生活を創り出す力を養えるよう保育者として心と身体に関する知識を習得できる。 ③ 現代の健康課題にも対応できる保育者としての能力を身につけることができる。	○	○	
健康指導法	① 健康Ⅰの履修を基に乳幼児の生活を年齢毎に理解できる。 ② 「自ら健康で安全な生活を創り出す力を養う」ための援助ができる。 ③ 予想されるこどもの活動の援助等実践的な技能を身につけることができる。	○	○	
保育内容人間関係の理論と方法	① 「人間関係」の基礎的な知識について知る ② 領域「人間関係」のねらい及び内容に関する知識が習得できる ③ 幼児の人間関係についての知識を理解することができる ④ 教育・保育の方法についての基礎を理解することができる	○	○	
人間関係指導法	① 保育者と子ども・保護者との関係の成立を理解する。 ② 保育実践における関係性のアセスメントおよびプランニングを理解する。 ③ 多職種間などのカンファレンスの持ち方を理解する。 ④ 非認知能力と育ちを理解することができる。		○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
保育内容環境の理論と方法	①「環境」の基礎的な知識について知る。 ② 領域「環境」のねらい及び内容に関する知識が習得できる。 ③ こどもにとっての環境のとらえ方や構造を理解できる。	○	○	
環境指導法	① 環境の指導における幼児教育の基本と保育者の役割が理解できる。 ② 環境の指導法について理解し、指導技術を理解できる。 ③ 課題を抽出し、考察とともに解決の方向を示すことができる。	○	○	○
保育内容言葉の理論と方法	①「言葉」の基礎的な知識について知る ② 領域「言葉」のねらい及び内容に関する知識が習得できる ③ 幼児の言葉の発達についての知識を理解することができる ④ 教育・保育の方法についての基礎を理解することができる	○	○	
言葉指導法	① 言葉の指導における幼児教育の基本と保育者の役割を理解する ② 言葉の指導法について理解し、その技術を習得することができる ③ 言葉の指導法における問題を分析し、考察することができる	○	○	
保育内容身体表現の理論と方法	① 子どもの発達と運動機能や身体表現に関する知識や技術を理解する。 ② 子ども達のお手本となるような身体・姿勢作りを心がける。 ③ 子ども達が生まれながらにして持っている「リズム感」を引き出す方法を理解する。 ④ 学生自身が全身を使い生き生きと豊かな表現ができるようになる。	○	○	○
保育表現技法	① 子どもの音楽的な発達を学ぶ。 ② いろいろな表現技法の製作・実演を通して表現力を養う。 ③ 子どもと共に表現する楽しさを共有出来る感性を養う。 ④ 子どもに合わせて適切な指導が行えるような実践力を習得する		◎	◎
保育内容造形表現の理論と方法	① 造形表現指導に必要な基礎知識と技法を習得する。 ② 身近な自然やものの色や形、感触に親しむ ③ 個々の幼児の多様な表現に共感できる豊かな感性を涵養する。 ④ 表現領域のねらい・内容に基づき、発達に即した指導計画を立案できる。	○	○	
乳児保育Ⅰ	① 乳児保育の理念と歴史の変遷及び役割を知る ② 保育所、乳児院等における乳児保育の現状と課題について理解する ③ 乳児から3歳未満児の発育・発達を知り生活と遊びについて説明することができる ④ 保育者の基礎的な保育内容と方法について理解する	○	○	
乳児保育Ⅱ	① 乳児保育の計画を作成し、保育方法や環境構成、記録等について理解する ② 乳児保育における保護者や関係機関との連携について理解する ③ 保育所での具体的な事例を通して、実践的な保育方法を説明することができる	○	○	
障害児保育Ⅰ	① 障害児保育を支える理念や歴史の変遷について理解する。 ② 障害の理解と有用的な支援や援助の方法及び環境構成について理解する。 ③ 障害のある子どもの保育の計画を作成することができる。 ④ 障害のある子どもへの支援や関係機関との連携について理解する。	◎	◎	
障害児保育Ⅱ	① 障害の理解と有用的な支援や援助の方法及び環境構成等について理解する。 ② 障害のある子どもの保育の計画を作成する。 ③ 個別支援及び他の子どもとの関わりの中で育ち合う保育実践の理解を深める。 ④ 障害のある子どもの保健・医療・福祉・教育等の現状の課題について理解する。		◎	◎

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
社会的養護内容	① 児童の権利擁護等社会福祉に必要な法律を理解する。 ② 施設養護及び社会的養護の実態を理解する。 ③ 個々の児童に応じた支援計画の作成することができる。		○	○
保育相談支援	① 保育相談支援の意義と原則を理解する。 ② 保育・教育現場の保護者支援に関する基礎知識、技術を理解する。 ③ 教育カウンセリングの考え方や手法を理解する。 ④ 支えあう人間関係（ピアヘルピング）を築く基礎的態度を学ぶ。	○	◎	◎
音楽表現技術	① 音楽の表現を豊かにするための理論を学ぶ。 ② 子どもの歌や指遊びをととして表現力をつける。 ③ ピアノの“音楽的表現方法”の基礎を身につける。 ④ 園で使う幼児の歌や季節の歌の弾き歌いを経験する。	○	○	○
保育指導法の実践	① 幼児期における身体能力の発達や運動の学習過程を理解する。 ② 発達段階を踏まえた遊びを展開する実践力を身につける。 ③ 幼児保育の指導実践を通して、指導方法等を研究し、子どもの遊びを適切に指導できる表現技術を身につける。	◎	◎	◎
児童文化	① 子どもの遊びや表現活動及び児童文化財に関心を持つ。 ② 保育において児童文化財を有効活用するための基本的な知識と表現力を理解する。 ③ 実践で使うことができるように、子どもの発達段階に応じた活動やあそび方、活用の仕方を理解する。	○	○	
保育実習ⅠA	① 保育所の役割や機能を体験する。 ② 子どもとの関わりをととして子どもへの理解を深める。 ③ 保育計画・観察・記録及び自己評価等を経験する。 ④ 保育士の業務内容や職務倫理について具体的に学ぶ。	○	○	○
保育実習ⅠB	① 施設の特徴・役割・機能を理解する。 ② 子どもとの関わりをととして子どもへの理解を深める。 ③ 保育計画・観察・記録及び自己評価等を通して施設保育士について理解する。 ④ 施設保育士の業務内容や職務倫理について理解する。	◎	◎	
保育実習指導Ⅰ	① 保育実習の意義・目的、内容、方法を理解する。 ② 保育所や施設実習のために必要な知識・技術を習得する。 ③ 保育士に求められる力を理解する。 ④ 各自の課題を明確にし、今後の実習や学習に対する意欲を持つ。	○	○	
保育実習指導Ⅱ	① 保育士としての専門性と職業倫理を理解する。 ② 保育に対する課題や認識を明確にする。 ③ 各自の課題を明確にし、今後の学習に対する意欲を持つ。	○	○	
保育実習Ⅱ	① 保育士としての専門性と職業倫理を理解する。 ② 保育に対する課題や認識を明確にする。 ③ 各自の課題を明確にし、その後の学びへ活かす。	◎	◎	
保育実習Ⅲ	① 保育士としての専門性と職業倫理を理解することができる。 ② 保育に対する課題や認識を明確にすることができる。 ③ 施設保育士について理解することができる。		◎	◎
幼稚園教育実習指導	① 幼保連携型認定こども園と幼稚園の特性を理解することができる。 ② 履修カルテや実習の記録・指導計画を作成することができる。 ③ 教育実習の意義や基本的な心構え等を理解することができる。 ④ 個々の経験を共有することで互いの資質向上を図ることができる。	○	○	○
幼稚園教育実習Ⅰ	① 子どもの様子や幼稚園教諭の働きかけを観察することができる。 ② 子どもと関わりを持つことで成長に触れることができる。 ③ 積極的な保育への参加を行うことができる。 ④ 部分保育を通して幼稚園教諭の責務を理解することができる。	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
幼稚園教育実習Ⅱ	① 適切な環境構成や教材準備等の業務を行うことができる。 ② 積極的に子どもの遊びに加わり、個に応じた援助を行うことができる。 ③ 集団をまとめる力を養うことができる。 ④ 設定保育を通して幼稚園教諭の責務を理解することができる。	○	○	○
レクリエーションⅠ	① 遊びの組み立て方や、指導法などについて知識や技術を身につける。 ② 主体的に活動するための方法を習得する。 ③ コミュニケーション・スキルを身につける。 ④ レクリエーション・インストラクターの資格を取得をめざす。	○	○	
レクリエーションⅡ	① 遊びの組み立て方や、指導法などについて知識や技術を身につける。 ② 主体的に活動するための方法を習得する。 ③ コミュニケーション・スキルを身につける。 ④ レクリエーション・インストラクターの資格取得をめざす。	○	○	
卒業制作・論文	① 保育者の視座から分析、考察することができる。 ② 論理的に証明し、説得的な文章を構成・作成できる力を身につける。 ③ 保育現場で自分の課題を明確に持ち探求力を身につける。	○	○	
社会貢献演習Ⅰ	① 社会貢献活動を通じてその意義と実践を理解することができる。 ② 保育者としての資質を磨き、地域の人たちとコミュニケーションが取ることができる。		○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 保育現場で保育者や子どもたちとの対応ができる。 ② 子を持つ保護者との対応を体験を通して理解する。		○	○

介護福祉学科 教育課程

[平成29年4月入学生]

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		介護福祉士	介護保険実務士	福祉レクリエーション インストラクター	社会福祉主事任用資格	備 考
			必	選	前期	後期	前期	後期			
基礎科目	人 間 関 係 論	講義	2			○			★	★	基礎科目については 8単位以上取得すること
	コミュニケーション論	講義	2	○					★	★	
	人 権 教 育 概 論	講義	2			○			★	★	
	情 報 処 理 論	講義	2			○			★		
	大 分 の 人 と 学 園	講義	2			○					
	社会貢献演習Ⅰ	演習	1	●	●	●	●				
	社会貢献演習Ⅱ	演習	1	●	●	●	●				
外国語	キ ャ リ ア 教 育	講義	1	●	●	●	●		★		
	英 語 Ⅰ	演習	1	○					★		
体育	英 語 Ⅱ	演習	1		○				★		
	運 動 ス ポ ー ツ Ⅰ	演習	1	○					★	★	★
	運 動 ス ポ ー ツ Ⅱ	演習	1		○				★	★	★

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		介護福祉士	介護保険実務士	福祉レクリエーション インストラクター	社会福祉主事任用資格	備 考
			必	選	前期	後期	前期	後期			
人間の理解	人 間 の 尊 厳 と 自 立	講義	2	○					★	★	
	人間関係とコミュニケーション	講義	2		○				★	★	
社会の理解	社 会 の 理 解 Ⅰ	講義	2	○					★	★	★
	社 会 の 理 解 Ⅱ	講義	2		○				★	★	★
選択科目	プレゼンテーション論	講義	2				○		★	★	
	現 代 社 会 論	講義	2			○			★	★	
	社 会 福 祉 概 論	講義	2		○				★	★	★
	社 会 実 践 学	講義	2			○			★	★	
介護の基本	介 護 の 基 本 Ⅰ	講義	4	○	○				★	★	★
	介 護 の 基 本 Ⅱ	講義	4			○	○		★	★	★
	リハビリテーション論	講義	2	○					★	★	★
福祉関係科目	介 護 保 険 概 論	講義	2			○			★	★	★
	コミュニケーション技術Ⅰ	演習	1	○					★	★	★
生活支援技術	コミュニケーション技術Ⅱ	演習	1		○				★	★	★
	生活支援技術Ⅰ－A	演習	1	○					★	★	★
	生活支援技術Ⅰ－B	演習	1			○			★	★	★
	生活支援技術Ⅱ－A	演習	2	○○					★	★	★
	生活支援技術Ⅱ－B	演習	2		○○				★	★	★
	生活支援技術Ⅲ	演習	2			○○			★	★	★
	家 政 学 実 習	演習	2	○○					★	★	★
	生 活 支 援 実 習	演習	2			○○			★	★	★

科 目	履修法	単 位	1 年		2 年		介護福祉士	介護保険実務士	福祉レクリエーション インストラクター	社会福祉主事任用資格	備 考
			必	選	前期	後期	前期	後期			
介護過程	介 護 過 程 Ⅰ	演習	1	○					★	★	
	介 護 過 程 Ⅱ	演習	1		○				★	★	
	介 護 過 程 Ⅲ	演習	2			○○			★	★	
介護総合演習	介 護 過 程 Ⅳ	演習	1				○		★	★	
	介 護 総 合 演 習 Ⅰ	演習	1	○					★	★	
	介 護 総 合 演 習 Ⅱ	演習	1		○				★	★	
	介 護 総 合 演 習 Ⅲ	演習	1			○			★	★	
介護実習	介 護 総 合 演 習 Ⅳ	演習	1				○		★	★	
	介 護 実 習 Ⅰ－Ⅰ	実習	2		◎◎				★	★	★
発達と老化の理解	介 護 実 習 Ⅰ－Ⅱ	実習	3			◎◎			★	★	★
	介 護 実 習 Ⅱ	実習	5			◎◎			★	★	★
認知症の理解	心 理 学	講義	2	○					★	★	★
	発 達 と 老 化 の 理 解	講義	2		○				★	★	
障害の理解	認 知 症 の 理 解 Ⅰ	講義	2		○				★	★	
	認 知 症 の 理 解 Ⅱ	講義	2			○			★	★	
こころとからだのしくみ	障 害 の 理 解 Ⅰ	講義	2		○				★	★	★
	障 害 の 理 解 Ⅱ	講義	2			○			★	★	★
医療的ケア	こころとからだのしくみⅠ－A	講義	2	○					★	★	★
	こころとからだのしくみⅠ－B	講義	2	○					★	★	★
福祉関係科目	こころとからだのしくみⅡ	講義	2		○				★	★	★
	こころとからだのしくみⅢ	講義	2			○			★	★	★
卒業研究	医 療 的 ケ ア Ⅰ－A	講義	2	○					★		
	医 療 的 ケ ア Ⅰ－B	講義	2		○				★		
福祉関係科目	医 療 的 ケ ア Ⅱ	演習	2			○○			★		
	卒 業 研 究	演習	3			○○			★		プレゼンを含む
福祉関係科目	介 護 事 務 演 習	演習	1			○			★		
	福祉レクリエーション論	講義	2		○					★	
	福祉レクリエーション援助技術	演習	2		○	○				★	
	福祉レクリエーション援助論	講義	2			○				★	
	福祉社 環境 論	講義	2			○				★	
	レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	講義	2	○						★	
	レクリエーション活動援助法Ⅰ	演習	1	○						★	
	レクリエーション活動援助法Ⅱ	演習	1		○					★	
	ボ ラ ン テ ィ ア 概 論	講義	2			○	○				
	ボ ラ ン テ ィ ア 演 習	演習	4			○○	○○				
	福祉総合演習Ⅰ	演習	3	○	○○						
	福祉総合演習Ⅱ	演習	3			○	○○				

※○印は90分授業 1コマ16週 ○○印は90分授業 2コマ16週 ◎印は規定時間実施

●印は90分授業 1コマ8週

★印は各資格・免許・コースの必修科目

基礎科目・外国語・体育・専門科目より83単位以上取得しなければ卒業できない。

基礎科目「社会貢献演習Ⅰ・Ⅱ」は、2時間×8回以上の貢献をもって演習1単位とする。

キャリア教育は2年間を通じて8回以上受講すること。

レクリエーション・インストラクター資格は、科目の履修・外部レク事業の参加を必要とする。

都合により、開講時期が変更になることがある。

介護福祉学科 カリキュラムマップ

[平成29年4月入学生]

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
人間関係論	① 生を慈しみ、相互の人格と尊厳を尊ぶ社会性の基礎にある人間関係について学び理解する。 ② 社会と個人或いは自己（わたし）と他者（あなた）との間で織りなす関係づくりの多様な法則を理解する。 ③ 複雑な人間関係において生じる問題への対応の仕方について理解し、その改善のための技術を身につける。	○		○
コミュニケーション論	① 相手に伝わる話し方、相手に寄り添った聴き方を習得する。	○	○	
人権教育概論	① 差別を正しく認識し、社会の中に残されている様々な不合理や差別の解消を図る意欲と実践力を持った人格として育つ。 ② 進んで人権尊重の精神を身につけ、積極的に人権擁護に努める実践力を修得する	○	○	○
情報処理論	① 文章の入力およびビジネス文書の作成ができる。 ② 表の作成ができる。 ③ 図形の挿入・加工ができる。	○		○
大分の人と学問	① 講義内容の要約及び感想・意見、大分の特色や課題などを他者に説明できる。 ② 講義内容から派生的な課題を自ら見つけ、文章として論述することができる	○	○	
社会貢献演習Ⅱ	① 修得した知識能力を実社会で行使し、生きた力に変えることができる。 ② 社会貢献について人間的成長を図ることが『社会貢献Ⅰ』以上に理解できる。	○	○	○
社会貢献演習Ⅱ	① 修得した知識能力を実社会で行使し、生きた力に代えることができる。 ② 社会貢献について人間的成長を図ることが『社会貢献Ⅰ』以上に理解できる。	○	○	○
キャリア教育	① 企業の経営者等の対話から、自己実現（キャリア形成）についての能力を形成する。 ② 卒業後の社会人として、生きるための基礎能力を磨くことができる。 ③ 現在の地域社会に必要なキャリア形成について理解できる。	○	○	○
英語Ⅰ	① Students will have overcome their hesitation to use the English that they know to try to communicate. ② They will have an understanding of basic English grammar. ③ They will be able to give a simple self-introduction in English, and ask and answer simple questions in English.	○	○	
英語Ⅱ	① Students will have the confidence to use the English they know to try to communicate. ② They will continue to broaden their knowledge of their basic grammar. ③ They will be able to talk about their plans for the weekend, recall what they did in the previous weekend and also make simple comparisons about themselves.	○	○	
運動スポーツⅠ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる ② スポーツをとらえてコミュニケーション能力を高めることができる ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる	○	○	
運動スポーツⅡ	① 健康的な心と体を培う知識を深めることができる ② スポーツをとらえてコミュニケーション能力を高めることができる ③ 充実した生活を送るための体力を高めることができる	○	○	○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
人間の尊厳と自立	① 人間の多面性について理解できる。 ② 尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性が理解できる。 ③ 介護場面における倫理的課題についての対応力が理解できる。	○	○	○
人間関係とコミュニケーション	① 介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要なコミュニケーションスキルを習得する。			○
社会の理解Ⅰ	① 個人が自立・自律した生活を営むことの必要性が理解できる。 ② 個人・家族・近隣・地域・社会の単位で人間を捉える視点を理解し、基礎的態度を形成する。 ③ 人間の生活と社会の関わりや自助から公助に至る過程が理解できる。 ④ 現代社会の中で生活と福祉を中心に据える基本的な知識が理解できる。	○	○	○
社会の理解Ⅱ	① 高齢者や障害者に関する福祉制度を知り、その概要を理解できる。 ② 保健医療にかかわる諸施策について知り、その概要を理解できる。 ③ 人々の人権を擁護する諸制度について知り、その概要を理解できる。 ④ 生活を支える諸制度について知り、その概要を理解できる。	○		
プレゼンテーション論	① 情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 ② 聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 ③ プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。	○	○	○
現代社会論	① 団塊の世代が高齢者となっている現代社会について理解する。 ② 医療・福祉・介護の視点から見られる様々な問題を理解する。 ③ 大分県に残る朝鮮半島からの影響についても理解する。	○	○	
社会福祉概論	① 現行の社会福祉制度、福祉サービスの基礎的知識を形成する。 ② 日本社会を再設計するための方法と視点を追求する。 ③ 同時に福祉に従事するための豊かな社会福祉観について理解できる。 ④ 政治・経済活動の全てが、人間の命をより輝かせるためにあるという理解ができる。	○	○	○
社会薬理学	① 生体に何らかの変化を起こす化学物質は、全て薬物であることが理解できる。 ② 薬は使い方を誤れば病状を悪化させ、時には命を奪うこともあることを理解する。 ③ 正しい薬との付き合い方・飲み方について基本的な知識が理解できる。	○	○	
介護の基本Ⅰ	① 介護福祉士を取り巻く状況、役割・機能を支える仕組みを理解することができる。	○		○
介護の基本Ⅱ	① 介護実践の場で求められる介護従事者としての倫理を身につけ、介護を必要とする人の暮らしを理解する。 ② 利用者の自立に向けた支援への幅広い知識と介護福祉士が関わる多職種の業務内容や連携の意義を理解する。	○		○
リハビリテーション論	① リハビリテーションとは（概念及び基本原則など）を理解できる ② PT・OT・STの内容を学びチームアプローチの重要性を理解できる ③ 住宅改修・福祉用具に関する基礎知識を学び、説明できる ④ 起居移乗介助法、筋力トレーニング、ストレッチングを実践できる	○	○	○
介護保険	① 介護保険制度創設の制度の目的と動向について理解できる。 ② 介護保険制度の基本な仕組みを知り、制度の概要を理解できる。 ③ 介護保険制度の組織と役割を知り、制度の財政を理解できる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
コミュニケーション技術Ⅰ	① 聴障者とのコミュニケーション方法のひとつ手話技術の初歩の練習。 ② 聴障者の福祉及び障害者全体に対する理解を深める。	○	○	○
コミュニケーション技術Ⅱ	① 要介護者の理解や援助関係、援助的コミュニケーションについて理解できる。 ② 利用者や利用者家族に対するコミュニケーション能力を理解できる。 ③ 多職種協働におけるコミュニケーション能力を理解できる。	○		○
生活支援技術Ⅰ-A	① 生活を意識する時、何らかの障壁・障がいと直面することが理解できる。 ② 社会的問題を背景とした困難な状況が、生活問題となることが理解できる。 ③ 生活支援に必要な基本的な知識・技術が理解できる。 ④ 支援者は、生活問題の予防・回復・改善を多面的な視点で観る必要性が理解できる。	○	○	
生活支援技術Ⅰ-B	① 生活を意識する時、何らかの障壁・障がいと直面することが理解できる。 ② 社会的問題を背景とした困難な状況が、生活問題となることが理解できる。 ③ 生活支援に必要な基本的な知識・技術が『生活支援技術Ⅰ-A』以上に理解できる。 ④ 支援者は、生活問題の予防・回復・改善を多面的な視点で観る必要性が理解できる。	○	○	○
生活支援技術Ⅱ-A	① 尊厳の保持の観点を踏まえ、利用者の状態にあった、自立・自律を尊重した対応の理解ができる。 ② 原理・法則性に基づいた技術を習得し、適切な介護技術を用いて安全に援助することの理解ができる。	○	○	
生活支援技術Ⅱ-B	① 尊厳の保持の観点を踏まえ、利用者の自立・自律を尊重し適切な介護技術を理解することができる。 ② 原理・法則性に基づいた技術を学習し、安全に援助できる技術や知識を理解し、実践することができる。	○	○	○
生活支援技術Ⅲ	① 実際に起こりうる様々な事例の展開方法を実践することができる。 ② 様々な障がいと理解し適切なサービスが提供できることができる。	○		○
家政学実習	① 一人で食事づくりが可能な食に関する基礎的能力を形成する。 ② 望ましい食事のために役立つ基礎的知識が理解できる。 ③ 食生活全般に亘っての総合的な判断力・実践力の獲得ができる。 ④ 生活支援に必要な基本的な知識・技術を理解し、実践できる。	○	○	○
生活支援実習	① 高齢者・障がい者の食生活のあり方や、調理法についての実践的態度を形成する。 ② 人の健康と食との間に強い相関関係のあることが理解できる。 ③ 介護食についての特有な調理理論や科学があることが理解できる。 ④ 食生活支援にとって、食べる人の立場に立った食の提供の大切さを理解し、実践できる。	○	○	○
介護過程Ⅰ	① 介護過程のプロセスの理解ができる。 ② 介護過程のアセスメントを理解し、テキストに基づき作成することができる。	○	○	
介護過程Ⅱ	① 他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程に反映展開し、利用者を理解することができる。 ② 事例を読み解き、介護過程を展開し、個別援助計画を作成することができる。	○	○	

科目名	授業目標	知識	主体性	読書力
介護過程Ⅲ	① 自立に向けた介護過程の展開ができる。 ② 利用者の状態・状況に応じた介護過程の展開ができる。 ③ 個別援助計画書とケアプランの関係性を学習し、理解することができる。	○	○	
介護過程Ⅳ	① ICFの構成要素間の相互作用の理解ができる。 ② 利用者の潜在能力を探し、自立に向けた、個々の利用者の状態・状況に応じた介護過程の展開を行うことができる。			
介護総合演習Ⅰ	① 学習到達状況に応じて学習することができる。 ② 介護実習の意義と目的について理解することができる。 ③ 介護実習Ⅰ～Ⅱに向けての意識づけと準備をすることができる。	○	○	○
介護総合演習Ⅱ	① 介護実習Ⅰ～Ⅱに向けての準備について理解できる。 ② 介護過程の展開の能力などについて理解することができる。 ③ 実践場面に適応できる柔軟性や応用・判断力について理解できる。	○	○	○
介護総合演習Ⅲ	① 実習に必要な知識や技術の確認について理解できる。 ② 介護過程の展開について理解できる。 ③ 介護場面で遭遇した課題を解決するための行動力を理解できる。 ④ 柔軟性や応用力、判断力を習得し理解することができる。	○	○	
介護総合演習Ⅳ	① 実習に必要な知識や技術について理解することができる。 ② 介護過程の展開の能力等について理解することができる。 ③ 振り返りを行い、カンファレンスを行い理解することができる。	○	○	
介護実習Ⅰ-1	① 福祉施設の概要と機能を理解する。 ② 利用者とその生活を理解し、基本的な日常生活援助を学ぶ。 ③ 利用者の状況に応じた介護技術の必要性を学ぶ。 ④ 基本的なコミュニケーション能力を身に付け、利用者との人間的な触れ合いを図る。	○	○	○
介護実習Ⅰ-2	① 様々な利用者への支援方法および多様なサービスの種類について理解する。 ② 利用者とその生活、基本的な日常生活支援について理解する。 ③ 適切なコミュニケーションスキルを用いて人間的な触れ合いの必要性について理解する。 ④ 基本的な生活支援技術について実践し、利用者の状況に応じた適切な介護を学ぶ。 ⑤ 他職種の役割について学び、生活支援チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。	○	○	○
介護実習Ⅱ	① 利用者の24時間の生活を学ぶ。 ② 介護過程の展開において、個々の利用者の情報を収集する中で生活背景や生活リズムについて理解し、自立支援の観点を学ぶ。 ③ 介護過程のプロセスを実践し、展開能力を身につける。 ④ 自ら行った介護過程に基づく介護実践に対し、評価・修正を行う。 ⑤ 組織の一員としてのチームワークの重要性を理解し、他職種との連携に取り組む。	○	○	○
心理学	① 老化に伴うこころと体の変化について理解できる。 ② 老化が及ぼす心理的影響について理解できる。 ③ 高齢者がこころの問題と精神障害について理解できる。	○		
発達と老化の理解	① 老化に関する心身機能の変化、疾患の基礎的知識を学習する。 ② 老化に伴うこころとからだの変化、健康、医療を理解できる。	○		○
認知症の理解Ⅰ	① 認知症の人やその治療とケアについて理解を深めるとともに、予防と生活に及ぼす影響について学ぶ。 ② 認知症の人の体験、認知症を取り巻く状況、認知症の人の医学・行動・心理、認知症の人の生活について理解できる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
認知症の理解Ⅱ	① 認知症の人の生活支援を理解し、制度や施策について学ぶ。 ② 認知症の人の生活支援、制度・関係機関などについて理解できる。	○		○
障害の理解Ⅰ	① 障害の外見や障害者の心理について基本的な知識を理解できる。 ② 障害のある人の生活について知り、生活支援の視点を形成する。	○		
障害の理解Ⅱ	① 基礎的知識を習得し、環境にも配慮した視点について学習する。 ② 医学的な基礎的知識、連携と家族への支援について理解できる。	○		○
こころとからだのしくみⅠ-A	① 高齢者心理学の知識を習得する。 ② 介護福祉士としての行為の言語化、判断力、思考力を身につける。	○	○	
こころとからだのしくみⅠ-B	① 日常生活支援、安全への配慮について学習する。 ② 移動に関連したこころとからだのしくみについて理解する。	○		○
こころとからだのしくみⅡ	① 人体の構造や機能、安全への留意点や配慮について学習する。 ② 身じたく、食事に関連したこころとからだのしくみを理解できる。	○		○
こころとからだのしくみⅢ	① 人体の構造や機能、安全の留意点や配慮について学習する。 ② 入浴・清潔保持、排泄、睡眠、「死」について理解できる。	○		○
医療的ケアⅠ-A	① 喀痰吸引、経管栄養を中心を安全、適切な知識・技術を習得できる。 ② 安全な医療的ケアの基本的知識を理解することができる。	○	○	○
医療的ケアⅠ-B	① 喀痰吸引、経管栄養を安全、適切に行うための知識・技術を習得できる。 ② 利用者の状況を把握し適切な実施手順について説明することができる。	○	○	○
医療的ケアⅡ	① 喀痰吸引、経管栄養を実施手順に基づき安全・適切に実施できる。	○	○	○
卒業研究	① 介護福祉に関する諸問題について関心を持ち、自主的に取り組める研究テーマを設定できる。 ② グループワークを介して研究に取り組むことができる。 ③ プレゼンテーション能力・パワーポイント作成等、必要な基礎的知識が理解できる。	○	○	○
介護事務演習	① 介護保険制度の概要や動向を知り、そのことを理解できる。 ② 介護保険の利用料請求演習を行い、内容を理解できる。 ③ 介護保険の事務の仕組みを知り、実践内容を理解できる。	○		○
福祉レクリエーション論	① 福祉レクリエーションの基礎的知識を理解することができる。 ② 福祉レクの考え方・展開・援助を学習し理解することができる。	○		
福祉レクリエーション援助技術	① 1対1でかかわる個人への介入技術について理解することができる。 ② グループダイナミクスを活かした介入技術を理解することができる。 ③ レク活動への参加を促す環境づくりの方法を理解することができる。 ④ アレンジや展開方法を学び福祉レクワーカーについて理解できる。	○	○	○
福祉レクリエーション援助論	① 支援に関する計画立案の方法について理解することができる。 ② 素材や活動の創作・アレンジ法について理解することができる。 ③ 展開演習など様々な方法を活用することを理解できる。	○		○
福祉環境論	① 高齢者や障害者の住みやすい住環境について学び、理解できる。 ② 医療・保健・福祉・建築についての知識を学び、理解できる。 ③ 福祉・建築の法体系を学び、理解することができる。	○		○
レクリエーション論	① 自らの生活の中にあるレクリエーションについて理解できる。 ② 現代社会におけるレクの意味について考え理解することができる。	○		○

科目名	授業目標	知識	主体性	就業力
レクリエーション活動援助法Ⅰ	① レクリエーション支援の概要を理解することができる。 ② コミュニケーション技法を身につけることができる。 ③ レクリエーション実技の展開方法を学び実践できる。	○	○	
レクリエーション活動援助法Ⅱ	① レクリエーション・ワークの技術を身につけることができる。 ② 多くの演習に取り組み実習現場で活用することができる。 ③ 対象者の喜びや願いをかなえられるアレンジ法の習得ができる。	○	○	
ボランティア概論	① 学外にてボランティア活動を実施するための理論と方法を知ることができる。 ② ボランティア活動の基本的精神を学び、実践に向けての基礎的態度を形成する。 ③ ボランティア活動の理念・社会的役割・基本的性格・定義について理解できる。 ④ 日本での非営利組織活動の重要な役割が理解できる。	○	○	○
ボランティア演習	① 学外にてボランティア活動を実施し、学生の主体性・自主性の大切さを理解する。 ② ボランティア実施のためのアポイント取り・事前訪問等を学び、その過程を理解する。 ③ 振り返りを行うことで、フィードバック受けより深い理解ができる。	○	○	○
福祉総合演習Ⅰ	① 大正琴に取り組むことが、個人の特技として実習先で活かせることを体得する。 ② 学科全員で大正琴演奏を行うことで、連携について理解する。 ③ 個人やグループ練習をすることで、練習の大切さや忍耐力を理解する。 ④ 行事で演奏するための組織づくりや必要な基本的知識が理解できる。	○	○	○
福祉総合演習Ⅱ	① 大正琴に取り組むことが、個人の特技として実習先で活かせることを体得する。 ② 学科全員で大正琴演奏を行うことで、連携について理解する。 ③ 個人やグループ練習をすることで、練習の大切さや忍耐力を理解する。 ④ 行事で演奏するための組織づくりや必要な基本的知識が理解できる。	○	○	○